福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 107 公設市場特別会計

所属 25020000 産業政策部 農林業振興課

(単位:千円)

所属長 西畑 信寿

会計情報	事業コード 210607 210609 款	01 市場費	項 01 卸売市場費	目 01 一般管	理費 会計	09 卸売市場 決算係	対 属資料
施策体系	施策コード 060106	施策名 公設市場等	等を活性化する				
計画期間	開始年度 昭和56年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	名			
根拠法令等	改正卸売市場法、福知山	山市公設地方卸売市	5場条例				
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	(
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/	休止 □ 他事業	へ統合 □ 他事業	を統合			
関連事業							
── 事業基礎 ┃	 青報						
事業目的 (あるべき姿)	市民に新鮮かつ安心・安援し、地場産農産物の高			興の拠点として	、市内の生産者と	連携し、地場産野菜 <i>の</i>)生産・出荷体制作りを3
対象者	市民			対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 □ 業	務委託 🗸 指数	定管理 🗸 補助金	交付 🗆	その他 (
委託先•実施主体等	指定管理者:株式会社丹	丹波松下農園					
事業概要 (箇条書き)	- 公設地方卸売市場は、 ・H24年度からは指定管 ・現在の指定管理はH29 ・卸売市場を取り巻く情勢 ・令和元年から引き続きないあり方検討の結果、市場 明を実施した。	理制度を導入し、対 9年度~R3年度まで 勢は厳しいが、卸売 公設市場のあり方材	か率的な施設機能の維 で、今後、民間事業者か 業者は新規取引先の 検討調査を実施している	持管理を図りた 、開設者となる 見拓とにより、耳 う。	ながら、円滑かつ道 民設・民営の地方 又扱量を伸ばしてし	がな運営に努めている。 即売市場へ移行できる いる。	よう調整を行う。
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務	内容	
主な支出に係る							

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			14,000			9,300			25,300			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T 46	. 45 − 1 π+ 1	.
,	小計	+(1 ~ 3)			14,000			9,300			25,300		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,,	~\	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			14,000			9,300			25,300			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			14,000			9,300			0			0
情 報	3	執行額			10,354		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			74.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.49	/	0.65	0.49	/	0.65	0.49	/	0.65	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		5,545				5,545			5,545			0
		アルコスト f額+概算人件費)			15,899			5,545			5,545			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	市場取引料		千円	800473	758584	/	0	739616	/	730000	/	730000	0
実績/目標	使用料収入		千円	10313	10171	/	0	9648	/	9500	/	9500	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	市場取扱高	_	t	2565	2571	/	0	2357	/	2500	/	2500	0
(アウトプット)	#N/A	単位あたり	コスト	0.7		4.0							
実績/計画	関連店舗使用	面積	m [*]	894	894	/	0	871	/	871	/	871	0
		単位あたり	コスト	1.9		11.6	•						

□ 他事業を統合 (統合事業名:

V 一次評価([事業担当所属内による自己評	価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	0	安心安全な地場産野菜の提供は市民のニーズに合致しているが、直販所や農家と消費者による直接取引など、流通が大きく変化している中、あり方検討の結果を踏まえて、現在の指定管理制度終了後は、卸売業者が開設者となり、民設・民営により管理運営を一本化し市場機能の存続・促進を図る。 開設者が民間事業となり、公設地方卸売市場事業としては廃止となるが、民設・民営の地方卸売市場として市場機能は存続する。
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は +分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	0	指定管理制度の導入により、施設管理については効率化が図られたが、卸売業務の運営面は卸売業者が運営しているため、開設者(市)の承認案件等は時間がかかる案件がある状況である。今後は卸売業者が開設者となり、市場の管理・運営を一本化することにより一層の効率化を推進する。
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	Δ	青果の取扱量はR元年度まで伸びていたが、R2年度はコロナ禍の影響もあり微減している。 。また、仲卸業者、関連店舗数が減少したため、施設使用料が減少している。 指定管理者には今後も引き続き空き店舗対策を求める必要がある。 R3年度は現指定管理の最終年度となっており、R4年度以降は卸売業者が開設者となり民設・民営に移行することにより市場の管理・運営を一本化し市場機能の存続と促進を図る。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	セリ売りの取扱量は前年度より減少しており	、地場産野	
これまでの課題及び 今後の方向性		し、普通財	、この間施設の改修費用を市として調達できなかった。 産を市がそれぞれ直接貸付けることにより、市は改修費用調達を見込む。 ることにより、市場機能の存続と促進を図る。
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)
	L		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	口予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	口 山市 世 大 休 人 (↑ □ 山古世 ★ 休△ (結合生車業々)

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

爭果腐性														
事業名	と畜場特別	会計												
事業担当	所属	25020000	産業政策	部 農林	業振興詞	課				所属長	余田 学			
会計情報	事業コード	210601,21603,21 6015,216016	款 01 と	畜場費	項	01 施訂	设管理費	皿	01 一般管理費	会計	04 と畜場	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060106	施策名	公設市	場等を	活性化	する							
計画期間	開始年度	昭和39年	F 終了	予定年度	令和3	3年度	関連計画	名						
根拠法令等	と畜場法													
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府	補助事業		市単独	中業 □	内i	部庶務的事業 🛭 その	の他(綾部市	・舞鶴市・宮津河	市の負担金)
R3現在の状況	□ 継続中	□ ☑ 廃」	上/休止	□ 他輩	事業へ紛	充合	□ 他事業	を給	充合					
関連事業	と畜場運営	<u> </u>												
事業基礎	青報													
喜業日的		効率的な食[センターの選			して、オ	市民生活	舌の安定に	寄与	すすることを目的に「とる	音場法」に	基づき、平成	9年7月に移転	開設された福知	印

事業基礎	情報							
事業目的 (あるべき姿)	衛生的で効率的な食肉処 山市食肉センターの運営		、市民生活の安定に	寄与することを	目的に「と畜場法」にま	長づき、平成9年7月Ⅰ	こ移転開設された花	富知
対象者	市内外家畜商取引業者			対象者数	20	単位あたりコスト	400.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指定	官管理 ☑ 補助金	交付 口	その他()
委託先•実施主体等	福知山市食肉組合、福知							
事業概要 (箇条書き)	・と畜場法に基づく食肉処	理施設である、福気	田山市食肉センターの	管理連営・維持	寺管理を行った。			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	l .		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	!載			

|| 予算執行状況

	区	了 昇 靱 仃 イ	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	35,900	30,800	700	
予	2	補正予算	0	0	0	
算情	3	繰越予算	0	0	0	
報		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	77 AT AT AT A T
,	小計	·(①~③)	35,900	30,800	700	予算編成時記入 (3次公表時)
予	1	一般財源	0	0	0	(00(11214)
	2	国支出金	0	0	0	
算財源	3	府支出金	1,627	0	0	
内	4	地方債	0	0	0	
泥	⑤	その他特財	34,273	30,800	700	
211	1	流充用額	0	二次公表時記載	0	0
決算	2	配当予算	35,900	30,800	0	0
情報	3	執行額	26,450	二次公表時記載	0	0
THX		執行率	73.7%	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.11 / 0.00	1.00 / 0.00	1.00 / 0.00	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	8,880	8,000	8,000	0
		スルコスト f額+概算人件費)	35,330	8,000	8,000	0

成果宰績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)	市内業者利用	頭数	頭	22	20	/	36	20	/	36	/	0	36
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	利用頭数	_	頭	426	323	/	662	162	/	662	/	0	662
(アウトプット)		単位あたり:	コスト	0.0		81887.3	3						
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ 他事業を統合 (統合事業名:

#限の組合 評価の組合 評価の組合	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは受い方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休」これまでの課題及び 	△ × x k	・近隣にも同じ施設が存在している。 ・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。 ・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 ・一機能の維持管理・運営は達成できた。
・	#業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息 これまでの課題及び	× × kg肉センタ	・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。 ・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
日前・目標の達成手段として適切で、	***	× × kg肉センタ	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
### 使先度の高い事業か	 優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息にれまでの課題及び 	×	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
カ 車 性	カ 率 性 ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息	×	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
# 十分行われているか	###	×	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
# 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目 ・投展・測定されているか ・ 投入資源に見合っているか ・	施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息 これまでの課題及び	食肉センタ	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
#	相接・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息	食肉センタ	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
### 対 性 投入資源に見合っているか	投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 ・ 本業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・ 令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止	食肉センタ	
十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食肉センター機能の維持管理・運営は達成できた。 ・令和3年度内での変換状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 ・	+分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び		
	指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び	止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
	指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び	止した。 そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
・	対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休」 これまでの課題及び	止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	<u></u> 止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	止した。そ	市和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	止した。そ	う和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	VI 二次評価(事業所属外による他部署評価))	
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)			
子氏日曜一ゲー	富谷經価コメント	車業	
	〒 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	事 未	
VII 評価をふまえた次年度事業方針	V∥ 評価をふまえた次年度事業方針		
方針区分 評価を踏まえた見直し内容	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
- Hand	担当課の		
事業の見直し			
	予算要求方針		(3次公事時)
			(3久公女啊)
			(3X X X M)
	VⅢ 予算反映結果		(0% A A M)

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

	- 47	『業属性																		
		業名	19 災害に	強い森づく	り事業															
	事業	美担当	所属	25020000	産業政	策部 農	林業振興課						所	属長	余田 労	<u>\$</u>				
	会計	†情報	事業コード	550319	款 06	農林業	費 項 02 2	林業費		02 林	*業振	興費	会	計 01	一般会	計 決算	算付属資	料		頁
	施第	传体系	施策コード	040102	施策	名 治山	・治水対策を	歯化する	5				ı	1		ı				
	計画	期間	開始年度	平成28年	度終	了予定年	度 令和3年月	度 関	連計画名	i										
	根拠	法令等																		
	事業	美区分	□ 法定受	託事務	□ 国	府補助事	業 🛭 市島	单独事業	₩ □ ₽	部庶務	务的事	業口	その他	()
F	₹3現在	生の状況	☑ 継続中	□ 廃.	止/休业	L \square	他事業へ統合		他事業を	統合										
	関連	車業																		
	事	業基礎性	 青報																	
		集目的 べき姿)	台風等によ	にり保全機能	能が低 ⁻	下した森	林において、森	林荒廃	の拡大、	土砂等(の流出	出による:	再度被 [']	害を防	止するた	め治山	╽施設を	設置す	る。	
	対	象者	保全対象層	■数						対象者	首数		1		単位あ	たりコス	スト	4,	960.0	
	実施	医方法	☑ 直接実	施	業務委	季託	□ 指定管理		補助金3	:付		その他	()
委託	£先·写	実施主体等					た大江町公庄													
		は概要 を 書 き)																		
			支出に係	系る主な費	3	支出実績	(R2)						主な業	務内容						
*	務内	出に係る容と経費	D SO					=3	火公表	時記	載									
	<u>区</u>	· 算執行》 分		1(評価前4	≒ ri		Da/	評価年	唐)			D2	(本年度	F۱			D4/	要求年	中~	
		 当初予算		(1 (計1)	十段)	0	RZ (計画十		.000		r.o	一十万		35.000	_	R4 (女小十	(支)	_
予	_	ョ物で昇 補正予算				4,000			30	000,				•	0 000					
算		^{領エア昇} 繰越予算				61,975				U					U	_				
惰報	(a) 16	前年度繰越							Λ 21	1/0				,	25 1/0					
1111		次年度繰越			,				△ 21						25,149					
,	 	1~3)			33,010				4	,000					25,149					
									△ 25	,000				2	25,149		予算	編成時	記入	
予	① -	一般財源							△ 25	,000				2	25,149		予算i	編成時 V公表	記入時)	
	_	一般財源				65,975			△ 25	,000 ,149 ,851				2	25,149 0 60,149		予算i	編成時 文公表	·記入 時)	
算財	2				-	65,975 4,000 65,975 \triangle 25			△ 25 13	,000 ,149 ,851				(25,149 0 60,149 0		予算 (32	編成時 V公表	記入 時)	
算財源内	2 E	国支出金			-	65,975 4,000 65,975 △ 25 0			△ 25 13	,000 ,149 ,851 0				(0 60,149 0 0		予算(32)	編成時 文公表	記入 時)	
算財源	2 E 3 H 4 t	国支出金			-	65,975 4,000 65,975 \triangle 25 0 66,000			△ 25 13	,000 ,149 ,851 0 0				(0 60,149 0 0 35,000		予算 (33)	編成時 欠公表	·記入 時)	
算財源内訳	2 I 3 R 4 t	国支出金 府支出金 地方債			-	65,975 4,000 65,975 △ 25 0 66,000		二次	△ 25 13	,000 ,149 ,851 0 0 ,000				(0 60,149 0 0 0 35,000		予算(32	編成時 文公表	記入 時)	0
算財源内訳 決算	2 E 3 H 4 ± 5 1	国支出金 府支出金 地方債 その他特財				65,975 4,000 65,975 \triangle 25 0 66,000 0			△ 25 13 39 公表時	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0				(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0		予算:	編成時	·記入 時)	0
算財源内訳 決算情	2 E 3 F 4 5 4 1 3 E 2 E 3 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	国支出金 存支出金 地方債 その他特財 充充用額 配当予算 執行額				65,975 4,000 65,975 △ 25 0 66,000 0 0 65,975 65,975		二次	△ 25 13 39 公表時 13	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0 記載 ,851				(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0		予算(32)	編成時	時)	
算財源内訳 決算	2 E 3 F 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	国支出金 府支出金 地方債 その他特財 充充用額 配当予算 執行額				65,975 4,000 65,975 △ 25 0 66,000 0 0 65,975		二次	△ 25 13 39 公表時	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0 記載 ,851				(25,149 0 60,149 0 0 0 35,000 0 0 0		予算i (32	編成時次公表	時)	0
算財源内訳 決算情報 板	② 目 ③ A ④ b ⑤ 右 ① 第 ② 酉 ④ 幸 ① 初	国支出金 府支出金 地方債 その他特財 赤充用額 配当予算 執行職 大事等 執行職員数 正面目の報告表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	0.29	/	0.	65,975 4,000 65,975 △ 25 0 66,000 0 0 65,975 65,975	0.62	二次	△ 25 13 39 公表時 13	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0 1記載 ,851 記載	0.6	62		(25,149 0 60,149 0 0 35,000 0 0	0.0	(32	編成時	0.00	0
算財源內訳 決算情報 概算	2 E 3 F 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	国支出金 存支出金 地方債 その他特財 充充用額 配当予算 執行額 執行率 と連載を(選託等) 既算人件費	0.29	/ 2,320	0.	65,975 4,000 65,975 0 66,000 0 0 65,975 65,975 100.0%	0.62	二次	△ 28 13 38 公表時 13 公表時 0.0	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0 1記載 ,851 記載	0.0	62		(25,149 0 60,149 0 0 0 35,000 0 0 0	0.0	(32	文公表	時)	0
算財源内訳 決算情報 概算 一等	② E 3 R 4 b 5 d 3 p 4 p 4 d 3 d 4 p 4 d 3 d 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4	国支出金 存 支出金 や 方債 その他特財	0.29		0.	65,975 4,000 65,975 0 66,000 0 0 65,975 65,975 100.0%	0.62	二次	△ 25 13 35 公表時 13 公表時 ○ 0.0	,000 ,149 ,851 0 0 ,000 0 0 記載 ,851 記載	0.6	62	/	(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0 0 0	0.0	(32	文公表	時)	0
算財源內訳 決算情報 概算 一等	② E 3 R 4 b 5 d 3 p 4 p 4 d 3 d 4 p 4 d 3 d 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4 p 4	国支出金 府支出金 地方債 その他特財 充充用算 執行容 執行行率 は、計算 は、計 は は は は は は は は は は は は は		2,320	0.	65,975		二次	△ 25 13 35 公表時 13 公表時 ○ 0.0	,000 ,149 ,851 0 ,000 0 ,000 0 記載 ,851 記載 記載	0.0	62		(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0 0 0 0 0 4,960		(32	/	0.00	0 0 0
算財源内訳 決算情報	② E	国支出金 市支債 その作用額 での作用の での作用。 でのでの作用。 でのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでのでのでは、 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	‡	2,320	0.	65,975 4,000 65,975 0 66,000 0 0 65,975 65,975 100.0% .00	Н30	二次	△ 25 13 35 公表時 13 公表時 0.00 4	,000 ,149 ,851 0 ,000 0 ,000 0 0 記載 ,851 記載 ,960			R2	(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0 0 0 0 0 4,960	R3	000	/	0.00	0 0 0
算財源内訳 決算情報	② E A A A A A A A A A A A A A A A A A A	国支出金 市支出金 や方債 その元用等 配 1 行 平 額 に 1 行 平 率 員 数 に 正 照 月 人 件 費 の 子 の 子 の 子 の 子 の 子 の 子 の 子 の 子 の 子 の		2,320	0.	65,975 4,000 65,975 0 66,000 0 0 65,975 100.0% .00 68,295		二次	△ 25 13 35 公表時 13 公表時 ○ 0.0	,000 ,149 ,851 0 ,000 0 ,000 0 記載 ,851 記載 記載	0.6	32		(25,149 0 60,149 0 0 85,000 0 0 0 0 0 4,960		(32	/	0.00	0 0 0

整備地区数

地区

単位あたりコスト

単位あたりコスト

2/3

21326.0

0.0

2

32987.6

3

1

0

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己評		Steller - and 1
項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		平成30年に発生した豪雨災害により民家裏の災害復旧的な事業で、ニーズは高い。 ・複数の土地に影響する事業であるので、市民自らが行なうことは困難である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		. 古知应の系红市学で、沿山市学でも Z t. b. 亞米老丹切けなけ」かい
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		・京都府の委託事業で、治山事業であるため、受益者負担は発生しない。 ・コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		・成果実績は毎年度把握している。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・京都府からの委託事業であるため、100%補助で事業実施が可能で、受益者負担も発生しない有効性のある事業である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は	0	
	十分行われたか	国连州中	カ東孝元字佐田難か然にも言和広の単M東孝元も7「巛字に34八末ペノ 東巻・L」 マチャと
	れているもので、災害復旧事業と同様で、成	果指標の語	り事業で実施困難な箇所を京都府の単独事業である「災害に強い森づくり事業」として委託さ 役定は困難である。 また、公庄地区治山工事については繰越事業となったが、令和3年度に完了予定。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	・本事業の実施が必要な箇所が多くあるため	、関係自治	台会とも調整の上、京都府に対し事業採択の要望を継続していく必要がある。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
古仏部に一小!			
事後評価コメント		 	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			▼ 46 48 +F1 - 87 3
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
٠ مخد جب			
_ Ⅷ 予算反映網			****
予算反映結果	□現状維持□廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業名	01 福知山千年の森づく	り事業					
事業担当	所属 25020000 産	業政策部 農林業振 り	興課		所属長	余田 学	
会計情報	事業コード 220401 詩	款 06 農林業費 耳	項 02 林業費	目 02 林業振	興費 会計 01	一般会計 決算付	属資料
施策体系	施策コード 060101	施策名 生産基盤・旅	施設の整備により生産	力を高める			
計画期間	開始年度 平成20年度	と 終了予定年度 令和	口20年度 関連計画	名 福知山千年	₹の森づくり基本計画		
根拠法令等							
事業区分	□ 法定受託事務 🕠	☑ 国府補助事業 🕠	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止	/休止 □ 他事業へ	へ統合 □ 他事業	を統合			
関連事業							
── 事業基礎 ┃	 青報						
事業目的 (あるべき姿)							運動を推進して、国定公 す。
対象者	国定公園来訪者数			対象者数	114,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 □ 第	業務委託 □ 指定	管理 口 補助金	交付 🗆	その他 ()
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	関係課による庁内会議大江山周辺の活用につ		き取り調査の実施				
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容		
主な支出に係る 業務内容と経費			_=	次公表時記	載		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	₹3(本年度	!)	R	(要求年)	変)
	1	当初予算			422			2,826			9,183			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T 4		
	小計	h(①~③)			422			2,826			9,183		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	V 1 1 1 1	47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			300			2,826			2,750			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			122			0			6,433			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			422			2,826			0			0
情報	3	執行額			272		二次公	公表時記載			0			0
TRX.		執行率			64.5%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.26	/	0.00	0.23	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,080			·-	1,840			1,840			0
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			2,352			1,840			1,840			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	国定公園への	来訪者数	人	131000/257000	123000	/	257000	114000	/	257000	/	257000	257000
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	千年の森づくり	活動参加者数	人	242/ 127	292	/	133	23	/	146	/	146	146
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.9							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

□ □ 八評価(、争 耒 担 当 所 禹 内 によら目 亡 ā 	評価	評価の理由
Х Н	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	H I IIM	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒
	・・中氏や任芸の―一人を的唯に捉えた 事業か		に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	する必要性は高い
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		方向性を決めるための基礎調査であり、直接事業者等関係団体への聞き取りを行っている ため、効率性は良い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		同ウハ国ナばん
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることと、小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	はじめの取り掛かりとして、自然・歴史・伝 要である。	説など地域	資源の魅力をどのように発信していくのか、多くの意見を聞き取り将来像を見据えた検討が必
古書の日始まげ			
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	白妹, 藤中, 仁治など様々な地域姿質の鮭	カカ祭/信!	誘客を図りつつ、国定公園の価値を見出し継続的に森づくりに関わる人を作ることで、地域振
			おなどので、福知山千年の森づくり計画の見直しを実施する。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価((事業所属外による他部署評価	6)	
事後評価コメント		車割	薬評価実施後に記載(対象事業のみ)
学校肝臓コグンド		777	KITIW大心後に記載(対象・手未のが)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
及5 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映;	·		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	口子	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	06 家畜市	場運営事業	ŧ											
事業担当	所属	25020000	産業政策部	農林業	振興課					所属	長 余田 学			
会計情報	事業コード	210606	款 06 農村	木業費	項 0	1 農業	美費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の	生産・た	加工・	流通・販売:	力を	高め、1次産品のブラ	ンド化・	3次産業化など	を推進する		
計画期間	開始年度	昭和50年	度 終了予	定年度	令和3年	F度	関連計画	名						
根拠法令等	福知山市宮	當家畜市場多	条例、福知L	山市営家畜	市場規	則、福	国知山市営	家畜	市場の書類等の様式に	に関する	規則、福知山市	市営家畜市場飼	料販売規程条	:例
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	i助事業	Ø †	単独	事業 🗆	内部	『庶務的事業 □ その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事業	業へ統:	合	□ 他事業	を紛	拾		•	•		
関連事業														

Ⅱ 事業基礎作	月郑							
事業目的 (あるべき姿)	福知山市営家畜市場を、	仔牛・成牛の購買の場	とし畜産振興に資	する。				
対象者	畜産農家(牛)			対象者数	14	単位あたりコスト	175.7	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指定管	理 口 補助金	交付 □	その他()
委託先·実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	施設維持管理を適切に行	い、全農京都の使用に	よるセリ市 (年5回	1)の会場として	で使用を許可している。			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容			
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載			

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	R	3(本年度	()	R4	(要求年)	变)
	1	当初予算			1,297			1,443			1,515			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	777 AN	A	
	小計	h(1)~(3)			1,297			1,443			1,515		編成時 次公表	
予	1	一般財源			86			232			339	(0	<u> </u>	7
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			1,211			1,211			1,176			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			C
算	2	配当予算			1,297			1,443			0			C
惰報	3	執行額			809		二次公	公表時記載			0			C
ŦIX	_	執行率			62.4%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.12	/	0.60	0.12	/	0.60	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,800				2,460			2,460			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			3,609			2,460			2,460			C

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	市内農家市場取	双引実績(年間)	頭	0	124	/	150	138	/	150	/	150	150
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	中丹家畜市場耶	双引実績(年間)	頭	553	459	/	590	461	/	590	/	590	590
(アウトプット)		単位あたり	コスト	_		1.8							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

(単位:千円)

項		<u> </u>	● 素 担 当 所 偶 内による目 C 評価の観点	評価	評価の理由
- 7			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	HI IIM	京都府唯一の家畜市場であり、年間約500頭の取引があり、繁殖農家・肥育農家にとって
			事業か		必要である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	O	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		年間1,000千円以上の使用料収入が見込め、支出バランスが効率的といえる。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		全農京都からの実績報告に基づき、実績把握をしている。 セリ市会場として開放することで、市内及び近隣畜産農家の利用が見込め、畜産振興として 有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			├・先行事例の分析や外部資源の活用は │ 十分行われたか		
			中丹家畜市場の開場は、仔牛・成牛の	講買の場として	福知山の畜産振興に有効である。
事業の 指標等の 対する!)達成	状況に			
				犬態になってい	るが、全農京都により年間5回のセリ市が開催されているため、今後も継続して維持管理を行
			う。		
これまで 今後	:の課 の方I				
\ <u>\</u> \\	- Y	· 誕研(事業所属外による他部署部	2年)	
VI -	<u> </u>	<u>ът лш (</u>	ず未川崎川による他即省町	-	
事後評	平価コ	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
 	亚伊	たこす	 えた次年度事業方針		
VII ¤	r) /III.	15,0,2	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
J)// Em	•			
事業	当課の見	直し			文管信点/
	及び 要求:				予算編成に記入 (3次公表時)
VIII ³	予算	反映紀			
予算			□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
7男	火吹	阳米	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 7 7 7 7 7 7														
事業名	14 と畜場	運営費												
事業担当	所属	25020000	産業政	策部 農林	業振興課					所属	全 余田 学			
会計情報	事業コード	210601	款 04	衛生費	項 05	と畜:	場費	目	01 と畜場施設費	会計	01 一般会計	決算付属資料	Ī	頁
施策体系	施策コード	060106	施策	名 公設市	場等を活性	E化す	トる							
計画期間	開始年度	平成9年	終	了予定年度	令和3年	度	関連計画:	名						
根拠法令等	と畜場法													
事業区分	□ 法定受	託事務	□国	存補助事業	口市	単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	の他	()	
R3現在の状況	□ 継続中	□ ☑ 廃」	上/休止	. □ 他事	事業へ統合		□ 他事業	を約	t 合					
関連事業	と畜場特別	会計		•	•					<u> </u>	•			

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	食用に供するために行な 施設として連携を図りなか ち本市分に充てている。						
対象者	福知山市(と畜場特別会語	 †)		対象者数	1	単位あたりコスト	2,560.0
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	定管理 🗆 補助金	交付 ☑	その他(と畜場特別会計へ	の負担金支出)
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	- と畜場法に基づく食肉処	理施設である、福気	知山市食肉センターの	管理運営・維持	寺管理を行うための	負担金を支出した。	
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内]容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	·····································		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度	₹)	F	3(本年度	E)	R	1(要求年)	隻)
	1	当初予算			17,862			18,466			700			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		- AT -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計	·(①~③)			17,862			18,466			700		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			17,862			18,466			700	,,	V 1 1 1 1	37
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			△ 47		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			17,815			18,466			0			0
情 報	3	執行額			14,672		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			82.4%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.11	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		8,880				2,560			2,560			0
		スルコスト f額+概算人件費)			23,552			2,560			2,560			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	総利用頭数		頭	426/662	323	/	662	162	/	0	/	0	662
実績/目標	本市分利用頭	数	頭	22/21	0	/	0	23	/	0	/	0	21
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	負担金決算額		百万円	17	14.6	/	17.8	14.38	/	0	/		16.4
(アウトプット)		単位あたり	コスト	ı		1004.9							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•	•						

□ 他事業を統合 (統合事業名:

#限の組合 評価の組合 評価の組合	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは受い方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休」これまでの課題及び 	△ × x k	・近隣にも同じ施設が存在している。 ・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。 ・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 ・一機能の維持管理・運営は達成できた。
・	#業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息 これまでの課題及び	× × kg肉センタ	・福知山市には古くから家畜市場が存在するなど、食肉文化が根付いている。 ・平成9年の開場以来赤字運営となっている。 ・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
日前・目標の達成手段として適切で、	***	× × kg肉センタ	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
### 使先度の高い事業か	 優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息にれまでの課題及び 	×	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
カ 車 性	カ 率 性 ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息	×	・新型コロナウィルスの影響により、処理頭数が令和元年度の半分となっている。 ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
# 十分行われているか	###	×	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
# 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・食肉業界全体の後継者不足等による業者の減少や、新型コロナウィルスの影響により目 ・投展・測定されているか ・ 投入資源に見合っているか ・	施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に ・把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息 これまでの課題及び	食肉センタ	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
#	相接・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休息	食肉センタ	標値との乖離がある。 一機能の維持管理・運営は達成できた。
### 対 性 投入資源に見合っているか	投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 ・ 本業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・ 令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止	食肉センタ	
十分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食肉センター機能の維持管理・運営は達成できた。 ・令和3年度内での変換状況に対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 ・	+分行われたか ・令和2年度は持ち込み頭数は減少したが、食 事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止した。令和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。 これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び		
	指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び	止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
	指標等の達成状況に 対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休止 これまでの課題及び	止した。 そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
・	対する定性的評価 ・令和3年3月31日で食肉センターの運営を休」 これまでの課題及び	止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	<u></u> 止した。そ	合和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	止した。そ	市和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
これまでの課題及び 今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	これまでの課題及び	止した。そ	う和3年度内での条例廃止に向けた調整を行う。
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
今後の方向性 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	VI 二次評価(事業所属外による他部署評価))	
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)			
子氏日曜一ゲー	富谷經価コメント	車業	
	〒 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	事 未	
VII 評価をふまえた次年度事業方針	V∥ 評価をふまえた次年度事業方針		
方針区分 評価を踏まえた見直し内容	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
- Hand	担当課の		
事業の見直し			
	予算要求方針		(3次公事時)
			(3久公女啊)
			(3X X X M)
	VⅢ 予算反映結果		(0% A A M)

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

事業属性	(単位: 千円)
事業名	81 農林漁業者経営継続支援事業
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿
会計情報	事業コード 210581 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
施策体系	施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める
計画期間	開始年度 令和2年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名
根拠法令等	
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
事業基礎性	青報
	新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、農林漁業者が国の「経営継続補助金」を活用し、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・ 開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組に対し、福知山市が上乗せ補助をすることにより、農林漁業者の経営の 維持を図る。
対象者	市内の農業者(2020農林業センサスデータ) 対象者数 3,081 単位あたりコスト 0.6
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先·実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	市内の農林漁業者が国の「経営継続補助金」を活用し、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組に対し、福知山市が上乗せ補助を行った。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載

|| 予算執行状況

	Z	了昇靱行1	R1(評価前年度)	R2(評価年度)		R3(本年度)	R4(要求年	度)
	1	当初予算				0		
予	2	補正予算			11,040	0		
算情	3	繰越予算		Δ	14,112	14,112		
報		前年度繰越				14,112		
		次年度繰越		Δ	14,112	0	7 AT AS - 1 A	
,	小計	(1~3)		Δ	3,072	14,112	予算編成問 (3次公表	記人 (性)
予	1	一般財源			0	0	(0)	, P (1 /
	2	国支出金			11,040	14,112		
算財源	3	府支出金			0	0		
内	4	地方債			0	0		
訳	⑤	その他特財			0	0		
4	1	流充用額		二次公表	寺記載	0		0
決算	2	配当予算		Δ	3,072	0		0
情報	3	執行額		二次公表	寺記載	0		0
ř		執行率		二次公表	寺記載			
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	/	0.22 / 0.	00 0.2	22 / 0.00	0.00 /	0.00
工算	2	概算人件費			1,760	1,760		0
		スルコスト f額+概算人件費)	0		1,760	1,760		0

IV 業績指標

成里字籍	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
成果実績(アウトカム)	補助件数		件		/	17	/	64	/	64	
実績/目標					/		/		/		
	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
活動車績	補助対象者数		者		/	17	/	70	/	70	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり	コスト								
美積/計画					/		/		/		
		単位あたり	コスト								

「項		<u> </u>	● 乗担当所属内による目に 評価の観点	評価	評価の理由
		_	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	W1 III	新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援である。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	:o O	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援であり、補助率等は妥当である。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		英型ラワーウノリフやはしから7 図合士揺っ、同様の。の中誌来と様のや色に「ブレス
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援で、国補助への申請者を補助対象としている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			▼・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			想定以上の申請があり、コロナ禍で生産	、出荷が減少	している農業者の支援が行われた。
事業の 指標等の 対する!	達成	状況に			
			緊急支援であることから、国の制度設計会後も、災害に対する対応は短期間での		く、農業者が戸惑われる事が多かった。 1行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がス
			ムーズに支援を受けられるよう努める。	7 11 12 DX DX D1 (17)	们になるが、日、川子木につく (18年2年 民国にデスト)日の歴史をもといく、成本日の八
これまで	の課	題及び			
	の方面				
VI 2	二次	評価(- 事業所属外による他部署評	2価)	
事後許	5 / =	45.L		*	ま評価実施後に記載(対象事業のみ)
争该的	十四二	メント		尹未	会計画天心伎に記載(対象争条のの)
VII \$	评価	をふま	えた次年度事業方針		•
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	当課の	מ			
	の見る	直し			予算編成に記入
	要求	方針			(3次公表時)
VIII	予算	反映紀	吉果		
予算	反映组	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
, ,,,,			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

	事業名	80 強い農業・担	ハモづく	い松合支援国	丰												
	事業担当				₽ [┲] Ł林業振興課					託屋 E	西畑 信	ŧ.					
						曲米曲		## #F (B)				-	次业				
	会計情報			06 農林業		農業費		農業振興			一般会計						
	施策体系	施策コード 0601			を物の生産・加)、1次座	品のフラント	化•6次	産業化など	を推進する	5				
	計画期間			終了予定年			計画名										
	根拠法令等	強い農業・担い	手づくり総	合支援事業	実施要綱(国)	施要綱(国)、福知山市強い農業・担い手づくり総合支援事業実施要綱 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (
	事業区分	□ 法定受託事	務 🛭	国府補助事	業 口市	単独事業	□ 内部庶	務的事業	□ その作	也 (
F	3現在の状況	☑ 継続中 [〕廃止/作	休止 口	他事業へ統合	` □他											
	関連事業																
Ш	事業基礎	青報															
	事業目的 (あるべき姿)		る。						導入し、主体的な経 る。								
	対象者	市内の農業者(2020農林	業センサス・	データ)		対象:	者数	3,081		単位あた	りコスト	0.3				
	実施方法	□ 直接実施	口業	務委託	□ 指定管理	☑補	助金交付		の他	(
委託	f.先·実施主体等									•							
	事業概要 (箇条書き)																
		支出に係る主	な費目	支出実績	(R2)				主な美	業務内容	ł .						
	こな支出に係る 注務内容と経費						二次公表	時記載									
	予算執行																
III	予算執行 ² 区 分		価前年度	E)	R2	(評価年度	·)		R3(本年	度)		R4	(要求年度)				
III	予算執行 区 分 ① 当初予算		価前年度	E)	R2	(評価年度	0		R3(本年	度)	0	R4	(要求年度)				
予	予算執行 ² 区 分		価前年度	E)	R2	(評価年度	.,		R3(本年	度)	0	R4	(要求年度)				
予算	予算執行 区 分 ① 当初予算		価前年度	E)	R2	(評価年度	0		R3(本年	度)		R4	(要求年度)				
予	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算		価前年度	E)	R2	(評価年度	0 1,617		R3(本年	度)	0	R4	(要求年度)				
予算情	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算		価前年度	E)	R2	(評価年度	0 1,617 0		R3(本年	度)	0						
予算情報	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越		価前年度	0	R2	(評価年度	0 1,617 0		R3(本年	度)	0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越		価前年度		R2	(評価年度	0 1,617 0 0		R3(本年	度)	0 0 0	予算					
予算情報	予算執行 区分 ①当初予算 ②補正予算 ③繰越予算 前年度繰越次年度繰越 小計(①~③)		価前年度		R2	(評価年度	0 1,617 0 0 0 0 1,617		R3(本年	度)	0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源		価前年度		R2	(評価年度	0 1,617 0 0 0 1,617		R3(本年	度)	0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金		価前年度		R2	(評価年度	0 1,617 0 0 0 1,617 0		R3(本年	度)	0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金		価前年度		R2	(評価年度	0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617		R3(本年	度)	0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内訳	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債		価前年度		R2		0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617		R3(本年	(度)	0 0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財		価前年度		R2		0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617		R3(本年	(度)	0 0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内訳 決算情	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額		価前年度		R2	二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 1,617 0 0 3表時記載		R3(本年	度)	0 0 0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内訳 決算	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度線越 次十(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算		価前年度		R2	二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 1,617 0 5 表時記載		R3(本年	度)	0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内訳 決算情	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越事年度繰越次年度繰越次年度繰越次年度線超级 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予額 ④ 執行率		価前年度		R2	二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617 0 0 表時記載 1,617 表時記載	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算	編成時記入				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 极	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度線域 次年度線域 次年度線域 次年度線域 次年度線域 2 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額		価前年度			二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予 類 (3	(編成時配入 次公表時)				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財助金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 配当有額 ② 執有事職員数 ② 配当有額 ② 概算人件費 一タル+概算人件費		価前年度			二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 1,617 0 1,617 0 5 表時記載 1,617 表時記載 0.00	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予 類 (3	(編成時配入 次公表時)				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初下等 ② 補正予算 ② 補起予算 ③ 繰越下等 度線越下等 度線越下等 度線越下等 度線越下等 度線越下等 度線越下等 度線越下等 日間 一般財 出金。 ② 府支 出金。 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流配当有額率 第一番 執行事職(型 配質) 従環境 (世間度) と で の は で で の は で で の は で で の は で で の は で で の は で で の は で で の で の		価前年度	0		二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載 表時記載 0.00	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予 類 (3	(編成時配入 次公表時)				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初予算 ② 補建越予算 ③ 繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度線越 次年度線域 次年度線域 次年度線域 3 府方の他特財 ① 配力のの用額 ② 配子可能 4 地方の他特財 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ③ 執行事職 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 配子可能 ② 和子可能 ② 一名 ② 一名 ② 一名 ② 一名 》 一。 一名 》 一名 》 一名 》 一。 一名 》 一。 一名 一名 一名 一。 一名 一名 一。 一名 一。 一名 一。 一名 一。 一名 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		価前年度	0		二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載 表時記載 0.00	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予 類 (3	(編成時配入 次公表時)				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初正予算 ② 補越的 (1) 一名 (2) 一名 (3) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (5) 一名 (5) 一名 (6)	R1 (FF	/	0	0.10	二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 1,617 0 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載 0.00 800	0.10			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算(3	(編成時配入 次公表時) / 0.00				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区 分 ① 当初予算 ② 補正予算 ③ 繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度線	R1(評	/	0 0	0.10	二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 0 1,617 0 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載 0.00 800	0.10	R2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予知 (3 0.00	(編成時記入 次公表時) / 0.00				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初正予算 ② 補越的 (1) 一名 (2) 一名 (3) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (5) 一名 (5) 一名 (6)	R1(評	/	0 0	0.10	二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 1,617 0 1,617 0 表時記載 1,617 表時記載 0.00 800	0.10	R2 2 /	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予知 (3 0.00	(編成時記入 次公表時) / 0.00				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初正予算 ② 補越越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財出金 ③ かったのでは、 ③ かったのでは、 ④ かったのでは、 ③ 教事事質 ④ 教事事質 ④ 教事事質 (正明月 ののでは、 (正明月 ののでは、 (正明月 ののでは、 (正明月 ののでは、 (正明月 ののでは、 (工のでは) (工ので)	指 導入機械数	/	0 単位 台	0.10 H30	二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 1,617 0 0 1,617 0 0 表時記載 1,617 表時記載 0.00 800 800	0.10	R2 /	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算 (3 0.00 R3 / 2 /	(編成時配入 次公表時) / 0.00 				
予算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 一等	予算執行 区分 ① 当初正予算 ② 補越的 (1) 一名 (2) 一名 (3) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (4) 一名 (5) 一名 (5) 一名 (6)	指 導入機械数	/ 標	0 0 単位 台 単位	0.10 H30	二次公二次公二次公	0 1,617 0 0 1,617 0 0 1,617 0 0 表時記載 1,617 表時記載 0.00 800 800	0.10	R2 / / R2	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予 (3 0.00 R3 / 2 / R3	編成時記入 次公表時) / 0.00 / 0.00 最終目標 2 最終目標				

項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		過疎高齢化が進行し、小規模農業者が個人で機械導入することが困難ななか、共同利用機 械等の導入に対する支援が必要である。
	事業か		「旅寺の寺八に対する又版が必女でめる。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		事業完了後も導入機械の利用状況や組織の経営内容を調査し、補助金の有効活用を確認している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	農業用機械等の導入支援を行うことで、規模	莫拡大等本	市の農業振興に有効な事業である。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	of the silk one like it is a side of a silk of the sil	-1	
	農業用機械の導入は継続した支援が必要で	である。	
これまでの課題及び 今後の方向性			
予使の方向性			
1/1 - 冷部/17/	(事类公区) 1.2 上7 小如罗莎/17	: \	
VI 一次評価(事業所属外による他部署評価	1)	
事後評価コメント		事業	詳価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し及び			予算編成に記入
予算要求方針 			(3次公表時)
 	序 		
	□現状維持□廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:
<u> </u>	<u> </u>		

福知山市 令和3年度事務事業評価シート - 事業属性

(単位:千円)

事業名	79 農業振興計画管理事業
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿
会計情報	事業コード 210579 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生産力を高める
計画期間	開始年度 平成30年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 農業振興地域整備計画
根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律、福知山市農村計画審議会規則
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
	青報
事業目的 (あるべき姿)	農家の高齢化や有害鳥獣の被害等により不作付農地が拡大しつつある中、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき策定した「福知山市農業振興地域整備計画」に基づき、優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用及び農業施策の実施を図る。
対象者	市民(世帯数) 対象者数 36,382 単位あたりコスト 0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	株式会社パスコ京都支店
事業概要 (箇条書き)	令和2年度に見直しを行った農業振興地域整備計画に基づき、農用地区域の適切な維持管理及び開発防止を図るための指導等を行う。
	古山に仮えたか弗日 古山宇徳(Da) たか業務内容

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	了 昇	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)
	1	当初予算	7,498	527	376	
予	2	補正予算	(0	0	
算情	3	繰越予算	(0	0	
報		前年度繰越	(0	0	
		次年度繰越	(0	0	T MT /5 1 1 2 2
,	ト計	·(①~③)	7,498	527	376	予算編成時記入 (3次公表時)
予	1	一般財源	7,498	527	376	(00(11214)
第	2	国支出金		0	0	
算財源	3	府支出金		0	0	
内	4	地方債	(0	0	
訳	⑤	その他特財	(0	0	
決	1	流充用額		二次公表時記載	0	0
算		配当予算	7,498	527	0	0
情報	3	執行額	3,280	二次公表時記載	0	0
+HX		執行率	43.79	二次公表時記載		
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.30 / 0.00	0.48 / 0.00	0.48 / 0.00	0.00 / 0.00
工算	2	概算人件費	2,400	3,840	3,840	0
		スルコスト	5,680	3,840	3,840	0

二次公表時記載

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	審議会等開催	数	回	1	0	/	1	1	/	1	/	1	1
実績/目標	農用地内の遊	休農地割合	%	0.34	2	/	0		/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	審議会等出席	委員	人	14	0	/	0	13	/	18	/	18	18
(アウトプット)		単位あたり	コスト	210.9									
実績/計画	計画変更(一般	投管理)	件	2	1	/	3	0	/	0	/	3	3
		単位あたり	コスト	1476.2		3280.0							

□ ▼ 一次評価	↑(争 兼 担 当 所 偶 汋 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
		AT IM	・農林業全般にわたる計画に関する事項、その他重要事項の調査及び審議を行う機関とし
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		て市が取り組む必要がある。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	・農業振興地域整備に関する法律に基づく業務として行政が行う必要がある事業である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・必要最低限の会議運営費のみで実施している。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		・審議会での意見などを参考にして各種施策へ反映するという手段は有効的である。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に把握・測定されているか		・各種農業振興事業の基本方針となる計画であり、有効性は高い。 ・すべての農地の振興を図ることは困難であるため、振興を図るべき農地を線引きすること
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	0	は有効である。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	令和2年度に福知山市農業振興地域整備語 今後、本計画を本市の農業振興の指針とし		
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
			図るべき農振農用地であっても、担い手の高齢化や過疎化から、農地の保全や有効利用が
	困難になっている。今後は担い手の確保の う次期見直しに向けた整理を行う。	状況を踏ま	えながら、守るべき農地をさらに絞る必要があるかを検討し、より情勢に応じた計画となるよ
これまでの課題及び 今後の方向性			
	 i(事業所属外による他部署評価	j)	
77 922712		· ,	
事後評価コメント		争莱	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふ	 まえた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 76 多面的機能支払交付事業

(単位:千円)

事業担当	所属	25020000	産業政策部	『 農林業	振興課					所属	長一世	5畑 信寿		
会計情報	事業コード	210576	款 06 農村	木業費	項 01	農業費	目	03 農業排	長興費	会計	01 -	-般会計	決算付属資	[料 頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤	·施設σ	D整備により生	産力	を高める						
計画期間	開始年度	平成19年	度 終了予	定年度	令和3年	度 関連計画	回名							
根拠法令等	農業の有する	多面的機能の	発揮の促進に	関する法律、多	多面的機能	比支払交付金実施 要	領、店	農と環境を守る	5地域共同活動3	支援事業3	交付金交	付要綱、福	知山市多面的村	機能支払交付金交付要領
事業区分	□ 法定受	を託事務	☑ 国府補	助事業	口市	単独事業 [内	部庶務的	事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事業	業へ統合	□ 他事	集を組	流合						
関連事業	中山間地	域等直接支	払交付事業	Ę										
── 事業基礎性	青報													
事業目的 (あるべき姿)		美用水等の保 持・発揮を図		ための地均	或の共同	司活動や自然環	環境の	の保全に資	でする農業生	産活動 [:]	を推進	すること	により農業・	農村の有する多面的
対象者	多面的機能	能支払交付	事業活動約	且織				対象者数	5	4	È	単位あたり	リコスト	164.4
実施方法	☑ 直接実	€施 ☑	業務委託	□指	定管理	☑ 補助st	全交	付 □	その他	()
委託先·実施主体等	対象事業?	実施活動組	織、(株)パス	コ京都支店	\$									
事業概要 (箇条書き)	農地の多	面的機能を	支える共同	活動や農り	地・水路	・農道等の質的	勺向 .	上を図る井	:同活動の取	組を支	援する	0.		
	支出に	係る主な費目	支出	実績(R2)					主	な業務に	内容			
主な支出に係る 業務内容と経費							二次	公表時言	己載					

||| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 イ 【 分	R1(評価前年月	隻)	R2	(評価年度	<u>:</u>)	R	3(本年度)	R4	(要求年)	変)
	1	当初予算		171,615			164,943			174,887			
予	2	補正予算		△ 6,506			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0			
,	小計	†(①~ ③)		165,109			164,943			174,887		「編成時 次公表	
予	1	一般財源		43,050			41,536			43,868	(0	711	N 7
	2	国支出金		0			0			0			
算財源	3	府支出金		122,059			123,407			131,019			
内	4	地方債		0			0			0			
泥	⑤	その他特財		0			0			0			
211	1	流充用額		△ 25		二次公	表時記載			0			0
決算	2	配当予算		165,084			164,943			0			0
情報	3	執行額		163,844		二次公	表時記載			0			0
+HX	4	執行率		99.2%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.00 /	0.32	1.01	/	0.32	1.01	/	0.32	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	8,800				8,880			8,880			0
		タルコスト (172,644			8,880			8,880			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	共同活動の取	組面積	ha	2012	1966	/	2100	1982	/	2100	/	2100	2100
実績/目標		0		0	0	/	0	/		0	/		0
	指 標活動組織数		単位	H30		R1	F0		R2		R3		最終目標
活動実績			組織	51	52	/	52	54	/	51	/	51	51
(アウトプット)		単位あたり	コスト	3277.6		3150.8							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ ▼ 一次評価((事業担当所属内による自己評 評価の観点	神神	評価の理由
坝口	21 22 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	RT1M	非農業者を含む地域活動組織が、農業資源の保全活動や農村環境の向上活動を行うこと
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		「により、農業振興の推進と人材育成に寄与する。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		交付金交付対象面積が大きいため、要綱に定められた現地確認を行うために多くの人と時間が必要になるが、地図情報システムの活用や中山間地域等直接支払交付事業との連携等により、効率化、省力化に努めている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		地域における施設等の保全管理及び共同活動を行うことにより、将来にわたり農地、水路、 農道などを地域で守っていくための地域づくりに有効である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	農業の有する多面的機能の維持・発揮を凶 	るための事	事業であり、近年、高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念されるなか、有効な対策である。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	過疎化、高齢化などによる耕作放棄地や遊 組面積の拡大を目指す。	休農地など	どの増加が懸念され、その影響が心配されるが、今後も新規取組地域を増やす等により、取
これまでの課題でな			
これまでの課題及び 今後の方向性			
 VI 二次評価(<u> </u> 〔事業所属外による他部署評価)	
721, 1		•	
			to the term who also yet a second to the term of the second to the secon
事後評価コメント		事 業	詳一年には、「一日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本
' VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
 VⅢ 予算反映;			
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

日本業属性

事業名 69 農業振興推進事業 事業担当 所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿 事業コード 210569 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める 施策体系 計画期間 開始年度 平成元年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 一 根拠法令等 事業区分 □ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 関連事業

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	地域における農業政策の	検討と円滑な推進	を図る。				
対象者	農区長			対象者数	248	単位あたりコスト	11.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	官管理 口 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	【軽微な委託業務であり()	農区長会の会場設	営と音響)、R2年度は	農区長会を実	施していないため記載	していない】	
事業概要 (箇条書き)	- 農区長委嘱要綱に基づ・ - 農区長を5年間就任され			<i>t</i> =。			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年)	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年月	₹)	R	(要求年)	支)
	1	当初予算			5,169			8,042			8,070			
予	2	補正予算			0			200			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP 84		
,	小計	+(1 ~ 3)			5,169			8,242			8,070		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			5,169			8,242			8,070	,,	~~~	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0		0							
影	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			195		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			5,364			8,242			0			0
情 報	3	執行額			5,310		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			99.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.15	/	0.00	0.34	/	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,200				2,720			2,720			0
		アルコスト f額+概算人件費)	6.510 2.720 2.7:					2,720			0			

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	活動に協力した	た農区長数	人	248	248	/	248	248	/	248	/	248	248
実績/目標					/				/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	農区長会開催数		回	3	1	/	3	0	/	3	/	1	3
(アウトプット)		単位あたり	コスト	1809.0		5309.6							
実績/計画	単位あたりコスト					/			/		/		
			コスト	0.0									

(単位:千円)

V —	日	、事業担当所属内による目亡を 	ヤイ四ノ 評価	評価の理由
- 74	-		HT-IM	農区長に対する事務委嘱要綱で市の事務を委嘱することにより、本市農業政策を地域に浸
		· 市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		透させるために必要な事業である。
必!	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		農区長に委嘱する事務について、「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に 関する 条例」の別表94号の規定に基づき定めたもので、コストは妥当である。
勃立	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		農区長に対して、農業関連課から様々な依頼を1年を通じて行っている。
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		辰色衣に刈して、辰未闵廷跡が竹杯べる依根で1十で通して17つている。
有 3	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		本市の農業政策の検討と円滑な推進を図	図るために、	地域の農区長の協力が不可欠であるため、継続して事業が実施出来ている。
	目的及び			
	達成状況に 2性的評価			
				従事されていなかったり、毎年交代されたりする中、地域の農業委員や農地利用最適化推進 地域に対する農林行政等の情報発信が出来るようにしていく。
		STOREST OF STREET	,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- E-MI-M, V GARTINA (IV INTERPRETATION OF THE CO. VI
これまでの	の課題及び			
	方向性			
<u>' VI =</u>	次評価(事業所属外による他部署評価	赿)	
市公司	圧っょい。		*	を評価実施後に記載(対象事業のみ) と評価実施後に記載(対象事業のみ)
争该群1	価コメント		争为	長計画夫施伎に記載 (対象争果のか)
VII 評	価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当	4課の			
事業の	り見直し とび			予算編成に記入
	東方針			(3次公表時)
	算反映	 結果		
马曾 尼	映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r 弄以	·~•	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | ・事業属性 | 68 中山間地域等直接支払交付事業

(単位:千円)

事業担当	所属	25020000	産業政策部	『 農林業技	振興課					所属:	長一西	互畑 信寿	ŀ	
会計情報	事業コード	210568	款 06 農林	木業費	項 01	農業費	目	03 農業排	長興費	会計	01 -	-般会計	決算付属資	料 頁
施策体系	施策コード	060101	施策名	生産基盤	·施設σ)整備により生	産力	を高める						
計画期間	開始年度	平成12年	度 終了予	定年度	令和3年	度 関連計	画名							
根拠法令等	農業の有する針	多面的機能の発	揮の促進に関	する法律、中山	間地域等	直接支払交付金実	拖要領	i、京都府中山lī	間地域等直接支払	4交付金等	交付要	領、福知山市	中山間地域等直	接支払交付金交付要領
事業区分	□ 法定受	:託事務	☑ 国府補	助事業	口市	単独事業	〕内	部庶務的	事業 □ その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事業	美へ統合	合 □ 他事	業を終	統合						
関連事業	多面的機能	能支払交付	<u>事業</u>											
── 事業基礎性	青報													
事業目的 (あるべき姿)	中山間地均	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農業生産活動の継続を推進することにより、農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。												
対象者	集落協定網	- 帝結団体						対象者数	6	4	Ĺ	単位あたり	リコスト	130.0
実施方法	☑ 直接実	施	業務委託	口指	定管理	□ 補助	金交	付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等	集落協定約	帝結団体、(*	#パスコ京	鄒支店										
事業概要 (箇条書き)	付する。 対象農用地	集落協定締結団体、㈱パスコ京都支店 中山間地域等において農用地を維持管理していくための協定を締結し、協定に基づき農業生産活動等の継続を推進する取組に対して交付金を交付する。 対象農用地は、特定農山村法、山村振興法、過疎法など9法で指定された地域及び知事特認地域(庵我、下豊富、上豊富、佐賀)内の傾斜がある等の基準を満たす農用地。												
	支出に係	系る主な費 E	支出:	実績(R2)					主	な業務内	内容			
主な支出に係る 業務内容と経費		支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容 二次公表時記載												

|| 予算執行状況

	Z	3 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	()	R4	(要求年)	变)		
	1	当初予算			129,118			127,570			119,380					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0	TT AN	· A= -11-			
	小計	†(1)~ 3)			129,118			127,570			119,380		編成時 次公表			
予	1	一般財源			36,718			32,898			32,460	(0	<u> </u>	7		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			92,400			94,672			86,920					
内	4	地方債			0 0 0											
訳	⑤	その他特財	32.					0			0					
決	1	流充用額			△ 134		二次公	公表時記載			0			(
算	2	配当予算			128,984			127,570			0			(
情報	3	執行額			127,564		二次公	公表時記載	k		0			C		
ŦX	4	執行率			98.9%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.85	/	0.32	0.94	/	0.32	0.94	/	0.32	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		7,600				8,320			8,320			C		
		タルコスト 〒額+概算人件費)	135,164			•		8,320			8,320	0				

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標		
(アウトカム)	協定による農地	也保全面積	ha	941	944	/	1010	862	/	1010	/	1010	1010		
実績/目標		0		0	0	/	0	/		0	/		0		
	指	指 標		標単位		H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	集落協定数		協定	67	67	/	67	64	/	67	/	67	67		
(アウトプット)		単位あたり	コスト	133.6		135.1									
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0		
		単位あたり	コスト	0.0	,	•	•								

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己評		See her a veril
項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		中山間地域の条件の不利な農用地を所有、管理する農業者の所得格差の是正や高齢化・農業離れによる荒廃農用地の増加を抑制するために必要な事業である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		六は春六は4条工建ポーセンとは、電路に売いてした。1944年377年
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		交付金交付対象面積が大きいため、要領に定められた現地確認を行うためにはある程度 の人と時間が必要になるが、地図情報システムの活用等により時間短縮、省力化に努めて いる。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		交付金の使途を限定していないことから、農地の共同管理のための共同機械の購入や有
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		書鳥獣対策の防護柵の設置など直接農業に関わる取組だけでなく、農業を利用した都市間 交流や特産物販売、イベント等の実施により地域農業の維持・活性化に寄与している。
有効性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 会和2年度上り第5期対策がスタート」たが	第4期分生	(H27~R1)と比較し協定数が3協定、協定面積が82ha減少している。
			(MZ/~KI)と比較し助足数から助足、励足面積が0ZHB機少しといる。 が深刻であり、守るべき農地を選定しながら地域全体を維持する方向へとシフトしている。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	ー 中山間地として農地の保全・管理維持をして 発生防止に努める。	いくために	は有害鳥獣対策が依然として課題となっているが、交付金を積極的に活用し耕作放棄地の
これまでの課題及び 今後の方向性	高齢化等による耕作放棄地の増加が懸念さ		今期の第5期対策より交付金返還措置の見直しや加算措置の新設等、農業者が安心して取改正を広く周知し、本事業を取りやめた集落協定の再取組を促すほか新たに事業に取り組む
	事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
V∥ 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VIII 予算反映線	 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了开从队和不	- 11 + 44 + 6+ 6 (6+ 6 + 45 5) = U + #

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 事業属性 | 19 農林水産業新型コロナウイルス対策緊急支援

(単位:千円)

事業担当	所属	25020000	産業政策部	農林業振	興課					所属長	₹ 西畑	日寿			
会計情報	事業コード	210509	款 06 農林	業費	項 01 農業	費	目 0:	3 農業振	興費	会計	01 一般	设会計 涉	中算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	旦い手の育	f成、経営0	D効率化等I	により	生産力を	高める						
計画期間	開始年度	令和2年	度 終了予定	全年度 令	和2年度	関連計画	名								
根拠法令等															
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補助	力事業	☑ 市単独	事業 🗆	内部	庶務的事	業口そ	の他	()
R3現在の状況	□ 継続中	☑廃」	上/休止 [□ 他事業	へ統合	□ 他事業	を統合	<u>}</u>							
関連事業															
事業基礎	情報														
事業目的 (あるべき姿)													美等新型コロラ により、早急		
対象者	市内農業者		木業センサス	データ)			対	象者数	3,	081	単位	立あたり=	コスト	1.2	
実施方法	☑ 直接実	施 🗆	業務委託	口 指定	官管理	□ 補助金	交付		その他	()
委託先・実施主体等															
事業概要 (箇条書き)		事業(農林水											≥業等新型コ! 担分について		
	支出に係	系る主な費目	支出実	績(R2)					主	な業務内	I容				
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公	表時記	載						
予算執行	 状況		-			-									
区 公		1/鞭痛前4	于 (性)		D2(電車を	五年 (年)			D2(7	k 任 度 \			D/(南5	9年度1	

	Σ	3 分	R1(評価前年度)	R2	2(評価年度)	F	3(本年度)	R4	(要求年度	E)
	1	当初予算							0			
予	2	補正予算				500			0			
算情	3	繰越予算							0			
報		前年度繰越							0			
		次年度繰越				0			0	亚伯	省 武性	נמ
,	小計(①~③)		0			500	0			7º 54 (3	編成時 次公表問	记入
予	1	一般財源				500			0			• •
第	2	国支出金				0			0			
財源	3	府支出金				0			0			
内	4	地方債				0		0				
訳	⑤	その他特財				0			0			
決	1	流充用額			二次公	表時記載			0			0
算	2	配当予算				500			0			0
情 報	3	執行額			二次公	表時記載			0			0
THX		執行率			二次公	表時記載						
人概	1	(正職員/嘱託職員)	/	0.46	/	0.00	0.46	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費				3,680			3,680			0
卜一 (予算	— 人	タルコスト 行額+概算人件費)	0			3,680			3,680			0

成學字籍	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
成果実績(アウトカム)	補助件数		件		/	13	/	13	/		
実績/目標					/		/		/		
	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
活動車績	補助対象者数		者		/	13	/	13	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり	コスト								
美積/計画					/		/		/		
		単位あたり	コスト								

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	マ 項			● 業 担 当 所 偶 内 による目 で 評価の観点	評価	評価の理由
② 要 性	-30				El limi	
日的日間の主席手段として適切で、						
● 最近の高い事業か	必	要	性		<i>⊵o</i> O	
カ 事 性 ・他の手段や方法とのコスト比較は						
### 1						新型コロナウイルス対策にかかる緊急支援であり、補助率等は妥当である。
# 施されているか	効	率	性	十分行われているか	0	
有 効 性 活動実術に見込みに沿いかつ 投入党銀に見合っているか				施されているか		<u> </u>
# 第の 性 投入資源に見合っているか				把握・測定されているか	Ξ	新空コロデノイル人対東にかかる楽志又抜で、 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /
# 十分行われたか 想定以上の申請があり、コロナ祠で生産、出荷が頭少している農業者の支援が行われた。 想定以上の申請があり、コロナ祠で生産、出荷が頭少している農業者の支援が行われた。 第 2 以上の申請があり、コロナ祠で生産、出荷が頭少している農業者の支援が行われた。 第 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3	有	効	性	投入資源に見合っているか		
#集業の目的及び 指標等の選択状況に 対する定性的評価 ※急支援であることから、国の制度設計にももれが多く、無業者が戸恵われる事が多かった。 今後も、災害に災害に対する対応は短期間での制度設計、執行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がスムーズに支援を受けられるよう努める。 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) *** ******************************						
指摘等の達成状況に 対する定性的評価 「最高支援であることから、国の制度設計にももれが多く、農業者が戸惑われる事が多かった。今後も、災害に災害に対する対応は短期間での制度設計、執行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がスムーズに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「マスティースに支援を受けられるよう努める。 「本業評価実施後に記載(対象事業のみ) 「アスティースを関係しています。」 「アンチェースを持ちます。」 「アンチェースを関係しています。」 「アンチェースを使用しています。」 「アンチェースを使用していまする。」 「				想定以上の申請があり、コロナ禍で生産	産、出荷が減少	している農業者の支援が行われた。
今後も、災害に災害に対する対応は短期間での制度設計、執行となるが、国、府事業については市が積極的に事業内容の確認等を行い、農業者がスムーズに支援を受けられるよう努める。 マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マ	指標等の	達成	状況に			
ボスムーズに支援を受けられるよう努める。 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針 担当課の 事なの見直し 及び 予算要求方針 ア算要求方針 VII 子算反映結果 予算反映結果 現状維持 原止/休止 予算流統 予算流統 予算流統 予算流統 予算流統 予算流統 日本						
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針 方針区分 評価を踏まえた見直し内容 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算編成に配入(3次公表時) VII 予算反映結果 現状維持 原止/休止						Kロ、秋川にみのか、画、川 宇木に 20・Cla 川が 頂屋がに 宇木が合い 唯恥 すと 110、 辰木石
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価) 事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針 方針区分 評価を踏まえた見直し内容 担当課の事業の見直し及び予算要求方針 予算編成に配入(3次公表時) VII 予算反映結果 現状維持 原止/休止	これまで	· の課	阻及び			
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針						
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針						
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ) VII 評価をふまえた次年度事業方針						
V 評価をふまえた次年度事業方針	<u>VI 2</u>	二次	評価(事業所属外による他部署部	平価)	
V 評価をふまえた次年度事業方針						
V 評価をふまえた次年度事業方針						
方針区分 評価を踏まえた見直し内容	手後 計	*価コ	メント		争業	(評価実施後に配載(対象事業のみ)
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針 予算編成に記入 (3次公表時) VIII 予算反映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減						
方針区分 評価を踏まえた見直し内容						
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針 ▽ 第 反 映 結 果 ▽ 第 反 映 結 果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減	VII à	评価	をふま	えた次年度事業方針		
事業の見直し 及び 予算要求方針 予算編成に記入 (3次公表時) VIII 予算反映結果 ● 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減				方針区分		評価を踏まえた見直し内容
P算要求方針 ・						
VIII 予算反映結果 → 第反映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減		及び				
予算反映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減	予算	要求力	7会十			(3次公表時)
予算反映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減	VIII -	予算	反映紀			
ア昇及吹和米					□予	算拡充 □ 予算縮減 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	予算	及映象	未	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 18 スマート 農林水産業実装チャレンジ事業 |

所属 25020000 産業政策部 農林業振興課

事業担当

(単位:千円)

所属長 西畑 信寿

会計情報	事業コード	210508	款 06 農林	大業費	項 01 農	業費	目 03 農業技	長興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の	育成、経営	の効率化等	により生産力	を高める				
計画期間	開始年度	令和元年	度 終了予	定年度	令和3年度	関連計画	名 -					
根拠法令等	福知山市	スマート農材	木水産業実	長チャレン	ジ事業補助	金交付要綱	、スマート農	木水産業実績	表チャレ	ンジ事業補助金	金交付要領(府)
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	□ 市単独	虫事業 口	内部庶務的	事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 原」	止/休止	□ 他事第	業へ統合	□ 他事業	を統合					
関連事業												
	青報											
事業目的 (あるべき姿)												
対象者	法人、集落	宮農組織、	、認定農業				対象者数		6	単位あたり	リコスト	213.3
実施方法	□ 直接実	施	業務委託	口指	定管理	☑ 補助金	交付 [その他	(•	•)
委託先•実施主体等	3戸以上の)農業者等	で組織する	団体、個別	経営体(認	定農業者等)等					
事業概要 (箇条書き)	・限られた労働力で効率的に作業性と品質・生産性を向上するための「スマート農業」機械・設備の導入に係る経費について助成を行い、農薬散布用ドローンなど5台の機械導入などに対し助成を行った。											
	支出に係	系る主な費目	支出:	実績(R2)				主	な業務区	内容		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表時間	己載				

|| 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 征	R1(評価前年度)		R2	(評価年度))	R	3(本年度)		R4	(要求年)	变)
	1	当初予算		0			10,590			20,140			
予	2	補正予算		15,324			2,042			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	Ad	. A= -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計(①~③)			15,324			12,632			20,140		「編成時 次公表	
₹	1	一般財源		0			0			8,100	,,,	<u> </u>	47
	2	国支出金					0	0					
算財源	-		15,324			12,632			12,040				
内	4	地方債		0			0			0			
泥	⑤	その他特財		0			0			0			
決	1	流充用額		22		二次公	表時記載			0			0
算	2	配当予算		15,346			12,632			0			0
情報	3	執行額		15,345		二次公	表時記載			0			0
ŦX		執行率		100.0%		二次公	表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.85 / 0	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	6,800				1,280			1,280			0
		マルコスト		22,145			1,280			1,280			0

一个人人们的													
成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	機械導入台数		台	-	6	/	6	5	/	5	/	5	_
実積/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	助成組織数		組織	-	5	/	5	5	/	5	/	5	_
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	-		3069.0							
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト										

項目	神来担当が満れたよう日山町	評価	評価の理由
~ -	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	#1 III	過疎高齢化が進行するなかで、担い手の確保・育成のためにはICT技術を活用した農業用
	事業か		機械等の導入に対する支援が必要である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		第1株様の利田北口は60歳の67世内空と加根している。光は上よ7日としているからで、地
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。労働力が限られているなかで、機械を導入することにより、作業の効率性と品質・生産性の向上につながるため。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	農業用機械等の導入支援を行うことで、担し 予定通りの団体に支援を実施することができ		・確保及び農地集積の促進を図ることができた。
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	農業用機械等の導入は担い手の大きな負担		######################################
	農業の後継者不足や高齢化が課題となるF め、今後も継続して支援を行う必要がある。	・、スマート	農業機械の導入を支援することにより、生産性の向上と担い手の経営改善が期待できるた
	補助対象者の採択は府が行うため市が予算 市独自の事業として、モデル地区を選定しA		してもその通り補助することができない。 ロスマート技術を活用した、農作物の集出荷にかかる実証実験を実施する予定。
これまでの課題及び 今後の方向性			The state of the s
	 (事業所属外による他部署評価	<u>;)</u>	
71 / 727 12			
事後評価コメント		事業	詳価実施後に記載(対象事業のみ)
 VII 評価をふま	<u> </u> えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			圣 首 短战厂和 1
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
 	と果		
,,,	□現状維持□廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性												
事業名	02 スマートシティ推進事業(農区)											
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学											
会計情報	事業コード 210502 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料	頁										
施策体系	施策コード 60103 施策名 スマートシティの実現	施策コード 60103 施策名 スマートシティの実現										
計画期間	開始年度 令和2年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名											
根拠法令等												
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗆 内部庶務的事業 🗆 その他 ()											
R3現在の状況	□ 継続中 □ 廃止/休止 ☑ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)											
事業基礎	情報											
事業目的 (あるべき姿)	本市では、Society5.0社会へ対応しスマートシティを実現することにより、住民福祉や利便性の向上を目指すとともに、withコロナ時代の新しい様式への転換を図るため、様々な行政サービスの効率化を進めている。 このような中、今後の行政サービスのデジタル化・オンライン化の急速な進展を見据え、本市行政の推進に恒常的に連携・協力いただいているをモデルとして、行政サービスデジタル化への課題等を整理・検討する事業を実施する。											
対象者	モデル農区 対象者数 7 単位あたりコスト 194.3											
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()										
委託先·実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	有害鳥獣対策に意欲的に取り組む地域からモデル農区を選定、農区長にタブレット端末を配布し、電子データにて本市からの情報提供を行た、会議等においてはWeb会議で参加いただくとともに、行政手続きにおいても可能な限りタブレットにより実施するなど、デジタル化・オンライのモデル運用を開始する。											

主な支出に係る 業務内容と経費

支出に係る主な費目 支出実績(R2)

二次公表時記載

主な業務内容

|| 予算執行状況

	Z	分	R1(評価前年度)	R2(評価:	年度)	R	(本年度)	R4	(要求年月	E)
	1	当初予算						0			
予	2	補正予算			967			0			
算情	3	繰越予算						0			
報		前年度繰越						0			
		次年度繰越			0			0	Ad	· AT -1 -1 -1 -	
,	小計(①~③)		0		967			0	₹¥ (3	編成時 次公表問	記人 ま)
予	1	一般財源						0	(0	<u> </u>	47
	2	国支出金			515			0			
算財源	③ 府支出金							0			
内	4	地方債						0			
訳	⑤	その他特財						0			
決	1	流充用額		_3	欠公表時記載			0			0
算	2	配当予算			967			0			0
惰報	3	執行額		_3	欠公表時記載			0			0
Ŧ		執行率		二	欠公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	/	0.17 /	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			1,360			1,360			0
		タルコスト f額+概算人件費)	0		1,360			1,360			0

成學字績	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	タブレット配布農区数		農区		/	7 /	/	
実績/目標					/	/	/	
	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動車績	説明会開催		回		/	6 /	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり	コスト					
英種/計 幽					/	/	/	
		単位あたり	コスト					

項目	事業担当所属内による自己部 評価の観点	評価	評価の理由
~ =	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	# · · · ·	世界的なICTの発達やスマートシティの概念が浸透してきつつある中、行政とのやり取りを
	事業か		効率的に進めるニーズは高いと考えている。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの	0	
	できない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり		会議などもリモートが推進されるコロナ禍の時代にあって、行政から効率化を図っている当事業はコスト的にも妥当だと考えている
	コストは妥当な水準か		争未はコヘト的にも女当たと考えている
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が		
	施されているか		タブレット端末に不慣れな農区長の方でも使用していただけるよう、丁寧な講習会を開いて
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		指導できている。
有効性	・活動実績は見込みに沿い、かつ	0	
19 <i>X</i>) II	投入資源に見合っているか 		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	タブレット端末の使用は今後の展開となる	が、積極的	な活用が見込まれると考えている
事業の目的及び			
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
7.7 0,2 12.731			
	│ │ 令和3年度以降はスマートシティ推進事業	(有害鳥獣	捕獲)と統合し、通信費や交代した農区長などに対する講習会を実施する。
これまでの課題及び 今後の方向性			
1/1 - 2-25 /5 /5 /5	· 古典公司》 / - L 7 / L 如 图 答 M	• •	
VI — 次評価([事業所属外による他部署評価 	1)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま '	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映系	结果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

| 事業属性 事業名 64 新集落営農総合対策事業 事業担当 所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿 事業コード 210464 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生産力を高める 施策体系 計画期間 開始年度 令和2年度 終了予定年度 令和2年度 関連計画名 根拠法令等 新集落営農総合対策対策事業実施要領 事業区分 □ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 R3現在の状況 □ 継続中 ☑ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 関連事業

事業基礎	青報												
事業目的 (あるべき姿)	農業従事者の高齢化による労働カ不足を補うため、農業機械の導入を行い、さらに、ソフト事業により広報等を展開することにより、地域特産物の 生産・加工や販売をス行うための支援をし、農家所得の向上を図る。												
対象者	農業法人、営農組織 対象者数 1 単位あたりコスト 2,720.0												
実施方法	□ 直接実施 □ 業系	務委託 □ 指定	定管理 🗸 補助金	交付 🗆	その他()						
委託先•実施主体等	集落営農組織等	落営農組織等											
事業概要 (箇条書き)	・生産・加工等に対する作物栽培に必要な農業機械導入に対する支援を行った(R2年度トラクター1台)。												
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容							
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載								

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1(評価前年度)	R2(評価年度	E)	R	3(本年度)	R4	(要求年月	隻)
	1	当初予算						0			
予	2	補正予算			3,350			0			
算情	3	繰越予算						0			
報		前年度繰越						0			
		次年度繰越			0			0	Add	· ^= -1 4	
,	小計	·(①~③)	0		3,350			0	予 男 (3	「編成時 次公表	记人 生)
予	1	一般財源			0			0	(0	火 口状。	3 7
	2	国支出金			0			0			
算財源	3	府支出金			3,350			0			
内	4	地方債			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			
決	1	流充用額		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,350			0			0
惰報	3	執行額		二次公	公表時記載			0			0
柳		執行率		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	/	0.34 /	0.00	0.34	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			2,720			2,720			0
		アルコスト f額+概算人件費)	0		2,720			2,720			0

Ⅳ 業績指標

成學字績	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム)	加工品栽培面	積	ha		/	0.6 /	/ -	
実績/目標	#N/A				/	/	/	
	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動車績	助成組織数		組織		/	1 /	/ -	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり	コスト					
天積/計 曲					/	/	/	
		単位あたり	コスト					

(単位:千円)

□ ▼ 一次評価(● 兼 担 当 所 偶 内による目 巳 評 評価の観点	神価	評価の理由
74 1		RT IIM	集落営農存続には、1次産業だけでなく、6次産業化を目指すことが重要であり支援が必要
	·市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は他事業と比較しても妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		集落中での担いモの強ル 洋州ルにつたがっている
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		集落内での担い手の強化、活性化につながっている。 導入機械の利用状況及び経営内容を把握している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	£1−11 d-3	到继 <i>操北公平元</i> 4.1.
	市場特権物の生産・加工や販売を入行うにはまた、加工品を作ることで、安定的な収益を		型機械が必要であり、支援することで集落営農組織の存続、強化に有効である。 期待できる。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
		きな負担と	なっていることから、今後も、支援していくことで、6次化を進める組織の生産性の向上、経営
	改善を促すことが出来る。		
これまでの課題及び 今後の方向性			
' VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		車業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
T- BOHT IM-OVER		T A	
			, and the second se
_ V∥ 評価をふま '	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び			予算編成に記入 (3次公表時)
予算要求方針			(0)(1)(1)(1)
L VIII 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予	算拡充 □ 予算縮減
了开从队和不	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 63 林業の担い手支援事業

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長 余田 学				
会計情報	事業コード 210463 款 06 農林業費 項 02 林業費	目 02 林業振興費	会計 01 一般会計 決算付属資料 頁				
施策体系	施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効	率化等により生産力を高める					
計画期間	開始年度 平成6年度 終了予定年度 令和3年度 関	連計画名 -					
根拠法令等	緑の担い手育成事業費補助金交付要綱、福知山市林業労	働者新共済事業補助金交付要綱					
事業区分 □ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (
R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合 関連事業							
							事業基礎
	森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合など)の作 対する経費、並びに作業員の退職金掛金の一部を助成する		め、新規就労者に対する助成及び、労働環境改善に				
対象者	林業労働者	対象者数 23	3 単位あたりコスト 34.8				
実施方法	□ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 ☑	補助金交付 口 その他	(
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・森林組合、林業事業体などに対して、新規就労者支援とし・森林組合、林業事業体などに対して、労働環境改善として・林業労働者の退職金助成として、国及び府の制度を活用	健康診断や振動病検診などに要					
	支出に係る主な費目 支出実績(R2)	主机	は業務内容				
主な支出に係る 業務内容と経費		二次公表時記載					

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	₹)	F	3(本年度	E)	R	(要求年)	支)	
	1	当初予算			2,855			2,612			2,398				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算	0			0					0				
情報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0	T- 61		8 0. 3	
,	小計	h(①~③)			2,855			2,612			2,398		「編成時 次公表		
予	1	一般財源			1,946			1,716			1,666	,	~~~	.47	
算	2	国支出金			0		0				0				
財源	3	府支出金			909	896					732				
内	4	地方債			0		0				0				
影	⑤	その他特財			0	0					0				
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			2,855			2,612			0			0	
惰報	3	執行額			2,116		二次位	公表時記載			0			0	
HX.	4	執行率			74.1%		二次位	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.11	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		880			·	800			800			0	
		マルコスト 可額+概算人件費)			2,996			800			800			0	

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	森林整備面積	(市全体)	ha	243/ 544	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	対象作業員数		人	25/ 41	21	/	39	23	/	41	/	30	41
(アウトプット)		単位あたり	コスト	85.2		100.7							
実績/計画	新規就労者		人	2 / 2	2	/	2	2	/	2	/	2	2
		単位あたり	コスト	1065.5		1057.9							

V	人計画	、争 耒 担 当 所 禹 内による目 巳 評価の観点	評価	評価の理由
- 74			HI IIM	本業の作業員確保は喫緊の課題であり、森林管理、森林整備の主要な事業体(森林組合
				など)の作業員を安定的に確保・雇用するために必要である。
必:	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	σ O	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助対象経費の根拠となる詳細な資料の提出を求め、コストを考慮し審査を行っている。
勃;	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		新規就労者に対する助成や労働環境改善に対する経費の助成等を行い、森林整備を推進
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	-	が成めが日に付するのが、ドガ関係が収音に付する性質ののができます。 している。
有:	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		令和2年度において、新規就労者が2名 ただし、令和2年度末において、退職者		る、林業事業体1名)となり、昨年度と比較すると作業員数は増加した。
指標等の	目的及び 達成状況に E性的評価			
	の課題及び)方向性	特に高齢化等によるベテラン層の退職も	見られるため	:上回る退職者がいる年度もある現状である。 、全体の技術力の減少も課題の1つである。 保に対する支援も検討を視野に入れ、事業体等の協議を進め、
	次評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	価コメント		事事	芒評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評	ア価をふま	えた次年度事業方針		
事業0 及	当課の D見直し なび E求方針	方針区分		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)
	算反映	結果		
予算反	灰蛤果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山	市令和	3年度	事務事	業評估	もシー	٢	(単位:千円)
事業名	62 農業者経営復興特別	支援資金等償還助					
事業担当	所属 25020000 産	業政策部 農林業振	興課		所属長	西畑 信寿	
会計情報	事業コード 210462 款	06 農林業費	項 01 農業費	目 03 農業振興費	会計 0	一般会計 決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 060102	施策名 担い手の育	「成、経営の効率化等	こより生産力を高る	める		
計画期間	開始年度 令和2年度	終了予定年度	和11年度 関連計画	名			
根拠法令等	農業者経営復興特別支		事業実施要領(府)、農	業者経営復興特別	支援資金等償還	助成金交付要綱(市)	
事業区分	□ 法定受託事務 🔽] 国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事業	□ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/	′休止 □ 他事業	へ統合 □ 他事業	を統合			
関連事業							
	- 青報						
事業目的 (あるべき姿)	H25年台風18号等により	依災した力か、宮晨	を断念することなく51	さ続さ継続すること	が目的である。		
対象者	京都府等から資金を借り	りた者		対象者数	8	単位あたりコスト	60.0
実施方法	□ 直接実施 □ 業	務委託 □ 指足	営管理 ☑ 補助金	交付 口 その	の他 ()
委託先•実施主体等	資金借入者						
事業概要 (箇条書き)	H25年台風18号等の被ジ	災時に京都府の復興	・継続支援資金を借り	入れた者へ償還則	か成を行う。		
	支出に係る主た費日	支出宝績(R2)			主か業務内容		

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

	Z	分	R1(評価前年度)	R2	(評価年度	E)	R	3(本年度)	R4	(要求年月	E)
	1	当初予算				320			1,920			
予	2	補正予算				0			0			
算情	3	繰越予算				0			0			
報		前年度繰越				0			0			
		次年度繰越				0			0	Ter Autr	45 -1 n± s	
,	小計	h(①~③)	0			320			1,920	プ 界 (3)	編成時 次公表問	記人 ま)
予	1	一般財源				0			0	(0)	<u> </u>	*/
算	2	国支出金				0			0			
算財源	3	府支出金				320			1,920			
内	4	地方債				0			0			
訳	⑤	その他特財				0			0			
決	1	流充用額			二次公	〉表時記載			0			C
算	2	配当予算				320			0			C
愶報	3	執行額			二次公	〉表時記載			0			C
HX.	_	執行率			二次公	〉表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	/	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費				480			480			0
		タルコスト 可額+概算人件費)	0			480			480			0

二次公表時記載

一个人人											
成果実績	指	標	単位	H30	R1		R2		R3		最終目標
	償還対象者の	営農継続	経営体		/	8	/	8	/	8	8
実績/目標					/		/		/		
	指	指 標		H30	R1		R2		R3		最終目標
活動室籍	助成実績		件		/	1	/	6	/	6	6
活動実績(アウトプット)		単位あたり:	コスト								
実績/計画					/		/		/		
		単位あたり:	コスト								

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、争 系 担 当 所 偶 内による目 □ 評 評価の観点	評価	評価の理由
7, 1		я г пщ	農業所得が低迷しているなかで、大規模自然災害に対して復興し食糧生産を継続するため
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		には必要である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		京都府等が被災農業者への貸付時に設定していた助成割合である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		京都府等が被災農業者への貸付時に約束していたことであり、営農の継続が助成の条件となっている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	被災後順調に復興し、営農を継続されてい	5.	
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	要綱に基づき、営農の継続を確認したうえて	えく 全ての信	員遠が終了するまで助成を継続する。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価	事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価コメント		事業	幹評価実施後に記載(対象事業のみ)
	<u> </u> えた次年度事業方針		
111 = 1 lbm 5 (3.48)	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
1 31 WWW.	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

争来名	61 農地沽用文振争	美								
事業担当	所属 2502000	産業政策部	農林業振興課				所属長	西畑 信寿	1	
会計情報	事業コード 21046	1 款 06 農林	業費 項 01	農業費	目 03 農業振	興費	会計 0	1 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 060101	施策名	生産基盤・施設の	整備により生産	力を高める					
計画期間	開始年度 平成30年	丰度 終了予定	全年度 令和2年	度関連計画	名					
根拠法令等	荒廃農地等利活用低	足進交付金実施	施要綱、遊休農地	也等流動化促進	事業実施要領					
事業区分	□ 法定受託事務	☑ 国府補助	助事業 口 市場	単独事業 🛛	内部庶務的事	業 口 その	D他 ()
R3現在の状況	□ 継続中 ☑ 序	止/休止 [□ 他事業へ統合	□ 他事業	を統合					
関連事業										
── 事業基礎性	青報									
事業目的 (あるべき姿)	食料の安定供給の研 等を支援する。	催保と農地の 多	る面的機能を発 揮	軍するため、農地	の確保と保全	を図ることを	を目的とし	た荒廃農地の	の発生防止や	再生利用の取組
対象者	農業者(農家台帳調	査戸数)			対象者数	6,6	88	単位あたり	リコスト	0.0
実施方法	□ 直接実施 □	業務委託	□ 指定管理	☑ 補助金	交付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	一定以上の荒廃(復 事業実施後、5年間			・要する) がみら	れる農地を、再	事生利用する	らための取	組に対し、7	0,000円∕10a	を補助する。
	支出に係る主な費	目 支出実	:績(R2)			主な	は業務内容	F		
主な支出に係る 業務内容と経費				=	次公表時記	載				

|| 予算執行状況

	区	分	R1(評価前:	年度)	R2	2(評価年度	E)	F	₹3(本年度)	R4	(要求年月	更)
	1	当初予算		1,400			700			0			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	TP Add	. 45 -1 n+ 4	1 0 3
,	小計	+(① ~ ③)		1,400			700			0		[編成時] 次公表	
予	1	一般財源		0			200			0	(0	<u> </u>	3 7
	2	国支出金		0			0			0			
算財源	3	府支出金		1,400			500			0			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	⑤	その他特財		0			0			0			
ж	1	流充用額		0		二次公	&表時記載			0			0
決算	2	配当予算		1,400			700			0			0
惰報	3	執行額		0		二次公	& 表時記載			0			0
ŦX		執行率		0.0%		二次公	&表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04 /	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	320				0			0			0
		アルコスト (320			0			0			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム)	荒廃農地(A分	類)面積	ha	0	0	/	30	0	/	0	/	-	30
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	荒廃農地再生	面積	а	0	0	/	300	0	/	0	/	-	300
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		0.0							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

	事業担当所属内による自己評		ST (T - 10) +
項目	評価の観点	評価	評価の理由 耕作放棄地が増加する中、これを再生する取組は必要である。
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		材下以来地が増加する中、これで丹エする収益は必安 このる。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		耕作放棄地を復旧するために自己負担を投入するより、営農できなくなった農地を引き受けて耕作を継続するほうが優先される。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	Δ	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		実績なし
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		天順なし
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	×	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	明点の活動	古坐した!! 地味みし頭気の赤玉パセッチュレス組合! アハチ 古楽字状をが古楽江田ととも
	市和元年度において国の補助事業から京都なかった。 また、令和2年度においても事業活用者がな		事業となり、補助金上限額の変更があったことで想定していた事業実施者が事業活用をされ
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	度より休止とし、新たな耕作放棄地対策に不		は、耕作放棄地を増加させない取組の強化にニーズが以降しているため、本事業は令和3年 実施の検討を行うとともに、農地活用や荒廃農地の再生利用に取り組む各地区の取組を支
	援する。		
これまでの課題及び 今後の方向性			
- 冷部体/	· 专业公区》1~1~14位图部加		
VI 一次評価([事業所属外による他部署評価 	<i>i)</i>	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
· VⅢ 予算反映》			
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

尹未爲性	
事業名	60 農地中間管理事業
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿
会計情報	事業コード 210460 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める
計画期間	開始年度 平成26年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名
根拠法令等	農地中間管理事業の推進に関する法律、福知山市農地中間管理事業交付金交付要領
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗎 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	

事業基礎	青報							
事業目的 (あるべき姿)	農地中間管理機構に対し 速する。	農地を貸し付けた	地域及び個人を支援	することにより、	農地中間管理機構を決	舌用した担い手への)農地集積・集約化を加	
対象者	農業者(2020農林業セン・	サスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	3.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指別	定管理 🗹 補助金	☆交付 □	その他()
委託先•実施主体等	農地を中間管理機構に貸	し付けた者・地域						
事業概要 (箇条書き)	農地中間管理機構に農地	を貸し付けた、地が	域及び個人へ助成を行	Ŧ ̄̄̄̄̄̄̄̄̄,				
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容			
主な支出に係る 業務内容と経費			<u>-</u>	二次公表時記	!載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	:)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			7,560			5,339			2,544			
予	2	補正予算			△ 3,965			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP /n	- AT -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計	+(① ~ ③)			3,595			5,339			2,544		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			2,226			0			0	,,	V 1 1 1 1	47
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			4,695			4,695			1,900			
内	4	地方債			0			0			0			
別	⑤	その他特財			639			644			644			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,595			5,339			0			0
惰報	3	執行額			2,919		二次公	公表時記載			0			0
ř		執行率			81.2%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.17	/	1.50	0.91	/	0.88	0.91	/	0.88	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		5,110				9,480			9,480			0
		マルコスト			8,029			9,480			9,480			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	機構への農地	集積面積	ha	67.4	26.4	/	100	10.2	/	100	/	100	100
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	地域集積協力	金	地域	8	3	/	5	3	/	5	/	5	5
(アウトプット)		単位あたり	コスト	213.5		972.9							
実績/計画	集積仕掛け人		人	2	0	/	3	1	/	3	/	3	3
		単位あたり	コスト	854.0		-							

- V	日	、事業担当所属内による目亡を 評価の観点	サイ四ノ 評価	評価の理由
74			HT IM	農業者の高齢化・耕作放棄地の拡大が進む中で、地域農業を支える担い手に農地を集積
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		し・集約し、効率的で安定した農業を行う必要性は高い
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		利用権設定に必要な書類の作成事務に関して、市と農地中間管理機構で役割分担をすることで事務の効率化を図っている
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		年間の集積面積は目標に対し低い実績となっているが、農地の所有者や農区に対し農地
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		平间の条頼曲傾は日標に対し低い条頼となっているが、展地の所有名や展込に対し展地 集積へのインセンティブとなる事業であり、毎年度の積み重ねにより集積面積は着実に増加 している
有:	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		農地中間管理機構による農地集積は進ん	でいるが、目	目標とする年間100haの農地集積には届いていない
指標等の	目的及び 達成状況に			
対する足	性的評価			
		・令和元年度に制度が改正され、地域集積 組みと連携しながら、更なる農地集積を進		4価が減少し、本事業を活用するメリットが薄れている。京力農場プランの実質化に向けた取り
		1007と足別のながら、文字の成とは来版とと	o, co (°	
	の課題及び			
学後0	力方向性			
l	- 次評価([事業所属外による他部署評価	五)	
			·	
事後評	価コメント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 割	ア価をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課の の見直し			
7.5	の元直し なび 要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
	算反映	·		
又省口	支映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
77异5	(吹箱米	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

所属 25020000 産業政策部 農林業振興課

事業担当

(単位:千円)

所属長 西畑 信寿

会計情報	事業コード	210453	款 06 農林	木業費	項 01 農	業費	目	03 農業振興	費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の	生産・加工・	·流通·販売	力を高	高め、1次産	品のブラ	ンド化・	6次産業化など	を推進する		
計画期間	開始年度	平成30年	度終了予	·定年度 ³	令和3年度	関連計画	名							
根拠法令等	福知山市	国際水準GA	P認証取得	支援補助	金交付要綱	j								
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑ 市単独	由事業 🗆	内部	邓庶務的事業	€ □ その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事業	業へ統合	□ 他事業	を統	合						
関連事業	産業支援	事業、販路関	引拓支援事	<u>業</u>										
事業基礎	青報													
事業目的 (あるべき姿)		」ことに取り約 うことを目指す		展望を切り	別開こうとする	る意欲ある鳥	農業者	皆を支援する	ることで、鳥	豊業で稼	ゖ゚るモデルを	作り、農業が魅	力的な就業先	; 0
対象者	農業者(20	020農林業も	2ンサスデ-	-タ)			対	象者数	3,0	81	単位あたり	りコスト	1.0	
実施方法	☑ 直接実	薬施 ☑	業務委託	口指	定管理	☑ 補助金	交付	<u> </u>	その他	()
委託先·実施主体等			.,								者、学校給食に	地場野菜を納ん	入した農業者	
事業概要 (箇条書き)		きのエエも。 準GAP認証)			個別相談認定品の	会の開催(配	あ品 <i>の</i> 援(10	欠審査会、1 Dブラッシュ D/13~15実	アップ支援		実施)			
	支出に信	系る主な費目	支出:	実績(R2)					主な	な業務内	内容			
主な支出に係る 業務内容と経費						_	'X7'	〉表時記 書	it					

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年)	变)
	1	当初予算			10,220			5,881			13,807			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	To hi		80 T
,	小計	h(①~③)			10,220			5,881			13,807		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			8,476			3,132			7,179	,,		
算	2	国支出金			1,744			2,749			6,628			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			△ 54		二次位	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			10,166			5,881			0			0
惰報	3	執行額			8,283		二次位	公表時記載			0			0
TIA		執行率			81.5%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.53	/	0.00	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		4,240				3,200			3,200			0
		マルコスト 可額+概算人件費)							3,200			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	農業所得が対前年度	比5%UPした認定者	人	3	0	/	11	集計中	/	17	/	17	17
実績/目標						/			/		/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	エエもん認定品	ī	品	4	7	/	3	6	/	6	/	6	6
(アウトプット)		単位あたり	コスト	835.0		1183.2							
実績/計画	GAP認証を取	得する農業者	経営体	1	1	/	2	0	/	2	/	3	3
		単位あたり	コスト	3339.9		8282.6							

V ->	次評価(事業担当所属内による自己評	価)									
項	目	評価の観点	評価	評価の理由								
必要	性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	0	農業で生計を立てるのが難しく、後継者が激減する中、経営の観点でやる気を持って稼げる 農業に取り組もうとする農業者に対して支援することで、農業で稼げるモデルを作り、農業を 就業先の一つとして考える若者が増えることを目指すものであり、優先度が高い事業であ る。								
勃 率	性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	0	審査員として関わった専門家から、認定品のブラッシュアップだけでなく、かかわりのある方面への認定品の紹介もあり、市の販路拡大の取組以上の成果を得ている。								
有 効	1 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	0	認定を受けた品について、前年度より問い合わせや引き合いが多くあり、有効な取り組みである。								
事業の目 指標等の達 対する定性	成状況に	□福知山のええもん発掘事業 ・令和2年度:応募件数19件。その中から6品目を認定した。 ・令和元年度:応募件数67件。その中から7品目を認定した。 ・平成30年度認定品に対する令和元年度の取組:認定した4品について、東京都の商談会に出品し販路拡大に取り組んだ。										
これまでの! 今後のブ		□ふくちやまのエエもん発掘事業 ・平成30年度から令和2年度までの3年間の実績を踏まえ、更なる認定品のPR戦略を立てる必要がある。 ・市内で販売促進につながる展示・販売スペースの確保や、スマホ等を利用したSNSによる情報発信が必要。 ・都市部での販路拡大を行うための商談会について、どの商談会を選定するのが有効かの情報収集が必要。 ・認定品に対する需要が格段に増える中、生産体制に限界があり、今以上の生産の増加が見込めなくなっている。 □GAP認証取得支援事業 ・GAP取得は直接商品の高価格化に直結するものではないことから、GAP認証について消費者の理解を広げる必要がある。										
VI = 2	次評価(事業所属外による他部署評価)									

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

VⅢ 予算反映結果

□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 予算拡充 □ 予算縮減 □ 予算反映結果 □ 予算を表示 □ 予算を表す □ 予算を表す □ 予算を表す □ 予算を表す □ 予算を表示 □ 予算を表示 □ 予算を表す □ 予算を表	
□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート - 事業属性

(単位:千円)

事業名	45 新規就農総合支援事業											
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿											
会計情報	事業コード 210445 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁											
施策体系	施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生産力を高める											
計画期間	開始年度 平成7年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名											
根拠法令等	農業人材強化総合支援事業実施要綱、京都府就農研修資金償還金助成事業実施要綱、担い手養成実践農場整備支援事業実施要領、福知山市農業次世代人材投資事業実施要											
事業区分	法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗀 内部庶務的事業 🗀 その他 ()											
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業												
事業基礎性	青 報											
事業目的 (あるべき姿)	過疎・高齢化で農業従事者が減少する中、農業後継者・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図る。あわせて、若者への就農意欲の喚起と 新規就農者の定着により、農業就業者数の増加及び農業就業者の若返りを図る。											
対象者	新規就農者等 対象者数 33 単位あたりコスト 152.7											
実施方法	□ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 ☑ 補助金交付 □ その他 ()											
委託先·実施主体等	新規就農者、新規就農者後見人											
事業概要 (箇条書き)												

主な支出に係る 業務内容と経費

二次公表時記載

主な業務内容

|| 予算執行状況

支出に係る主な費目 支出実績(R2)

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	E)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			27,610			19,820			22,966			
予	2	補正予算			△ 9,100			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			
	小計	·(①~③)			18,510			19,820			22,966		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	,,	X A X .	N 7
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			17,880			18,910			19,075			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			630			910			3,891			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			18,510			19,820			0			0
情報	3	執行額			18,510		二次	公表時記載			0			0
770		執行率			100.0%		二次	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.22	/	0.48	0.48	/	0.48	0.48	/	0.48	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		10,960				5,040			5,040			0
		アルコスト f額+概算人件費)			29,470	•		5,040			5,040			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	新規就農者の	営農継続者数	人	31	32	/	30	33	/	30	/	30	30
実績/目標	人材投資資金	新規受給者数	人	3	0	/	5	2	/	5	/	5	5
	指	標	単位	H30	R1			R2			R3		最終目標
活動実績	研修農場の設	置	箇所	1	1	/	3	3	/	3	/	3	3
(アウトプット)		単位あたり	スト	24532.0		18510.0							
実績/計画	研修資金償還	助成対象者数	人	2	0	/	0	1	/	0	/	-	_
		単位あたり	コスト	12266.0		18510.0	ı						

項		(手来担当川橋内による日し	評価	評価の理由
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		農業就業者人口の増加と農業就業者の若返りを図るために必要な事業である。
		事業か		
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		新規就農者・青年就農者を支援するために、就農者の生活支援として効率性の高い事業である。主に国・府の事業であり、他市と比較した際の負担の差はない。
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		************************************
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		新規就農者・青年就農者を支援することで、今後の本市の農業を担う者を増やし育てるため 有効な支援である。
有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		3事業とも、新規就農の促進と農業者の	定着に有効な	施策である。
車巻 の	つ目的及び			
指標等の)達成状況 定性的評	!IC		
737 0.	AC ITH JET			
				・新たな農業者・中核的担い手の確保・育成を図るため、本事業を継続する。
		また、移住定住施策担当課と連携し、新	兄 別辰有の領	1休・足宿を凶る。
これまで	の課題及	76		
	の方向性			
VI 3	二次評	価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	評価コメン		事事	美評価実施後に記載(対象事業のみ)
				, i
VII \$	評価を、	ぶまえた次年度事業方針		衛 使 ナワナミ ト 日 本 ト 小 応
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課の の見直し			
	及び 要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
1 37	*****			1771
\/III \	又省口	마수사 명		
VIII	了异尺	映結果 □ 現状維持 □ 廃止/休止		算拡充 □ 予算縮減
予算	反映結果	□ 売工/水正 □ デニ/水正 □ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		昇拡元 □ ア昇船級) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 7 7 7 1														
事業名	43 認定担	い手農家育	成助成署	業										
事業担当	所属													
会計情報	事業コード	一片 210443 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料												頁
施策体系	施策コード	度⊐一ド 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める												
計画期間	開始年度	平成16年	度終了	予定年度	令和3	3年度	関連計画	名						
根拠法令等	認定担い	手農家育成	助成金交	付要綱										
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府	補助事業	Ø	市単独	事業 🗆	内	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ終	充合	□ 他事業	を給	充合					
関連事業										•	•			
	青報								•			•		

Ⅱ 事業基礎1	育報						
事業目的 (あるべき姿)	担い手農家への農地集積	青を進めることで、経営	規模拡大と効率化る	を支援し、担い	↑手農家の経営の安定	を図る。	
対象者	認定農業者			対象者数	159	単位あたりコスト	4.7
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定管	理 口補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等	認定農業者						
事業概要 (箇条書き)	認定担い手農家の各年基		設定面積が、適去量	大 面積よりも	増加している場合にま	胃加面積に対して助	双する。
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	F	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	:載		

|| 予算執行状況

	区	分	R1(評価前	年度)	R2	2(評価年度	€)	R	3(本年度)	R4	(要求年)	变)		
	1	当初予算		2,400			2,110			2,110					
予	2	補正予算		0			0			0					
算情	3	繰越予算		0			0			0					
報		前年度繰越		0			0			0					
		次年度繰越		0			0			0	TP AND				
,	小計	h(①~③)					2,110			2,110		[編成時] 次公表			
予	1			2,400			2,110			2,110					
	2	② 国支出金		0			0			0					
算財源	3	府支出金		0			0			0					
内	4	地方債		0			0			0					
訳	⑤	その他特財		0		0				0					
ж	1	流充用額		458		二次公	&表時記載			0			0		
決算	2	配当予算		2,858			2,110			0			0		
惰報	3	執行額		2,858		二次公	& 表時記載			0			0		
TIX		執行率		100.0%		二次公	& 表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.06 /	0.20	0.03	/	0.20	0.03	/	0.20	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費	980				740			740			0		
	ト ータルコスト 予算執行額+概算人件費)			3,838			740			740			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	担い手農家農	地集積率	%	22.2	23.5	/	30	24.4	/	30	/	30	30
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	農地集積面積		ha	25.3	28.7	/	20	24.5	/	20	/	20	20
(アウトプット)		単位あたり	コスト	99.7		99.6							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	、争 来 担 当 所 偶 内による目 □ 計 評価の観点	評価	評価の理由
74		B.L. IIM	農地の荒廃化防止において地域における担い手農家への期待は大きく、農地を守っていく
	·市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		ために必要な事業である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		認定担い手に対し、利用権設定面積を拡大した場合に交付しているもので、10aあたり 10,000円としており、効率性のある妥当な支援である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		担い手農家の経営規模の拡大を支援することにより、さらに農地集積を加速化させ農地の
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		だいす。 一般では、 一をは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、 とをは、
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	過疎高齢化により農地保全に対する担い手 担い手農家の農地集積に対する支援により		明待は高く、耕作放棄地を増やさないためにも担い手への農地集積は重要である。 きの維持を図ることができる。
	より農地集積に効果的な支援とするため、	令和元年度	に制度改正を行い、交付対象を前年に6年以上の利用権設定した面積(解約や機関満了し
事業の目的及び	減少しにものが反映されない)から、担い手 	ことの総利	用権設定面積の年間における増加分を対象とした。
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	 担い手が高齢化している中、集落営農組織 本事業は、担い手の規模拡大を後押しする		F登録や育成、法人化の推進により、担い手を維持確保することが重要である。
	本事素は、担い子の放俣拡入を抜粋しする	争未として	惟夫に风木をエリている。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
 VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	5)	
		.,	
事後評価コメント		事第	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
' VII 評価をふま	 えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
七水細の			
担当課の 事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映系	序音		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 37 地場産農産物推進事業

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業	美政策部 農林業振	興課		所	属長西	畑 信寿		
会計情報	事業コード 210337 款	06 農林業費	項 01 農業費	目 03 農業振	興費 会計	計 01 -	-般会計 決算	付属資料	頁
施策体系	施策コード 060105 施	策名 地産地消を	推進する						
計画期間	開始年度 平成14年度	終了予定年度 令	和3年度 関連計画	名 福知山市	也産地消推進計	画			
根拠法令等	学校給食地場野菜導入支	援事業実施要領、	学校給食導入野菜出	荷資金造成事	業実施要領				
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/体	木止 □ 他事業·	へ統合 □ 他事業	を統合					
関連事業									
── 事業基礎』	 青報								
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	地場産農産物(福知山産)	農産物)の生産と需	要の拡大を図るため	、地産地消(福	知山産農産物を	福知山市	方内で消費する	う)を推進する	0
事業目的									
(あるべき姿)									
対象者	農業者数(2020農林業セン	ンサスデータ)		対象者数	3,081	単	単位あたりコス	-	0.7
				÷4 D	その他()
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	『管理 ☑ 補助金	经付 🗹	その他(,
実施方法 委託先·実施主体等	□ 直接実施 □ 業系 地場野菜生産出荷組合連			· 文刊 ☑	ての他 (,
	地場野菜生産出荷組合連 ・地場野菜の学校給食セン	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対	、京都府学校給食会 する支援						,
	地場野菜生産出荷組合連	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援						,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連・地場野菜の学校給食セン・学校給食の米飯に福知	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援						,
委託先·実施主体等	地場野菜生産出荷組合連・地場野菜の学校給食セン・学校給食の米飯に福知	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援						,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連・地場野菜の学校給食セン・学校給食の米飯に福知	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援						,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連・地場野菜の学校給食セン・学校給食の米飯に福知	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援						,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連・地場野菜の学校給食セン・学校給食の米飯に福知	連絡協議会、農業者 ンターへの導入に対 山産コシヒカリを使り	、京都府学校給食会 する支援			務内容			,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連 ・地場野菜の学校給食セ ・学校給食の米飯に福知 ・福知山市地産地消推進	極格協議会、農業者となる、農業者となっへの導入に交出をついたりを使い協議会の開催	、京都府学校給食会 する支援		1	務内容			,
委託先·実施主体等 事業概要	地場野菜生産出荷組合連 ・地場野菜の学校給食セ ・学校給食の米飯に福知 ・福知山市地産地消推進	極格協議会、農業者となる、農業者となっへの導入に交出をついたりを使い協議会の開催	、京都府学校給食会		1	務内容			

|| 予算執行状況

	Σ	3 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	更)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年月	隻)
	1	当初予算			1,802			4,734			5,364			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	₩ 46	· 4百 - 計 n 土 (P7 7
	小言	†(1)~ 3)			1,802			編成時 次公表						
予	1	一般財源			0			4,734			5,364	,,,	~~~~·	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			1,802			0			0			
決	1	流充用額			0		二次位	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			1,802			4,734			0			0
惰報	3	執行額			1,138		二次位	公表時記載			0			0
+114	4	執行率			63.2%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/模託職員)	0.07	/	0.29	0.18	/	0.29	0.18	/	0.29	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,285				2,165			2,165			0
		概算人件費 1,285 アルコスト F額・概算人件費) 2								0				

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	学校給食への均	也場野菜納入率	%	13	17	/	23	14	/	23	/	23	23
実績/目標	学校給食への福	知山産米納入率	%	100	100	/	100	100	/	0	/	100	100
	指標		単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	学校給食センター地場	産野菜導入支援品目	件	20	21	/	37	20	/	37	/	37	37
(アウトプット)		単位あたり	コスト	242.4		32.5							
美積/計画	実績/計画			0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0		•							

項			事業担当所属内による目で 評価の観点	コシャ アルロン 評価	評価の理由
- 74					地場産農作物の生産と需要の拡大を図るため、地産地消を推進することは農業者への支
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		援のみならず、食育等教育の観点からも必要である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	٥ مع	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		学校給食への地場産米導入支援に関しては、ブレンド米と福知山産米の価格差を負担しており、基準は明確である。 地場野菜導入支援に関しては、納入価格の1/2を補助金として交付しておりその他の補
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	助事業と比較して妥当な水準である。
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	1-	農産物生産者が農産物の納入先として学校給食を選択することを促す効果があり、地場産
			・成果目標は理にかない、実績は適切把握・測定されているか		展物の導入の促進に有効な事業である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	. 0	
			├・先行事例の分析や外部資源の活用に │ 十分行われたか	٨.	
					- を図るため地産地消(福知山市産農産物を福知山市内で消費する)を推進するため、主とし需要拡大の両面から地場産農産物振興を支援している
事業の 指標等の					
対する					
			また、学校給食会計の公会計化に備え	え、求められてい	世の消を推進するには今後の方向性について再検討が必要である。 る地場産野菜等の窓口の統一について関係機関との早急な協議が必要である。 しているが、納入品目は減少しており、その要因等の分析が必要である。
これまで	の課	顧及パ	于权相及《切地物封朱切柳八平(主里	上、一人川は垣川	しているか、何人の自は減少しており、その女凶寺の力利が必要である。
	の方向				
\\	二次	評価(事業所属外による他部署言	評価)	
市体系	5 / =	45.L		市 #	・ 頭圧中体後に記載/サ色官巻のか)
事後許	竹四一	メント		争未	評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII	评価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	及び				予算編成に記入 (3次公表時)
7.4	要求ス) ((65(21))
	予質	反映網			
			□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予	算拡充 □ 予算縮減
予算	反映網	后果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産	業政策部 農林業振			所属县	長 西畑 信寿	
会計情報	事業コード 210255 景	06 農林業費	項 01 農業費	目 03 農業振	興費 会計	01 一般会計 決算	付属資料
施策体系	施策コード 060104	施策名 農産物の生	E産・加工・流通・販売:	力を高め、1次	産品のブランド化・6	次産業化などを推進	生する
計画期間	開始年度 平成22年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	名			
根拠法令等	京都府経営所得安定対	策等推進事業実施要	項、福知山市経営所得	导安定対策等推	推事業実施要項、	福知山市地域農業再	生協議会補助金交付要綱
事業区分	□ 法定受託事務 🔽	」国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止	休止 □ 他事業	へ統合 □ 他事業	を統合			
関連事業	農業振興推進事業、農	<u>業生産組織等指導強</u>	化事業				
 事業基礎	 青報						
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	国の経営所得安定対策	事業を有効活用する	ことにより、本市の農	業の振興を図る	5.		
事業目的 (あるべき姿)							
対象者	農家数(水稲共済加入町	3込書兼営農計画書	:)	対象者数	6,350	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☑ 直接実施 □ 業	務委託 □ 指定	定管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他 ()
委託先•実施主体等	福知山市地域農業再生						
事業概要 (箇条書き)	・福知山市地域農業再生・水田を活用して、対象・						
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

Ⅲ 予算執行状況

	2	5 分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	E)	R4	(要求年月	麦)
	1	当初予算			9,413			9,414			9,414			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	To Add		
,	小計	†(①~ ③)			9,413			9,414			9,414	才 男 (3	「編成時 次公表	記人 非)
予	1	一般財源			0			0			0	,,,		• /
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			9,413			9,414			9,414			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			9,413			9,414			0			0
惰報	3	執行額			9,319		二次公	公表時記載			0			0
TIA	4	執行率			99.0%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.77	/	0.16	1.02	/	0.16	1.02	/	0.16	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		6,560				8,560			8,560			0
		タルコスト 〒額+概算人件費)			15,879			8,560			8,560			0

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	不作付け水田	の面積	ha	702	754	/	650	796	/	650	/	650	650
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	経営所得安定	対策加入者数	人	798	608	/	1200	470	/	1200	/	1200	1200
(アウトプット)		単位あたり	コスト	11.1		15.3							
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト										

为郊伍(東娄切业所层内に L7 台口郊伍)

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己記		
項目	評価の観点	評価	評価の理由
» = u	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの		国の施策である経営所得安定対策事業を本市において運営するために必要な事業である。
必要性	できない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		地域農業再生協議会に補助金を支出し、書類作成等の事務に関して効率的に行っている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		高齢化や離農により農業者が減少傾向にある中で、需要に応じた生産・販売に向けて積極的に取り組むために、土地利用型農業の経営安定が期待できる。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	農業有数が減少しており、不作付け水田の 振興につながっている。) 増加傾向に	に歯止めがかかっていないが、転作作物の所得確保に一定の役割を果たしており本市の農業
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
これまでの課題及び 今後の方向性	(課題) ・年々、高齢化や離農によって申請者が、 ・不作付地の面積がかなりのペースで増加 (方向性) ・不作付地の増加を抑えるために、戦略する。	1している。	ある。 料作物・加工用米など)などの、より効率的に面積確保しやすい作物への上乗せ助成を検討
	事業所属外による他部署評価	赿)	
***************************************		***	*题原由收收1~到赖/从各有费。1.\
事後評価コメント		李矛	性評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映線	·		
圣管 巨助 社田	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 7 7 7 1													
事業名	53 畜産経	営安定化支	援事業										
事業担当	所属	25020000	産業政策部	『 農林第	Ě振興課					所属:	条田 学		
会計情報	事業コード	210253	款 06 農林	林業費	項 01	農業	費	目	04 畜産業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の	の育成、経	営の	効率化等(こよ	り生産力を高める				
計画期間	開始年度	平成18年	度 終了予	定年度	令和3年	度	関連計画	名					
根拠法令等	家畜人工	受精事業補	助金交付要	領、家畜	6伝染病予	防推	推事業交	付身	要領、優良牝牛導入促:	進事業	補助金交付要	頏	
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	助事業	☑市᠑	単独	事業 🗆	内部	部庶務的事業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ統合		□ 他事業	を約	t 合				
関連事業													
	青報												
	畜産農家(の経営安定	を目指すた	め、人工	授精、伝统	染病	予防、優良	牝4	‡導入に係る経費の一	部を助	成する。		
古井口が													- 1

尹耒を従り	月刊								
事業目的 (あるべき姿)	畜産農家の経営安定を目	指すため、人工授	精、伝染病予	防、優良牝 4	-導入に係	る経費の一部を助用	艾する 。		
対象者	農業協同組合			7	象者数	2	単位あたりコスト	810.0	
実施方法	□ 直接実施 □ 業系	務委託 □ 指第	定管理 🗸	補助金交付	t 🗆	その他()
委託先·実施主体等	京都農業協同組合、京都	丹の国農業協同約	1合						
事業概要 (箇条書き)	・家畜人工授精助成事業 畜産農家の家畜改良、ま ・家畜伝機会病予防推進事 家畜の健全な育成を図 ・優良牝牛導入促進事業 認定優良牝牛の導入を・	増頭の意欲の向上 業 るため、家畜伝染郷	病の予防を推済	進し畜産振興		安定を図る			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)				主な業務内	容		
主な支出に係る 業務内容と経費				二次	公表時記	· !載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			1,098			1,068			1,130			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			8 0. 3
,	小計	h(①~③)			1,098			1,068			1,130		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			1,098			1,068			1,130	,,,	<i></i>	.47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
影	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			1,098			1,068			0			0
情 報	3	執行額			1,029		二次位	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			93.7%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.22	/	0.00	0.14	/	0.20	0.14	/	0.20	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,760				1,620			1,620			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			2,789		1,620					0		

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	牛の頭数		頭	335/400	341	/	400	335	/	400	/	400	400
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍	実施頭数(人工授	精+伝染病予防)	頭	595	425	/	400	452	/	400	/	400	400
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	1.8		2.4							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

「項		<u> </u>	事業担当所属内による目じ 評価の観点	1911四/	評価の理由
- 7		_	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		肉牛の生産基盤を保持するため、畜産農家の経営改善につながる本事業は、社会のニー
			事業か		ズを的確に捉えた必要性の高い事業である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	٥ ا	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		家畜伝染病が市内で発生した場合、畜産農家の経営状況は著しく悪化すると考えられるため、防疫を行うことが最小限のコストとして効率的である。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		ウェール 「ウェール ロフェールで、ウェールを表現している。 「マール ロフェールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールでは、アールルでは、アールルでは、アールルでは、アールルでは、アールルでは、アールルでは、アールルルでは、アールルルでは、アールルルでは、アールルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルルル
			・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	15	家畜改良により畜産農家の経営安定化を図ることで、家畜の増頭意欲向上につながるため有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用に 十分行われたか		
				人工技有"伝采》	内で的・愛良化牛導入について、苗座辰系の絵呂女正を日指9 ための文法を行うことができ
事業の 指標等の					
対する	定性的	內評価			
			畜産農家の経営安定のため引き続き3 	支援が必要である	5.
これまで	の課	題及び			
今後	の方「	句性			
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署語	严価)	
					·萨尔·卡伦 阿莱 / 从各市业 6 4 1
事後評	半個コ	メント		争果	評価実施後に記載(対象事業のみ)
'' VII है	评価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
±A	当課(n			
事業	の見				予算編成に記入
	及び 要求	方針			(3次公表時)
VIII	予算	反映網			
予算			□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減
7男	火吹	na.	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事术商压													
事業名	39 茶業振	興対策事業											
事業担当	所属	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 西畑 信寿											
会計情報	事業コード	コード 210239 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁											
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物の	の生産・加	エ・流通・販	売力を	高め、1次産品のブラ	ンド化・6	次産業化など	を推進する		
計画期間	開始年度	昭和55年	度 終了予	定年度	令和3年	度 関連語	画名						
根拠法令等	茶業振興	対策事業実	施要領(市	•府)									
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	☑市□	単独事業	口内	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合											
関連事業													
11 45 46 47 44 1	± 417											-	

事業基礎	青報						
事業目的 (あるべき姿)	被覆棚等の茶生産設備の)整備により優良な	7質で高品質な茶生産	を行うことにより	J茶業経営の安定をB	り、本市の茶業振り	乗を図る。
対象者	市内茶生産農家			対象者数	12	単位あたりコスト	93.3
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指別	定管理 🗹 補助金	∵交付 □	その他 ()
委託先•実施主体等	市内茶生産農家						
事業概要 (箇条書き)	- 製茶品質及び茶生産力の	の向上と効率的経	営を推進し、本市の茶	業振興を図るこ	ことを目的に、施設整	備に対し助成を実施	Lt.
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	3	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R2	2(評価年度	E)	F	3(本年度	!)	R	4(要求年)	变)
	1	当初予算			1,044			1,769			2,118			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TP /n		
,	小計	h(1)~(3)			1,044			1,769			2,118		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			744			809			1,158	,,	V 1 11.	N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			300			960			960			
内	4	地方債			0			0			0			
別	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	〉表時記載			0			0
算	2	配当予算			1,044			1,769			0			0
惰報	3	執行額			582		二次化	〉表時記載			0			0
¥		執行率			55.7%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,040				1,120			1,120			0
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			1,622			1,120			1,120			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	荒茶生産金額		千円	63000	49852	/	68000	45893	/	68000	/	68000	68000
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	茶業振興対策	事業	事業	1	0	/	1	1	/	1	/	1	1
(アウトプット)		単位あたり	コスト	322.0		_							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

□ □ 八評価(、事業担当所属内による自己評 評価の観点	がかり	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		製茶品質及び茶生産力の向上と効率的経営を推進し、本市の茶業振興を図るために必要
	事業か		である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		被覆棚等の整備により優良均質で高品質な茶生産を行うことにより、取引単価の上昇につ
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		ながっている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	茶の品質及び生産力の向上につながる事業	に である。	
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	 茶農家の高齢化等により荒茶の生産量が洞	ば少傾向に	あるが、品質向上による農家の所得確保や新規就農者の確保に努める。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
VI 二次評価([事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	菅評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
テネの元直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
I A SANJEI			
VⅢ 予算反映系			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

1 爭未偽性													
事業名	35 畜産関	連事業											
事業担当	所属												
会計情報	事業コード	コード 210235 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 04 畜産業費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁											
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手	の育成、経営の	の効率化等に	こよ	り生産力を高める					
計画期間	開始年度	平成18年	度 終了予	定年度	令和3年度	関連計画名	2						
根拠法令等	家畜伝染	病予防法											
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	□ 市単独	事業 口 [内部	『庶務的事業 □ その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	止/休止	□ 他事	事業へ統合	□ 他事業	を紛	合					
関連事業													
	青報	•	•		•	•			·	•		•	

(単位:千円)

∥ 事業基礎∥	青 報						
事業目的 (あるべき姿)	家畜伝染病等の発生を防	うぐため、畜産農家の	の訪問指導等により徫	生対策の徹底	きを図る。		
対象者	畜産農家			対象者数	23	単位あたりコスト	70.4
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	务委託 □ 指定	≧管理 □ 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	鳥インフルエンザ対策とそのほか、畜産動物の息						
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	\$	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	三載		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年)	度)	R	2(評価年度	E)	R	3(本年度)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			133			133			131			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	To hi		80 T
,	小計	·(①~③)			133			133			131	ア 男 (3	「編成時 次公表II	記人 詩)
予	1	一般財源			78			83			88	,,,	<u> </u>	N /
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			55			50			43			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次红	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			133			133			0			0
惰報	3	執行額			44		二次化	公表時記載			0			0
ŦIX		執行率			32.8%		二次红	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.22	/	0.00	0.14	/	0.20	0.14	/	0.20	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,760				1,620			1,620			0
		スルコスト f額+概算人件費)			1,804			1,620			1,620			0

成學字籍	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
	伝染病等の発	生件数	件	0/0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	巡回指導等の	回数		25/30	36	/	30	32	/	30	/	30	0
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト	8.6									
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

「項			事 条 担 当 所 偶 内による目 巳 評 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		本市は養鶏農家が32件あり、鳥インフルエンザ対策を実施していくことは必要である。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		鳥インフルエンザが市内で発生した場合、家きん農家の経営状況は著しく悪化すると考えられるため、防疫を行うことが最小限のコストとして効率的である。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		家きん農家の訪問を中丹家畜保健衛生所の職員と実施することで、有効な防疫を図ることができる。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			家畜伝染病の感染防止を図ることで、畜産技	長興に大き	く寄与している
事業の 指標等の 対する!)達成	状況に			
			引続き、家畜伝染病の感染防止を図っている	〈必要があ	ā .
これまで 今後	・の課 の方I				
VI	二次	評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評	平価コ	メント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
_ VII ∄	评価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
事業	当課(の見) 及び 要求に	直し			予算編成に記入 (3次公表時)
VIII -	予算	反映約			
予算	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 28「スイーツのまち福知山」事業

所属 25020000 産業政策部 農林業振興課

事業担当

(単位:千円)

所属長 余田 学

会計情報	事業コード 21022	28 款 06 農林業費	項 02 林業費	目 02 林業振	興費 会計 0	1 一般会計 決算付	属資料	頁
施策体系	施策コード 060104	施策名農産物の	生産・加工・流通・販売:	力を高め、1次	産品のブランド化・6%	欠産業化などを推進す	する	
計画期間	開始年度 平成30	年度 終了予定年度 4	6和3年度 関連計画	名				
根拠法令等	スイーツフェスティバ	バル事業補助金交付要網	関、福知山市スイーツの	森づくり支援事	¥ 業補助金交付要綱			
事業区分	□ 法定受託事務	□ 国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他 (Ž.)
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 月	廃止/休止 □ 他事業	な統合 □ 他事業	を統合				
関連事業								
 事業基礎性	青報							· ·
事業目的 (あるべき姿)	①丹波くりの生産振	長興とブランド化支援 JPRによる観光誘客の増	加を図る					
対象者	総農家数(2020農村	木業センサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	□ 直接実施 [□ 業務委託 □ 指	定管理 🗸 補助金	交付 🗆	その他()
委託先•実施主体等								
事業概要 (箇条書き)	◆スイーツフェスティ ≪経過≫・平成25年 ・平成18年 「丹波くし ・もともと作	こかかる補助金の交付イバル開催 F度から、本市を「スイー F度から、「丹波くり」に対 り」の生産量は、5年間で 対加価値の高い「丹波くり せてPRすることで、「	スイーツフェスティバルツのまち」としてPRし観 し『特用林産物』の一つ 1/3に減少した。 リ」を、「スイーツ」と結び	ン実行委員会へ 光誘客を図るが ひとして、苗の駅	への補助金交付ため「スイーツフェスラ まみ補助や苗の配布! り」を使ったオリジナノ	等の支援を、京都府 レスイーツを開発し、	と共に行なってきた 「スイーツのまち」	が、
	支出に係る主な費	費目 支出実績(R2)			主な業務内容	容		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載			

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)					R4	(要求年月	支)		
	1	当初予算			6,038			6,538			6,129			
予	2	補正予算			△ 1,800			△ 3,460			0			
算情報	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	T 46		
,	小計	+(① ~ ③)			4,238			3,078			6,129	₹3. (3	「編成時 次公表	記人 ま)
予	1	一般財源			0			0			629	,,,	<i>></i>	47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			2,200			4,500		(
内	4	地方債			0			0			0			
點	⑤	その他特財			2,038			2,038			5,500			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			4,238			3,078			0			0
惰報	3	執行額			3,713		二次公	公表時記載			0			0
HX.		執行率	87.6			6% 二次公表時記載			ķ ,					
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.31 / 0.00			0.25 / 0.00			0.25	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,480				2,000			2,000			0
		アルコスト (6,193			2,000	2,000 2,0					0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	栗の生産量		t	0	24.8	/	42.6	集計中	/	47	/	47	47
実績/目標	観光入客数		千人	927	1116	/	1000	890	/	1050	/	500	1050
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	栗の新植面積		ha	1	3.5	/	4	4.9	/	4.5	/	4.5	4.5
(アウトプット)		単位あたりコ		973.1		1060.8							
実績/計画	スイーツフェステ	ィバル参加者数	人	6000	0	/	0	0	/	7500	/	7500	7500
		単位あたり	コスト	0.4									

	事業担当所属内による自己		\$5 / T A 10 +
項目	評価の観点	評価	評価の理由 京ブランドとして府も推奨する「丹波くり」は、既に付加価値がある農産物であるため、市の
	・市民や社会の二一ズを的確に捉えた 事業か		ボフランドをLC に前も推奨する「元成くり」は、以に下が加価値がある長度初であるため、同の ブランド産品として売り出せるよう生産量を増やしていくために必要である
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	<i>σ</i> Ο	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		生産量を一気に増やすため、大きく栽培面積を増やそうとする意欲的な農業者に対し、より高い補助率により補助することで、規模拡大を図ることができる
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		JAを通さず自家出荷される農家が増えている中、正確な生産量を掴みにくくなっている
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	・栗の生産者への新植、改植補助を実施 ・くりまつりにおいて、栗生産者と販売者 ・栗栽培における知識及び実績のあるた	とをつなげ、栗	
事業の目的及び			認定し、誤師でことが通じ来の利成私店者の名加さ図る。 型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。
指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	・栽培地域により栗の栽培技術、万法等 	の違いがある	ため、統一した指導が可能か検討が必要。
これまでの課題及び 今後の方向性			
_ VI 二次評価(事業所属外による他部署評	価)	
		- 4 - 45	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
100 See No. 2 3 3	المال مشر مد در ا		
V∥ 評価をふま 	えた次年度事業方針		都住とひよこと 日本 しょや
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映紀	———————————————————— 告果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

1 7 7 7 1												
事業名	22 京の水	田農業確立	支援事業									
事業担当	所属	25020000	産業政策	部 農林美	業振興課				所属:	長 西畑 信寿	Ŧ	
会計情報	事業コード	210222	款 06 農	林業費	項 01 農	業費	目	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060102	施策名	担い手の	の育成、経営の	の効率化等に	こよ	り生産力を高める				
計画期間	開始年度	平成18年	度 終了	定年度	令和3年度	関連計画名	呂					
根拠法令等	京の水田	農業総合対	策事業費	輔助金交	付要綱							
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府ネ	助事業	□ 市単独	は事業 □ □	内部	『庶務的事業 □ その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ統合	□ 他事業	を紛	i合	•	•		
関連事業			•	•		•		•	•			

事業基礎	青報						
	中山間地の多い本市にお 行い、特産物の振興と農!			、黒大豆、特別	別栽培米、酒米等を生	産するための農業	機械導入に対する支援を
対象者	農業者数(2020農林業セン	ンサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.5
実施方法	□ 直接実施 □ 業系	務委託 □ 指別	定管理 ☑ 補助金	交付 口	その他()
委託先·実施主体等	集落営農組織等						
事業概要 (箇条書き)	·小豆、黒大豆、特別栽培 (6台)。	米(低肥料、低農	薬)、酒米等の生産拡	大をはかるため	o、これらの作物生産に	ニ必要な農業機械導	‡人に対する支援を行った
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	-	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	·····································		

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年)	变)
	1	当初予算			11,630			7,495			22,080			
予	2	補正予算			△ 5,775			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TT AN	- ATT B. p 1	
,	小計	†(① ~ ③)			5,855			7,495			22,080		編成時 次公表	
予	1	一般財源			0			0			0	(0	<u> </u>	7
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			5,855			7,495			22,080			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			5,855			7,495			0			0
惰報	3	執行額			5,855		二次公	公表時記載			0			0
ĦX.	-	執行率			100.0%		二次公	公表時記載	載					
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.23	/	0.00	0.19	/	0.00	0.19	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		1,840				1,520	1,520					0
		マルコスト 「額+概算人件費)			7,695			1,520	1,520				0	

Ⅳ 業績指標

成果実績		指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)		小豆栽培面積		ha	96	95	/	100	95	/	100	/	100	100
実績/目標	ŀ						/			/		/		
			指標		H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績		助成組織数		組織	4	3	/	6	6	/	6	/	6	6
(アウトプット	.)		単位あたり	コスト	2226.8		1951.7							
実績/計画	1						/			/		/		
			単位あたり	コスト		,	•							

(単位:千円)

項		<u>/m/ (</u>	事業担当所属内による日 評価の観点	評価	評価の理由
- 7			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		集落営農組織の存続、強化のためには、農業用機械の導入に対する支援が必要である。
			事業か		
必	要 性		・民間事業者や市民が自ら実施する。 できない事業か	O	
			・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か	•	
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である
効	率 性		・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	X	
			・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	かに	導入機械の利用状況や組織の経営内容を把握している。機械を導入することにより、作業の効率化及び品質の向上を図ることができる。
有	効 性		・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	は	
					械が必須であり、これを支援することは集落営農組織の育成強化に有効である。 されなくなっている水田が増える中、水田の有効活用及び保全を図ることができる。
事業の指標等の	目的及()達成状?				
	定性的評				
			dth alle late late a grade as a constant of the contract of th	5 5 5 5	
					。。高性能機械の導入を支援することにより、生産性の向上と組織の経営改善が期待できる。 るため、京都府の直接執行等事務のあり方について京都府と協議を進める。
	の課題を				
今後(の方向性	•			
VI	二次評	価(事業所属外による他部署	評価)	
事後評	価コメン	۲-		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
\/II &	whet.	· +	2.七次午 庄 声 坐 士 弘		
VII 🕏	十個で、	いよ	えた次年度事業方針 方針区分		評価を踏まえた見直し内容
J	W 488 -				
事業	当課の の見直し	,			交管によい 1
	及び 要求方針				予算編成に記入 (3次公表時)
VIII 3	予算反	映約	 吉果		
	反映結果		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r , , , ,	以 似和宋	•	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 18 農産物価格安定対策事業

(単位:千円)

學来担当	所属 2	5020000 座	美姒東部	農杯業振	料料					所 属長	₹ 四畑 1≣	寿	
会計情報	事業コード	210218 非	次 06 農林	業費	項 01 農業	業費	目 03	農業振	興費	会計	01 一般会記	十 決算付加	属資料 頁
施策体系	施策コード 06	60104	施策名	農産物の生	生産・加工・	流通・販売:	力を高め)、1次	産品のブラ:	ンド化・6	次産業化な	どを推進す	⁻ る
計画期間	開始年度	昭和61年度	終了予定	全年度 全	和3年度	関連計画	名						
根拠法令等	野菜生産出	荷安定法∙♬	施行令·施	行規則、特	持定野菜等·	供給産地育	成価格	差補給	事業実施要	領、豆類	[価格安定	対策事業等	実施要領 他
事業区分	□ 法定受託	[事務 [] 国府補助	力事業	☑ 市単独	事業 口	内部庶	務的事	業 🛭 その	D他	(国·府制度	の市負担分)
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃止	/休止 [□ 他事業	へ統合	□ 他事業	を統合						
関連事業													
事業基礎性	青報												
	特産野菜及で 推進する。	び豆類の価	i格低下の	祭の価格ネ	補填を行う	ことで、特産	作物の	生産振	興を図ると	ともに、特	特産作物の	育成を通し	て地域農業の活性化を
対象者	農業者数(20	020農林業·	センサスデ	一タ)			対象	者数	3,0	81	単位あ	こりコスト	0.2
実施方法	□ 直接実施	E 口 第	業務委託	口 指足	定管理	□ 補助金	交付	Ø	その他	(負担金支	(出)
委託先·実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・京都府の農るとともに、特												産作物の生産振興を図
	支出に係る	る主な費目	支出実	績(R2)					主な	は業務内	容		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	次公表	長時記	載				

Ⅲ 予算執行状況

	Z	了 昇 靱 仃 イ	R1(評価前年	丰度)	R	2(評価年度	E)	R	3(本年度)	R4	(要求年)	変)
	1	当初予算		1,903			1,765			1,245			
予	2	補正予算		0			0			0			
算情	3	繰越予算		0			0			0			
報		前年度繰越		0			0			0			
		次年度繰越		0			0			0	To hi		
,	ト計	h(1)~(3)		1,903			1,765			1,245	ア 男 (3	「編成時 次公表	記人 非)
予	1	一般財源		1,903			1,765		1,245	,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	*/	
算	2	国支出金		0			0			0			
算財源	3	府支出金		0			0			0			
内	4	地方債		0			0			0			
訳	⑤	その他特財		0			0			0			
決	1	流充用額		△ 404		二次公	&表時記載			0			0
算		配当予算		1,499			1,765			0			0
情報	3	執行額		207		二次公	&表時記載			0			0
710		執行率		13.8%									
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04 /	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費	320				640			640			0
		スルコスト		527			640	40 640					0

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	価格安定加入品目	等の販売額(7品目)	百万円	143	235	/	220	200	/	250	/	250	250
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車績	資金造成品目		밂	8	8	/	10	8	/	10	/	10	10
活動実績(アウトプット)	単位あたりコ	コスト	239.3		25.9								
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト			•							

□ □ 八評価(、	評価	評価の理由
~ н	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		野菜等の粗収益(手取収入)が、事前に定めた保証基準額を下回った場合に、府、市町村、
	事業か		契約出荷団体、生産者があらかじめ積み立てた交付準備金から補給金を交付しており、産
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	地育成には必要な制度である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		JA支店単位で、契約農家の作付計画を基に、必要な交付準備金を積立する。 それぞれの団体から準備金の拠出がある。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		숙づ고 V / / / / / / / 李亜廿十以目 기 + b - 7 / / / / / / / / / / / / / / / / / /
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		京ブランド作物が保証対象となる。需要拡大が見込まれる作物が多く、作物の金額保証を行うことでより多くの農家が取り組む意欲増進に有効的な施策といえる。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	対象生産者に補給交付金を交付し、野菜 に、生産振興対策と一体となった集団産地		の粗収益を一定水準に安定させる価格対策により、対象生産者の再生産を確保するととも を図る。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	 ・平成30年度から開始された「収入保険」	ま、あらゆる	作物・被害の損失に対応できるため大規模農家が当事業から離れた。(収入保険と当事業は
これまでの課題及び 今後の方向性	併用して加入できない) ・京ブランド野菜に位置づけられた野菜が拡大を図れるようにする。	当事業の対	象作物となる。府内でもかなりの需要が見込まれるため小規模農家が当事業を利用して生産
U 二次評価(事業所属外による他部署評値	西)	
事後評価コメント		事绩	業評価実施後に記載 (対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
 V 予算反映線	上 里		
VIII J开风吹	□ 現状維持 □ 廃止/休止		·算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 枕小雁行 □ 廃血/水血 □ 他事業を統合 (統合事業名:	را ت) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 17 農業生産組織等指導強化事業

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業	業政策部 農林業振り	興課		所属長	西畑 信寿	
会計情報	事業コード 210217 款	06 農林業費 耳	頁 01 農業費	目 03 農業振興費	会計 01	1 一般会計 決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 060104 が	施策名 農産物の生	産・加工・流通・販売	力を高め、1次産品	品のブランド化・6次	産業化などを推進する	
計画期間	開始年度 平成元年度	終了予定年度	和3年度 関連計画:	名 一			
根拠法令等	地域農業担い手組織活動支援事	業費補助金交付要領、農業	美生産組織等指導強化事業	補助金交付要領、福知↓	山市地域農業再生協議会	会活動補助金、福知山市農村女性	活動支援事業補助金
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事業	□ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/	休止 □ 他事業へ	、統合 □ 他事業	を統合			
関連事業	経営所得安定対策等推進	進事業、農業振興推 達	進事業				
	 青報						
() () ()	生産組織や担い手組織等	等の育成強化を通じて	て、生産農家の生産力	1強化及び販売力	の向上を図る。		
事業目的							
(あるべき姿)							
対象者	総農家数(2020農林業セ	ンサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	1.6
実施方法	☑ 直接実施 □ 業	務委託 □ 指定		交付 口 その	 の他 ()
委託先•実施主体等	福知山農業経営者会議、				•		,
7,1010	生産組織や担い手組織等				*		
事業概要 (箇条書き)							
,_,,_,							
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	7	
	文山に 休る土 は 貸日	又山天根(R2)			エは未務内谷	·	
主な支出に係る 業務内容と経費			_	***			
米切り行こ在 其				次公表時記載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	()	R4	(要求年月	芰)														
	1	当初予算			1,318			1,079			989																	
予	2	補正予算			0			0			0																	
算情	3	繰越予算			0			0			0																	
報		前年度繰越			0			0			0																	
		次年度繰越			0			0			0																	
,	ト計	†(① ~ ③)			1,318			1,079			989 予算編成時記》 (3次公表時)																	
予	1	一般財源			1,068			1,079			930	(0	<u> </u>	71.7														
	2	国支出金			0			0			0																	
算財源	3	府支出金			250			0			59	59																
内	4	地方債			0			0			0																	
訳	⑤	その他特財			0			0			0																	
決	1	流充用額	117		117			117			117			117			117				二次公	公表時記載			0			(
算	2	配当予算			1,435			1,079			0			(
惰報	3	執行額			987		二次公	公表時記載			0			C														
ĦX.	_	執行率			68.8%		二次公	公表時記載																				
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.28	/	1.04	0.28	/	1.04	0.00	/	0.00														
工算	2	概算人件費		400				4,840			4,840			0														
		マルコスト 「額+概算人件費)			1,387			4,840			4,840			0														

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	農産物年間生	産数量	トン	363	375	/	520	集計中	/	520	/	520	520
実績/目標				0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	農産物年間生産者	数(水田活用農家)	戸	798	607	/	1000	470	/	1000	/	1000	1000
(アウトプット)		単位あたり	コスト	3.6		1.6							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

「項			→ 来担当所属内による目に 評価の観点	評価	評価の理由
-30			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	H I IIM	生産農家の組織活動の育成助成を行う事で、生産農家の生産力の強化及び販売力の向上
			事業か		を図るために必要である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施すること できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		各種団体の事業実施に対する支援を、他事業と比較し妥当な水準で行っている。また、団体の事業の内容についてもコスト削減の観点から実施するよう指導している。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		生産者相互の研鑽と連携の強化を図ることにより、生産性及び品質の向上を目指し、市場 や消費者などへの安心・安全な農作物の供給に有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		T + 7
			農業生産組織等の育成強化を図るため	に必要な他束	୯୬୭ର
事業の 指標等の					
対する	定性的	內評価			
			^# - \\ - \\ - \\ - \\ - \\ - \\ - \\ -	ルカックに主土	0.5 0.5 5.5 5.5 1.5
			写像にあいても生産辰多の生産力の強 	化及ひ販売力	の向上のため、本事業において生産組織の育成強化を図る。
これまで					
今後	の方に	可性			
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評	を で こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	メント		車業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
-F IA.II	. ,				
VII_ ≹	泙価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見i 及び	直し			予算編成に記入
	要求	方針			(3次公表時)
VIII -	予算	反映約	告果		
予算	反映纸	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
. ,1			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事末周江														
事業名	15 京野菜	生産加速化	事業											
事業担当	所属	25020000	産業政策	部 農林	業振興	課				所属	長 西畑 信寿	-		
会計情報	事業コード	210215	款 06 点	農林業費	項	01 農美	業費	皿	03 農業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	060104	施策名	農産物	の生産	·加工·	流通·販売	力を	高め、1次産品のブラ	ンド化・	3次産業化など	を推進する		
計画期間	開始年度	平成15年	度終了	予定年度	令和	3年度	関連計画	名						
根拠法令等	京野菜生	産加速化事	業実施弱	厚綱、福知	山市京	野菜生	産加速化事	業	実施要綱					
事業区分	□ 法定受	託事務	☑国府	補助事業	Ø	市単独	忠事業 □	内i	部庶務的事業 🛘 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他哥	事業へ	統合	□ 他事業	を給	充合					
関連事業		•	•	•	•					•		•	•	
	青報	•		•								•	•	

	月牧						
事業目的 (あるべき姿)	パイプハウス等を導入し、 新規就農者に対して施設						
対象者	総農家数(2020農林業セ	ンサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	0.5
実施方法	□ 直接実施 □ 業績	務委託 □ 指第	定管理 🗸 補耳	カ金交付 □	〕その他 ()
委託先•実施主体等	福知山ハウス部会、パイ	プハウスを導入する	る新規就農者				
事業概要 (箇条書き)	- ブランド京野菜の産地拡パイプハウス2棟など)。	:大を図る組織や新	規就農者に対しバ	イブハウス、資材	等導入の助成を行っ	った(府補助:パイブハ	ウス14棟など、市補助:
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内]容	
主な支出に係る 業務内容と経費				二次公表時間	- 		

__ Ⅲ 予算執行状況

	Þ	区 分	R1(評価前年度)	R2	(評価年度)	R3(本:	年度)	R4	(要求年度	E)		
	1	当初予算	11,291		29,435		29,990					
予	2	補正予算	C		0		0					
算情	3) 繰越予算	C		0		0					
報		前年度繰越	C		0		0					
		次年度繰越	C		0		0	⊽ #		77		
,	小言	th((1)~(3))	11,291		29,435		29,990	.990 予算編成時記入 (3次公表時)				
予	1	一般財源	C		0		0	,,,		• ′		
算	2	国支出金	C		0		0	0				
財源	3	府支出金	10,451		28,595		29,000	0				
内	4)地方債	C		0		0	0				
泥	(5)	その他特財	840		840		990					
決	1	流充用額	△ 1,750		二次公表時記載		0			0		
算	2	配当予算	9,541		29,435		0			0		
情報	3	執行額	5,855		二次公表時記載		0			0		
ŦX	4	執行率	61.4%		二次公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.14 / 0.00	0.19	/ 0.00	0.19 /	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費	1,120		1,520		1,520			0		
		タルコスト 行額+概算人件費)	6,975		1,520		1,520			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1		R2		R3		最終目標	
(アウトカム)	万願寺とうがら	しの販売額	百万円	146	129	/	150	144	/	150	/	150	150
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	施設園芸(パイプ	プハウス増棟数)	棟	8	5	/	15	14	/	15	/	15	15
(アウトプット)		単位あたり	コスト	1529.0		1171.0							
実績/計画	万願寺とうがら	しの生産量	t	182	180	/	240	183	/	240	/	240	240
		単位あたり	コスト	67.2	,	32.5	•						

□ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	事業担当所属内による目し	評価	評価の理由
- X H		A I IIM	計画的なパイプハウス等導入による栽培面積の拡大を図り、農家経営の安定と京野菜を中
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		心とした特産物の振興を図るために必要である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助率は同類の他事業と比較して妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		佐乳井垃(パノゴハウフ笠道 1) トモ 大豆 大豆 大豆 大豆 大豆 大豆 大豆 大
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		施設栽培(パイプハウス等導入)による京野菜の生産性及び品質向上を図ることにより、市場や消費者等への高品質で安定した京野菜の供給を図るために有効である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			Eした導入が見込まれる。特にこの事業を活用して万願寺とうがらしの生産者(新規就農者を 込まれるブランド京野菜の生産拡大に寄与している。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	将来的に高齢化や後継者不足による栽培 進を図ることにより産地拡大を目指す。	き面積の縮小	が懸念されるが、今後もブランド京野菜の需要は大いに期待でき、担い手や新規就農者の推
	進を図ることにより産地拡入を目指す。		
これまでの課題及び 今後の方向性			
\/I - \hat{\partial}	(市學公司》)。17小如田帝	her \	
VI 一次評価	(事業所属外による他部署評 ⁾	四)	
事後評価コメント		事訓	業評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
L VIII 予算反映;	L		
	□現状維持□廃止/休止	7	- 算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 11河川種苗放流事業 |

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業	政策部 農林業振	興課		所属長	西畑 信寿	
会計情報	事業コード 210211 款	06 農林業費	項 01 農業費	目 03 農業振興	費 会計 01	一般会計 決算付属	真
施策体系	施策コード 060101 施	策名 生産基盤·放	拖設の整備により生産	力を高める			
計画期間	開始年度 昭和50年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	名			
根拠法令等	漁業法、内水面漁業振興対策	策事業費補助金交付	要綱、福知山市内水面	漁業振興対策事業	養補助金交付要領、	由良川漁業協同組合	強化育成事業費交付要領
事業区分	□ 法定受託事務 🛛	国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事業	□ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休	は 口 他事業/	、統合 □ 他事業	を統合			
関連事業							
事業基礎性	青報						
事業目的 (あるべき姿)	自己利益の向上を目指す も大きな役割を果たしてい						ける水産資源の保全に
対象者	由良川漁業協同組合			対象者数	1	単位あたりコスト	1,040.0
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	管理 ☑ 補助金	交付 口 そ	の他()
委託先•実施主体等	由良川漁業協同組合						
事業概要 (箇条書き)	・あゆやふな等の放流にか ・由良川漁業協同組合の約						
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	!	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1(評価)	介年度)		R2	(評価年度	E)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年)	隻)		
	1	当初予算			9,248			10,880			10,880					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0	予算編成時記入				
,	小計	†(①~ ③)			9,248			10,880			10,880		·羅风時 次公表			
予	1	一般財源			0			0				(0	X A X •	4 7		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			1,624			2,440			2,440					
内	4	地方債			0			0			0	0				
訳	⑤	その他特財			7,624			8,440			8,440					
8h.	1	流充用額		0		0			二次公	\表時記載			0			0
決算	2	配当予算			9,248			10,880			0			0		
惰報	3	執行額			9,248		二次公	〉表時記載			0			0		
ŦX		執行率		1	00.0%		二次公	〉表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.04 /	0.3	30	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/	0.00		
(算	2	概算人件費	1,07	70				1,040			1,040			0		
		タルコスト 「額+概算人件費)		10,318				1,040			1,040			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	水産物の販売、	遊魚券の売上げ	千円	9648	10906	/	0	7815	/	17000	/	17000	17000
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	種苗放流量(8	あゆ、ふな等)	千匹	348/350	255	/	350	263	/	350	/	350	350
(アウトプット)		単位あたり	コスト	27.1		36.3							
実績/計画						/			/		/		
		単位あたり	コスト			•	•						

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己評		Steller - em !										
項目	評価の観点	評価	評価の理由										
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		河川種苗放流事業は由良川水系の水産資源確保に大きく寄与しており、漁業者からのニーズが高く今後も必要な事業である。										
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0											
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か												
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		水産資源の保全のためには、外来種による淘汰や天敵の捕食による損失分を考慮し、ある程度の数の種苗を放流することが必要である。このため、一定のコストはかかるが、現在の事業費総額は補助金額の倍以上あり、補助金額に対する事業の効果は大きい。										
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0											
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか												
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		本事業の実施により、天然あゆをはじめとする由良川水系の水産資源を守ることは、淡水漁業の振興に寄与している。										
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0											
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	- Mr 11											
	種苗放流数は、目標に届かないものの、一覧 ある。	足数の放流	とはできている。今後も継続し、放流量を増やして由良川水系の水産資源を維持する必要が										
事業の目的及び		廃により、	漁業者の出荷量や入漁料収入が安定しないため、鳥獣害対策、河川環境の改善へ向けた取										
指標等の達成状況に 対する定性的評価													
	 業績指標が目標に達していないので 少して	乳月標に	近づき、福知山市の水産業の振興に努めていく必要がある。										
	今後も同様の内容を実施し、水産業の振興	を継続する											
これまでの課題及び	ていく必要がある。												
今後の方向性													
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)											
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)										
 V 評価をふま	 えた次年度事業方針												
, , , , , , , ,	方針区分		評価を踏まえた見直し内容										
石水器で													
担当課の 事業の見直し 及び			予算編成に記入										
予算要求方針			(3次公表時)										
 VIII 予算反映線	上 里												
VⅢ 予算反映系 I		□ 3.	算拡充 □ 予算縮減										
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 7º.	算拡充 予算縮減										

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート | 事業属性 199 安心·安全の森づくり事業

(単位:千円)

事業担当	所属								
会計情報	事業コード 210199 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁								
施策体系	施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生	産力を高める							
計画期間	開始年度 令和元年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画	国名							
根拠法令等									
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □] 内部庶務的事業 口 そ	の他 ()					
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事	業を統合							
関連事業									
── 事業基礎作	 青報								
事業目的 (あるべき姿)	災害の発生により、渓流から流出する土砂を防止する補助を減災、防災を目的に実施する。 また、被災した林道、作業道の復旧を行い、森林整備の早期再開を図る。 京都府施行の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。								
対象者	林道作業道管理者 (対象数は路線数)	対象者数 39	単位あたりコスト	6.5					
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助:	金交付 口 その他	()					
委託先•実施主体等	福知山地方森林組合								
事業概要 (箇条書き)	・被災した林道・作業道の復旧を実施する。 ・治山施設の流末水路の整備を実施する。								
	支出に係る主な費目 支出実績(R2)	主	な業務内容						
主な支出に係る業務内容と経費									

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	E)	R	4(要求年)	变)		
	1	当初予算			29,327			38,157			16,836					
予	2	補正予算			△ 3,713			△ 6,764			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0					
	小計	h(1)~(3)			25,614			31,393			16,836		「編成時 次公表			
予	1	一般財源			16,937			22,413			7,282	,,	<i>-</i>	N /		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			8,287			5,274			9,054					
内	4	地方債			0			0			0					
訳	⑤	その他特財			390			3,706			500					
決	1	流充用額			△ 8,185		二次公	公表時記載			0			0		
算	2	配当予算			17,429			31,393			0			0		
情 報	3	執行額			17,248		二次公	公表時記載			0			0		
¥	4	執行率			99.0%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.54	/	0.00	0.32	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		4,320			·-	2,560			2,560			0		
		マルコスト 「額+概算人件費)			21,568			2,560			2,560			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	木材搬出量		m³	0	3430	/	9300	1565	/	10000	/	10000	10000
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	補助金交付件	数	件	0	1	/	12	3	/	8	/	-	0
(アウトプット)		単位あたり:	コスト	0.0		7248.3	}						
実績/計画	林道•作業道約	推持路線		/	15	/	28	17	/	22	/	11	0
		単位あたり	コスト	0.0		1149.9							

□ 他事業を統合 (統合事業名:

V 一次評価(事業担当所属内による自己評	価)	
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	0	 ・木材搬出をするために、必要な林道等の基盤を整備することは必要である。 ・近年の豪雨等により多くの治山事業が必要で実施されており、その下流域の水路整備はニーズは高い。 ・水路等であるため、公共で整備する必要がある。
	優先度の高い事業か		
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は	0	・林道・作業道復旧は、適正な歩掛により、単価を出し、単価契約を締結している。 ・治山事業の実施に地元負担がないことや、治山事業に関連した水路整備であり、地元負担は徴収していない。
<i>,</i>	+分行われているか -コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	0	
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果実績は毎年確認できている。森林所有者等の一部負担はあるものの、国庫補助とならない作業道等を復旧を市独自で行うことで、森林への関心を引きとめられる有効な事業である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	・令和2年度は京都府施工の治山工事に合っ ・一部負担を取りながら作業道等の復旧を行		
本会の日始及び			
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	・今後も京都府の治山事業の実施箇所の現・私有山林等の間伐促進及び、間伐材を搬		なじ、流末水路整備等事業実施の必要がある。 にも重要な事業であり、継続して実施する。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
! Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
1/11 Sept but she she	2.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4		
∨∥ 評価をいま	えた次年度事業方針 方針区分		評価を踏まえた見直し内容
日水調の	***************************************		III II CHIO WARANI II II
担当課の 事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
L VⅢ 予算反映á	·		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
了异以吠和米	ロルキサナイナ ハ ハナウキサク		\ \tau \tau \tau \tau \tau \tau \tau \ta

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート

-1-	事	業属性	y	7 1		' '	73	, ,	40	1	4.	• 1				•				(単位:千円)
	事	業名	89 農業振	興事務管	理事業															
	事業	美担当	所属	25020000	0 産業i	政策部	農林業	振興課						所	属長	西畑 化	言寿			
	会計	†情報	事業コード	210189	9 款 0	6 農林	業費	項 01	農業費		目 03	農業振	興費	会	計 01	一般会	計 決	算付属資	資料	頁
	施第	後体系	施策コード	060104	施針	策名	豊産物σ)生産・カ	ロエ・流道	通·販売	力を高め	か、1次	産品の	ブランド	化 6次	産業化	よどを推	進する		
	計画	期間	開始年度	平成元年	年度 4	終了予定	定年度	令和3年	度関	連計画	i名									
	根拠	法令等																		
	事業	区分	□ 法定受	 託事務		国府補具	助事業	口市	単独事	業 🗸	内部庶	務的事	業口	その他	()
F	3現右	王の状況	☑ 継続中		上/休			業へ統合			を統合									
	関道	事業	- 42-30-1		- 11			-14 170 F		10 , 11										
11		業基礎作																		
	事業	を目的 べき姿)		に係る一般	设的経費	費を当事	事業で支	出する。												
	対	象 者									対象	者数				単位を	たりコス	スト		
		施方法	☑ 直接実	 E施 「	」業務	委託	#	旨定管理		補助金			その他	! ()
季料		2.7.A. 実施主体等			_ N:3/	~#"		.,		110-21 11			/ IE	. \						
		を概要 を書き)			[(-								76 1 2					
			支出に値	系る主な費	目	支出実	[績(R2)							主な業	務内容					
	務内	出に係る容と経費	犬 況.							=	次公才	長時記	載							
	区	分		R1(評価前	(年度)			R2	(評価年	度)			R	3(本年月	E)			R4 (要求年	度)
	_	 当初予算	-			2,05	59				2,050					1,979	_			
予		浦正予算					0				0					0				
算		操越予算					0				0					0				
惰報	9 41	前年度繰越					0				0					0				
TIA.		次年度繰越					0				0					0				
,	 \=+ ((1~3)				2,05	_				2,050					1,979		予算:	編成時	記入
		一般財源				1,67	_				1,662					1,591		(3)	欠公表	詩)
予算	_	国支出金					0				0					0				
財	,	一个一一 存支出金					0				0					0				
##		也方債					0				0					0				
訳		<u>- 77 0</u> その他特財				38	_				388					388				
	-	充充用額 元充用額				45			一 次	7公表 🛚						0				0
決		記当予算				2,50				(A X)	2,050					0				0
算情		执行額				2,44			一 次	7公表8						0				0
報		执行率				97.5				公表的										
人概		生事職員数 正職員/媒託職員)	0.22	/		0.00		0.14	/		00	0	14		0	00	0.0	00		0.00
	② #	^{正職員 / 嘱託職員)} 既算人件費	0.22	1,760		00	+-'	/		J.		J.			J.	1,120	J.,			
				1,700	_		1	1,120 1,120								., . 20				
 	ータノ	ルコスト (計概算人件費)				4,20)6									1,120				0
卜一 (予算	-タ 執行額	(+概算人件費)				4,20	06									1,120				
卜一 (予算	-タ 執行額 業	ルコスト は概算人件費) に積指標 と実績 トカム)	:	指標		4,20		H30						R2		1,120	R3		F	

成學掌籍	指標 単位		単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
成果実績(アウトカム)	0)	0	0	/	0	0	/	0	/	0	-
実績/目標		()	0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動室籍		()	0	0	/	0	0	/	0	/	0	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり	コスト	0.0									
美積/計画				0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
		単位あたり	コスト	0.0									

項目	評価の観点	評価	評価の理由
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた		農業振興を円滑に進めるため必要な事務的経費である。
	事業か		
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		旅費の精査・物品購入時の価格比較等、コスト削減に努めている。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		成果の設定は困難である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか		
	農業振興を推進するための事務経費として	適切に支出	出した【定性的評価】
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	 農業振興事務を円滑に進めるために必要な	経費であり	J. 今後も継続する必要がある。
これまでの課題及び 今後の方向性			
 VI 二次評価(<u> </u> 〔事業所属外による他部署評価	i)	
71 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
+ W 27 Pr _ 1. 1		-	·阿尔克·格尔·斯特·
事後評価コメント		争录	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
// 名質口巾	社里		
Ⅷ 予算反映	結 未 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 79 株道施設災害復旧事業

(単位:千円)

事業担当	所属 2502000	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学										
会計情報	事業コード 21017	9 款 11 災害復旧費	項 02 農林施設等災害復旧費	目 01 農林施設等	等災害復旧費	会計 01	一般会計 決算付	属資料 頁				
施策体系	施策コード 040102	施策名 治山・治水	対策を強化する									
計画期間	開始年度 平成29:	年度 終了予定年度 令	和2年度 関連計画	名								
根拠法令等												
事業区分	□ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 □ その	他()				
R3現在の状況	□ 継続中 ☑ 阝	₹止/休止 □ 他事業	へ統合 口 他事業	を統合								
関連事業												
	青報											
	台風・豪雨等により	被災した林道施設を復旧	3する。									
事業目的 (あるべき姿)												
対象者	被災路線			対象者数	23		単位あたりコスト	320.0				
実施方法	☑ 直接実施 □	〕業務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他	()				
委託先•実施主体等	中丹住工株式会社	=										
事業概要 (箇条書き)	他工事との工程調整 (特定財源(N-1年度 ・林道施設災害復旧 ・林道施設災害復旧	び台風21号豪雨により: をや入札不調があった路 を分)) 日 府補助金 53,904,000 日 地元分担金 1,365,61 日 災害復旧債 1,600,00	線については繰越をし 円(繰越分:47,813,000 6円(繰越分:1,341,130	た。)円、現年分: 6,)円、現年分: 24	(更 091,000円) 1,486円)		高所中8路線14箇所 10箇所中1路線1箇					
	支出に係る主な費	計 支出実績(R2)			主な	業務内容						
主な支出に係る 業務内容と経費												

|| 予算執行状況

	区	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度)		F	3(本年度)	R	(要求年)	支)
	1	当初予算			12,100			0			0			
予	2	補正予算			47,340			0			0			
算情	3	繰越予算			68,477		1	72,122			0			
情報		前年度繰越			240,599		1	72,122			0			
		次年度繰越			△ 172,122			0			0	TP 64		.
-	小計	·(①~③)			127,917		1	72,122			0		[編成時 次公表	
予	1	一般財源			62,845			7,114			0	,,	V 1 1 1 1	47
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			55,787		1:	59,979			0			
内	4	地方債			7,000			900			0			
訳	⑤	その他特財			2,285			4,129			0			
決	1	流充用額			0		二次公表明	寺記載			0			0
算	2	配当予算			127,917		1	72,122			0			0
惰報	3	執行額			86,870		二次公表	寺記載			0			0
ŦX		執行率			67.9%		二次公表	寺記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.92	/	0.00	0.92	/		0.92	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		7,360				7,360			7,360			0
		スルコスト f額+概算人件費)	•		94,230	•		7,360			7,360			0

成果実績	指	標	単位		H30			R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	整備路線工事	完成	路線	3/25(うち	3路線は	繰越分)	12	/	23	23	/	23	/	-	23
実績/目標															
	指	標	単位		H30			R1			R2		R3		最終目標
活動実績	整備路線設計	数	路線	22	/	22	23	/	23		/		/		
(アウトプット)		単位あたり:	コスト		5094.0			3777.0							
実績/計画	整備路線工事	発注数	路線	4/24(うち	2路線は	繰越分)	23	/	23		/	0	/		
	単位あたりコスト		コスト	2	28016.8			3777.0							

項	目	世(争乗担当所属内による目亡計 評価の観点	評価	評価の理由
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた		被災した林道施設の復旧工事でニーズは高い
		事業か		
必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している
効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		災害復旧であり、成果指標の設定が困難であるため、定性的評価とする。
有:	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 「定性的評価」		
			した。また、	繰越した路線について早期完成を目指す。
事業の指標等の	目的及び 達成状況			
対する定	と性的評値	ī		
			· ·	/ Id blam to the N
		早期に復旧工事を完了する必要があるため)、適切な進	進歩管理を行う。
これまで		x		
今後の	の方向性			
VI =	上次評/	西(事業所属外による他部署評価	5)	
事後評	価コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
 	平価をご	 まえた次年度事業方針		
7.1. 41	, , 1	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
40 v	K MILE			
事業(当課の の見直し			予算編成に記入
	及び 医求方針			(3次公表時)
└VIII 予	9 算反			
	反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	口予	算拡充 □ 予算縮減
		□ 旧ず木と肌口 「伽ロデスロー		

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 77 有害鳥獣防除事業

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学									
会計情報	事業コード 210177 款	06 農林業費 項	頁 02 林業費	目 02 林業振	興費 会計 ()1 一般会計 決算付	·属資料				
施策体系	施策コード 060103 施	策名 有害鳥獣対策	策を強化する								
計画期間	開始年度 平成20年度	終了予定年度 令和	和3年度 関連計画:	名 福知山市!	鳥獣被害防止計画						
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に	係る被害の防止のたる	めの特別措置に関する	法律、有害鳥	猷防除施設設置事業 実	E施要領、有害鳥獣捕	獲施設整備事業実施要領				
事業区分	□ 法定受託事務 ☑	国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他)				
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/位	木止 □ 他事業へ	、統合 □ 他事業	を統合							
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、スマー	鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)									
	 青報										
事業目的 (あるべき姿)	シカ、イノシシ等の野生鳥 る。	獣による農作物等被	き害を軽減するため、	侵入防止柵の	設置、鳥獣の捕獲又	は追払活動の支援な	などの防除対策を推進す				
対象者	総農家数(2020農林業セ	ンサスデータ)		対象者数	3,081	単位あたりコスト	2.7				
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他()				
委託先·実施主体等	福知山市有害鳥獣対策協										
事業概要 (箇条書き)	野生鳥獣による被害を防 状況調査及び対策支援事大丹波地域サル対策広	業に対して支援を行	うった。			事業、捕獲檻の導入	事業、ニホンザルの生息				
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容					
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載										

Ⅲ 予算執行状況

	Σ	5 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度	E)	R	3(本年度	:)	R4	(要求年)	支)
	1	当初予算			1,870			4,554			1,393			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0			
,	小言	†(①~ ③)			1,870			4,554			1,393		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			1,060			4,554			1,393	,,,	<i></i>	*/
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			810			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
脳	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			1,870			4,554			0			0
情 報	3	執行額			971		二次公	公表時記載			0			0
ŦIX	4	執行率			51.9%		二次位	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.20	/	0.00	1.05	/	0.00	1.05	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		9,600				8,400			8,400			0
		マルコスト 「額+概算人件費)			10,571			8,400			8,400			0

成果実績	指	標	標 単位 H30		R1			R2			R3		最終目標
(アウトカム)	有害鳥獣による農	作物年間被害額	千円	33,237/30,000	36921	/	30000	26034	/	31243	/	29247	27251
実績/目標				/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	有害鳥獸侵入防止柵	設置(協議会事業)	km	49/90	26	/	90	22	/	27.9	/	58	5962.4
(アウトプット)		単位あたり	コスト	27.9		37.3							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

□ □ 八評価(、	マルツノ 評価	評価の理由
7 D	21.22	村下 川川	野生鳥獣による農作物等への被害は、単に農作物等の収穫量が減少するだけでなく、農家
必要性	 ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 	0	の営農意欲や農地保全に大きな影響を与える。このような中、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する「侵入防止柵」及び「捕獲艦」の設置は、野生鳥獣による被害防止に寄与するものであり、地元のニーズを的確に捉えている。また、これらの事業を支援する本事業は、必要性、優先度ともに高い事業である。
	優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		野生鳥獣対策においては、捕獲や防除を複合的に取り組むことが重要である。このような中、捕獲を効果的に実施するための防除の要となる「侵入防止柵」は、施工性が優れ、長期間の使用に耐えることが必要であり、経費は妥当な水準である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		活動実績は、福知山市有害鳥獣対策協議会の実施事業による指標である。当協議会の支
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		援は、活動実績指標を推進することになり、間接的に成果目標の指標を改善するため、適 切な指標が設定できている。また、活動実績指標の推進による投資に対し、成果実績指標
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	の改善効果は、営農が継続される限り続くことが期待でき、投資効果の高い事業であると考えている。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	有害鳥獣対策として捕獲と防除の両面から	実施してお	り、更なる防除対策の実施が必要な状況である。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価	今後も防除対策に対する国の財政支援の	命化を継続	で亜切まる
			いく女主する。 第 対りや補修等の維持管理を継続する必要があるが、高齢化が進む中、地元の労力確保が
これまでの課題及び 今後の方向性			
_ VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	赿)	
事後評価コメント		事第	萨評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
	岩果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 75スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)

(単位:千円)

事業担当	所属	属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学													
会計情報	事業コード	210175	款 06 農林	木業費	項 02 林美	業費	目	02 林業振	興費	会計	01	一般会計	決算付属資	料	頁
施策体系	施策コード	60103	施策名	スマートシ	ケィの実現										
計画期間	開始年度	令和2年月	度 終了予	定年度 4	令和3年度	関連計画	名	福知山市原	鳥獣被害防.	止計画					
根拠法令等	鳥獣による	る農林水産業	美等に係る	被害の防」	上のための特	寺別措置に	関す	る法律							
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補	i助事業	☑ 市単独	事業 🗆	内部	8底務的事	業 口 その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	ュ □ 廃」	上/休止	□ 他事業	美へ統合	□ 他事業	を紛	合							
関連事業	有害鳥獣	捕獲事業、有	害鳥獣防	除事業											
事業基礎	 青報														
事業目的 (あるべき姿)	地域から遺	状対策に関す 選定したモデ Tを活用した	ル農区とと	もに、積極	2的な有害点	獣対策を持	佳進:	する。							
対象者	総農家数	(2015農林業	センサスラ	データ)			文	付象者数	3,9	15		単位あたり	リコスト	0.9)
実施方法	☑ 直接実	『施 ☑	業務委託	口指	定管理	□ 補助金	交介	t 🗆	その他	()
委託先•実施主体等		大学 森林重													
事業概要 (箇条書き)	◇ICT活用	ノシシ生息密 用による有害 農区及び対策	鳥獣対策	データ可視	化システム	構築支援(材	溝築	に向けたデ	"一夕分析及	び指導	1)				
	支出に信	系る主な費目	支出!	実績(R2)					主な	は業務内	内容				
主な支出に係る 業務内容と経費															

|| 予算執行状況

	Z	分	R1(評価前年度)	R2	2(評価年度	€)	R	3(本年度)	R4	(要求年月	を)
	1	当初予算							13,623			
予	2	補正予算				10,000			0			
算情報	3	繰越予算							0			
報		前年度繰越							0			
		次年度繰越				0			0	TF 66	- 4= -1- n+ 4	
,	小計	h(①~③)	0			10,000			13,623		編成時 次公表問	
予	1	一般財源							0	(0	<u> </u>	3 7
	2	国支出金				4,067			6,811			
算財源	3	府支出金							0			
内	4	地方債							0			
訳	⑤	その他特財				5,933			6,812			
決	1	流充用額			二次公	&表時記載			0			0
算	2	配当予算				10,000			0			0
惰報	3	執行額			二次公	&表時記載			0			0
HX.	4	執行率			二次公	& 表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	/	0.45	/	0.00	0.45	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費				3,600			3,600			0
		タルコスト f額+概算人件費)	0			3,600			3,600			0

成果実績	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
(アウトカム)	有害鳥獣による農	作物年間被害額	千円		/	26034 /	/ 29247	'
実績/目標					/	/	/	
	指	標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
活動車績	シカ・イノシシ生	息密度推定調査	回		/	0 /	/ 1	
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト					
実績/計画	モデル農区対	策指導	回		/	2 /	/ 12	
		単位あたり	コスト					

	事業担当所属内による自己部		都在小理中
項目	評価の観点	評価	評価の理由 有害鳥獣による農作物への被害は多く、被害の声は後を絶たない。
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	有音馬訊による展下が「VO版音は多く、版音の声は後と起こない。 また、全市的な頭数把握調査やモデル農区での獣害対策など、民・学・官が協働して当たるべき事業である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		兵庫県立大学に対し、全市的な頭数調査や複数のモデル農区への指導、またICT可視化システムの設計など、多岐にわたる業務を包括的に委託しており、先進的有害鳥獣対策の将来の水平展開を鑑みて、経費は適正であると考える
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		目標値としては、農作物被害の減少を最終出口であると考えている。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		まずはモデル農区での対策を優先的に取り組み、その成果を周辺に拡大していきたいと 考えている。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	モデル農区での取り組みは兵庫県が実施している事業を参考にしており、当該事業に参 画している兵庫県立大学の協力を得て進めている。
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 会和2年度の補正事業で開始しており、日	別組みを始め	つたばかりではあるが、モデル農区の意欲を確認し、今後の展開を期待できるところである。
	日和2年及の福正事業で開始して655、年	X 까프 아 프 커 프 아	グにはが、プロスのもが、ピイル版との思いと単語のし、プタの展開と対けでごうところである。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	■ 長期的に取り組む必要があるため、早急 指す。	に結果が出	るものではないが、既に各農区の抱える課題なども浮かび上がってきており、その改善を目
		を継続する	ほか、頭数調査などを計画的に実施していく予定としている。
これまでの課題及び 今後の方向性			
) brooks 1.1 lm			
_ VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	<u>f</u>)	
事後評価コメント		車場	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
予後計画コケント		* **	に計画大心伎(〜60戦(対象争未のの)
 VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映線	告果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 晩本/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□予	算拡充
	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | **** | 14 有害鳥獣捕獲事業

(単位:千円)

事業担当	所属	25020000)	産業政策部	ß 農林業排	長興課					所属長	余田 学		
会計情報	事業コード	210174	款 06 農林	木業費	項 02 林	業費	目 0:	2 林業振り	興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	060103	施策名	有害鳥獣:	対策を強化	する							
計画期間	開始年度	平成25	終了予	定年度	令和3年度	関連計画	名福	畐知山市 鳥	引獣被害防.	止計画			
根拠法令等	鳥獣による農林	水産業等に係る社	被害の防止のた	めの特別措置に	関する法律、福祉	知山市有害鳥獸拵	獲事業	デジタル簡易無	無線機導入補助 1	金交付要領、	福知山市有害鳥獸	浦獲隊狩猟免許取得 3	支援事業補助金交付要綱
事業区分	□ 法定受	託事務	☑ 国府補	助事業	□ 市単独	虫事業 🗆	内部	庶務的事	業 口その	D他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□廃⊥	止/休止	□ 他事業	をへ統合	□ 他事業	を統合	合					
関連事業	有害鳥獣	皮害防除事:	<u>業、中丹地</u>	域有害鳥豐	<u> </u>	管理事業、	スマー	-トシティ推	進事業(有	害鳥獣技	<u>浦獲)</u>		
事業基礎性	青報												
事業目的 (あるべき姿)		ナるシカ・イノ 内に実施する		9生鳥獣に	よる農作物	対害の軽減	を図	るため、「ネ	福知山市鳥	·默被害[0	防止計画」に	基づき、有害 鳥	獣駆除隊による捕
対象者	福知山市	有害鳥獣駆	除隊員				対:	象者数	20)5	単位あたり	リコスト	42.1
実施方法	☑ 直接実	҈施 □	業務委託	口指:	定管理	□ 補助金	:交付		その他	()
委託先·実施主体等		有害鳥獣駆											
事業概要 (箇条書き)						猟免許の取 への支援を			簡易無線	幾の導入	に対して支援	を行った。	
	支出に係	系る主な費目	支出!	実績(R2)					主な	ょ業務内	容		
主な支出に係る 業務内容と経費						=	.次公	〉表時記i	栊				

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	3(本年度	()	R	4(要求年)	支)		
	1	当初予算			70,698			88,891			103,715					
予	2	補正予算			0			0			0					
算情	3	繰越予算			0			0			0					
報		前年度繰越			0			0			0	0				
		次年度繰越			0			0			0	T A		8 0. 3		
,	小計	h(①~③)			70,698			88,891			103,715		「編成時 次公表			
₹	1	一般財源			43,752			54,803			55,620	,,	·>(N /		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			26,934			34,076			48,083					
内	4	地方債			0			0			0					
訳	⑤	その他特財			12			12			12					
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0		
算	2	配当予算			70,698			88,891			0			0		
情報	3	執行額			66,005		二次公	公表時記載			0			0		
+HX	4	執行率			93.4%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.31	/	0.00	1.08	/	0.00	1.08	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		10,480			·-	8,640			8,640			0		
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			76,485			8,640			8,640			0		

成果実績	指	標	単位	H30	R1		R2			R3		最終目標	
(アウトカム)	有害鳥獣による農	作物年間被害額	千円	33,237 /30,000	36921	/	30000	26034	/	31242	/	29247	27251
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	年間捕獲頭数		頭	4,228/5,795	3659	/	5795	6606	/	5965	/	5965	5965
(アウトプット)		単位あたり	コスト	15.0		18.0							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

「項		目 81 m(事業担当所属内による目亡 評価の観点	評価	評価の理由
-30			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	21 Imi	本市における有害鳥獣の駆除活動は、福知山市有害鳥獣駆除隊員に委ねている。駆除の
			事業か		要望は年々増加しているなど市民ニーズが高く、継続が必要な事業である。
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		駆除隊員に対する報償費について、項目を細分化し効率的な駆除活動の実施を図っている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		成果指標は、事業の実施により直接的に有効なものである。 活動実績は、有害鳥獣の削減に直結する捕獲頭数であり、数値の管理もできている。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	1 11 - 11 - 1	
			年間捅獲頭数は増加しており、農作物被 る。	害についても	減少した。さらに農作物被害を縮減するため、引き続き有害鳥獣の捕獲を継続する必要があ
***		. 72 ¢			
事業の	達成	状況に			
対する!	连性	内計価			
					み、今後も引き続き駆除隊員による有害鳥獣の捕獲を実施していくことで、農作物被害を防
			ぎ、農業生産意欲の減少を防ぐため事業	の継続が必要	要である。
これまで 今後	の課 の方I				
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評	逝)	
		. , \			
古公司	·	41.L			詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
事後許	rj四コ	ハント		事 身	s計画夫応夜に配載(対象争系のか)
VII 🖁	平価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見 及び				予算編成に記入
予算	要求	方針			(3次公表時)
VIII - ²	予算	反映約			
予算	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 70 森林組合間伐補助事業

(単位:千円)

事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学 事業コード 210170 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 ほ										
会計情報	事業コード 210170 款	06 農林業費	項 02 林業費	目 02 林業振	興費 会	会計 01	一般会計	決算付属資料	頁		
施策体系	施策コード 060102 施	策名 担い手の育	成、経営の効率化等に	こより生産力を	高める						
計画期間	開始年度 平成24年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	名 -							
根拠法令等	森林組合間伐補助事業補	献助金交付要綱									
事業区分	□ 法定受託事務 🛛	国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	<u>t</u> ()		
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/位	木止 口 他事業/	、統合 □ 他事業	を統合							
関連事業											
── 事業基礎性	青報										
事業目的 (あるべき姿)	優良材生産や健全な森材 担軽減を図り、森林整備を また、間伐した木材の搬出	と促進する。				森林組合	に支援する	ことで、市民(森林所有者)の負		
対象者	福知山地方森林組合			対象者数	5,916		単位あたり	コスト	0.1		
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他 (()		
委託先•実施主体等	福知山地方森林組合										
事業概要 (箇条書き)	 森林環境保全直接支援事業(搬出間伐) 標準経費の20%補助 合板・製材生産性強化対策事業 標準経費の20%補助 間伐材出材奨励補助 2,400円/m3 補助 										
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業	Ě務内容					
主な支出に係る 業務内容と経費 二次公表時記載											

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	E)	F	3(本年度	E)	R	(要求年)	支)
	1	当初予算			19,041			17,541			15,616			
予	2	補正予算			△ 4,041			0			0			
算権	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	TT AI	- ^=	
,	小計	h(①~③)			15,000			17,541			15,616		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			12,450			12,573			11,440	,,	X X X X	N /
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			2,550			4,968			4,176			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次位	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			15,000			17,541			0			0
惰報	3	執行額			10,570		二次公	公表時記載			0			0
Ŧ		執行率			70.5%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		800				800			800			0
		タルコスト (新年概算人件費)			11,370	•		800			800			0

成果実績	指	標	単位	位 H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	森林整備面積	(市全体)	ha	243/ 544	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	森林整備面積	(間伐)	ha	162.84/ 180	95.01	/	130	66.41	/	250	/	250	250
(アウトプット)		単位あたり	コスト	83.7		111.3							
実績/計画	間伐材搬出		m3	1741/3300	1733	/	3680	2056	/	4000	/	4000	4000
		単位あたり	コスト	7.8		6.1							

→ 項	日	、 争 来 担 当 所 偶 内 による目 亡 計 評価の観点	評価	評価の理由
			HI IIM	森林のもつ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		また、国レベルでも防災の面から森林整備は喫緊の課題とされており、森林整備の促進は必要である。
必量	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	必要である。
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
効□	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		成果目標については、過去の実績から増加させているものであり、十分に理にかなったもの
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		は言い難い。 活動実績についても目標設定が高く、設定方法の検討が必要である。
有交	物性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		森林整備面積について、年々減少傾向であ	り、林業作	業員数等の他方面からの支援と合わせて検討する必要がある。
事業の	目的及び			
指標等の流	達成状況に			
対する正	性的評価			
		森林整備は今後も重要な事業であり、国・府	す支援のも	と事業を推進していく必要がある。
-4-+	八田 町 ひょぐ			
	D課題及び D方向性			
<u> </u>	次評価(事業所属外による他部署評価	i)	
争 後評価	面コメント		争习	菅評価実施後に記載(対象事業のみ)
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	: Arr ab	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>
VII 評	一個をかま	えた次年度事業方針 方針区分		評価を踏まえた見直し内容
		기회[단기		町間を用かれた元風しい谷
	課の			
)見直し !び			予算編成に記入
	求方針			(3次公表時)
└───── VIII 予	算反映統	· 法果		
		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 写解減
予算反	映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

65 地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)

所属 25020000 産業政策部 農林業振興課

事業属性事業名

事業担当

(単位:千円)

所属長 余田 学

会計情報	事業コード 210165 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 3 3 3 3 3 3 3 3 3
施策体系	施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生産力を高める
計画期間	開始年度 平成29年度 終了予定年度 令和4年度 関連計画名 地域再生計画(道路整備)
根拠法令等	地域再生法
事業区分	□ 法定受託事務 🛮 国府補助事業 🗆 市単独事業 🗆 内部庶務的事業 🗆 その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	
	青報
	地域再生計画に基づき、通常の林道機能に加え次の視点を視野にいれて事業を実施する。 林道大江山線 観光道路としての位置づけを含む。
対象者	森林所有者(大江山線) 対象者数 5 単位あたりコスト 1,072.0
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 (
委託先•実施主体等	
事業概要 (箇条書き)	地域再生計画に基づき林道大江山線の法面改良工事を実施する。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)		R3(本年度	()	R	4(要求年)	变)		
	1	当初予算			2,400			10,000			20,000					
予	2	補正予算			22,720			20,000			0					
算情	3	繰越予算			14,506			7,994			0	0				
報		前年度繰越			22,500			7,994			0					
		次年度繰越			△ 7,994			0			0		-			
,	小計	h(1)~(3)			39,626			37,994			20,000		「編成時 次公表			
₹	1	一般財源			1,540			1,534			1,000	,,	·>(N /		
	2	国支出金			0			0			0					
算財源	3	府支出金			20,786			19,460			10,000					
内	4	地方債			17,300			17,000			9,000					
泥	(5)	その他特財			0			0			0					
決	1	流充用額			100		二次公	公表時記載			0			0		
算	2	配当予算			39,726			37,994			0			0		
情報	3	執行額			39,381		二次公	公表時記載			0			0		
THX	4	執行率			99.1%		二次公	公表時記載								
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.59	/	0.00	0.67	/	0.00	0.67	/	0.00	0.00	/	0.00		
工算	2	概算人件費		4,720			·-	5,360			5,360			0		
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			44,101			5,360			5,360			0		

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	木材搬出量		m3	3300/8500	3430	/	9300	1565	/	10000	/	10000	10000
実績/目標	国定公園への	来訪者数	人	131000/257000	123000	/	257000	114000	/	257000	/	257000	257000
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	事業実施延長	(大江山線)	m	0/33	27	/	48	42	/	51	/	45	合計延長300m
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		1458.6	1						
実績/計画	事業実施延長(額田大油子線)	m	0/59	79	/	79	41	/	40	/	-	合計延長620m
		単位あたり	コスト	0.0		498.5							

· 「項	人計価(事業担当所属内による目亡記 評価の観点	ディーグ 評価	評価の理由
74	-		TT IIII	・観光道路及び災害時の迂回路として市管理林道を整備するものであり、市道とあわせて
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		ネットワークを構築するための重要な事業である。
必要	性	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、法面改良工事を実施した。
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		中田中雄 大佐 南切場 マルブ
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果実績は毎年度把握している。 ・地域再生計画に基づき実施しているものであり、有効である。
有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		市道とともにネットワークを構築する事業で への観光客の誘客に寄与している。	ぎあり、この哥	事業を実施することで森林整備につながる林道改良により間伐材の搬出量の増加や大江山
事業の目 指標等の達				
対する定性				
		地域再生計画として認定されている事業計	画について	、予算を確保しながら継続的に実施する必要がある。
これまでの	舞類及水			
今後のフ				
';	<u></u> 次評価(事業所属外による他部署評価	赿)	
			,	
事後評価	コメント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
	価をふま			
		方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当				
事業の 及び 予算要3	y			予算編成に記入 (3次公表時)
	,			
	算反映網			
予算反明	中結里	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
F 弄 从 《	八甲二不	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 牙木州口														
事業名	61 公共施	設民間譲渡	事業(農業	έ施設(共同	司作第	(所)								
事業担当	所属	25020000	産業政策部	郎 農林業	振興	課				所属	長 西畑 信寿	F		
会計情報	事業コード	**コード 210161 款 06 農林業費 項 01 農業費 目 03 農業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁												
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代の二	ーズ	に即応	した行政経済	営の)推進をする					
計画期間	開始年度	平成27年	度 終了予	定年度	令和(6年度	関連計画	名	公共施設マネジメント	実施計画	画			
根拠法令等	_													
事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府初	助事業	V	市単独	事業 🗆	内	部庶務的事業 口 その	の他	()
R3現在の状況	☑ 継続中	□ 廃」	上/休止	□ 他事	業へ終	流合	□ 他事業	を給	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
関連事業	農林漁業	林漁業施設維持管理事業、公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))												
東紫其林	<u>————</u>	•					•						•	

∥ 事業基礎∜	青報						
事業目的 (あるべき姿)	地域住民による施設の管業者に施設を委譲すること					当な場合において、地	域コミュニティや民間事
対象者	譲渡組織			対象者数	3	単位あたりコスト	213.3
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	管理 ☑ 補助金	☆交付 □	その他()
委託先•実施主体等	(委託)公益社団法人京都	公共嘱託登記土地	家屋士協会				
事業概要 (箇条書き)	農林業振興課所管の施設		事業効果の見込まれ	る施設につい			
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	二次公表時記	主載		

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度	E)	R	3(本年度)	R4	(要求年月	支)
	1	当初予算			3,850			400			293			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
情報		前年度繰越			0			0			0	4		
		次年度繰越			0			0			0			
,	小計	h(1)~(3)			3,850			400			293		L幅队时 次公表	
予	1	一般財源			0			0			293			• /
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0		0				
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			3,850			400			0			
決	1	流充用額			0		二次位	&表時記載			0			0
算	2	配当予算			3,850			400			0			0
惰報	3	執行額			2,525		二次位	&表時記載			0			0
TIA	4	執行率			65.6%		二次化	&表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.27	/	0.00	0.08	/	0.00	0.08	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		2,160				640			640			0
		マルコスト 可額+概算人件費)			4,685			640			640			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
成果実績(アウトカム)	譲渡件数		件	0	0	/	3	0	/	3	/	3	56
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動車籍	譲渡件数		件	0	0	/	3	0	/	3	/	3	56
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり:	コスト	_		_							
英稿/計 幽						/			/		/		
		単位あたり:	コスト										

为郊伍(東娄切业所层内に L7 台口郊伍)

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己記		String - and 1
項目	評価の観点	評価	評価の理由 「繰結利田による事業効果が目ぶまれる拡張について、拡張等理者へ譲渡することで財政負
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	0	継続利用による事業効果が見込まれる施設について、施設管理者へ譲渡することで財政負担を 軽減するとともに、譲渡により貴重な財源をより意義のあるサービスへ転換することができ る。
	優先度の高い事業か		佐記森本の名外でも7分岐です 1位記森本の名外でませば 100元のませば 127元の上に
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か		施設譲渡の条件である改修工事については協議を実施し、登記経費等は単価が設定されており、コストは妥当なものである。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		当該年度中に施設の譲渡には至らなかったが、公共施設マネジメント計画に沿った事業である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	+===	7.4% 地二の佐乳加八笠にかん7.40辛取(ボルロ+用ナボレマ)、7
			Nるが、地元の施設処分等にかかる合意形成に時間を要している。 は、管理者へ譲渡することで維持管理費の削減を図る。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
	・各施設の地元での利用、管理状況を的で ・マネジメント計画の着実な実施により事業		早期に施設処分等に係る合意形成を図る。 る。
これまでの課題及び 今後の方向性			る中、一定の大きな修繕を行ったうえで民間に譲渡することとのコストの再比較が必要であ
	事業所属外による他部署評価	赿)	
事後評価コメント		事業	幹価実施後に記載(対象事業のみ)
	えた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映線			
圣 管后岫	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート - 事業属性_____

(単位:千円)

事業名	53 中丹地域有害鳥獸処理施設管理事業
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学
会計情報	事業コード 210153 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁
施策体系	施策コード 060103 施策名 有害鳥獣対策を強化する
計画期間	開始年度 平成27年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 ☑ その他 (綾部市・舞鶴市との共同運営)
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合
関連事業	<u>有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)</u>
事業基礎性	青報
事業目的 (あるべき姿)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)の共同利用施設として設置した 「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより駆除隊員の埋設労力負担を軽減し計画的な捕獲を推進し、農作物被害の軽減を 図る。
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員 対象者数 219 単位あたりコスト 17.2
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先·実施主体等	PSSユニオン
事業概要 (箇条書き)	・捕獲された有害鳥獣の個体を保管している、一時保管庫から回収する。 ・大江町三河に設置した、有害鳥獣処理施設に運搬し、焼却処分を行う。 ・焼却残渣を、福知山市・綾部市・舞鶴市に分け、各市の処分場に運搬をする。 ・焼却施設等の維持管理業務を行う。
	支出に係る主な費目 支出実績(R2) 主な業務内容
主な支出に係る 業務内容と経費	二次公表時記載

|| 予算執行状況

	Σ	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	E)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			46,338			58,094			51,916			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	727 Ad	- AT -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	
,	小計	h(1)~(3)			46,338			58,094			51,916		[編成時 次公表	
₹	1	一般財源			24,673			23,427			27,396	,,	V 1 1 1 1	47
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			8,100			1,700			
泥	(5)	その他特財			21,665			26,567			22,820			
決	1	流充用額			△ 684		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			45,655			58,094			0			0
情報	3	執行額			40,375		二次公	公表時記載			0			0
THX	4	執行率			88.4%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.62	/	0.00	0.47	/	0.00	0.47	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		4,960				3,760			3,760			0
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			45,335			3,760			3,760			0

IV 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	有害鳥獣による農	作物年間被害額	千円	33,237/30,000	36921	/	30000	26034	/	31242	/	29247	27251
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	年間処理頭数	年間処理頭数		7525	8082	/	4205	9606	/	4205	/	4205	4205
(アウトプット)		単位あたり	コスト	5.3		5.0							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0			•						

	事業担当所属内による自己部		## ## A TU +h
項目	評価の観点	評価	評価の理由 ・有害鳥獣対策は本市の喫緊の課題であり、捕獲した個体の処分をこれまで埋設していた
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		が、本施設の設置により、一時保管庫への運搬で軽減されており、有害鳥獣捕獲の推進に 寄与している。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	す 子している。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・焼却時の燃料の灯油について、入札を行い単価契約で実施し、コスト削減を行っている。 (会計契約単価の2/3程度)
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		・年間処理頭数が年々増加傾向にあるため、有害鳥獣の捕獲が進んでいる。
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・ 中间定理現奴が千々培加傾向にめるため、有者局部の無援が進んといる。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	・当初計画処理頭数を越えた処理頭数とな	っており、有	[害鳥獣捕獲がかなり進んでいると思われる。
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	・当初計画頭数を越えた処理頭数となって		g-tán、k本+nhn / \ - 貝√郷ナ ヒ ラ ブ 、フ
	・特に、9-11月(狩猟期前)には一時保管庫	での保管が	EMC がおりなが、またさったくいる。 「困難なケースもあり、対応を検討する必要がある。 を行っているため、焼却炉や熱交換器等の定期的なメンテナンスや、設備改修を行い、安定
	した焼却を確保する必要がある。	多里の流り	で11万人いるため、沈如かで然又挟命寺の足物的なアンナナンへで、設備以修で116、女だ
これまでの課題及び 今後の方向性			
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価	5)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
· VII 評価をふま	- えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の			
事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
	計		
_VIII 予算反映系 	活 未 □ 現状維持 □ 廃止/休止	口 3.	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

1 事术商压													
事業名	33 森林適正整備推進事業												
事業担当	所属 25020000 産業政策部												
会計情報	事業コード 210133 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 頁												
施策体系	施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める												
計画期間	開始年度 平成14年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 -												
根拠法令等	福知山市緑の公共事業補助金交付要綱												
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()												
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合												
関連事業													
	· 報												
	密地条件不利地におけるスギ・ヒノキの人工林の健全な成長を促進させるため、緊急的な間伐を支援する。												

∥ 事業基礎∥	青 報							
事業目的 (あるべき姿)	奥地条件不利地における	スギ・ヒノキの人工	林の健全な成長を促え	進させるため、	緊急的な間伐を支援す	ra.		
対象者	福知山地方森林組合			対象者数	5,916	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	営管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他()
委託先·実施主体等	福知山地方森林組合							
事業概要 (箇条書き)	-条件不利地での高齢級	間伐の事業費に対す	する支援					
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容	3		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	· 載乾			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	ı	R3(本年度	E)	R	4(要求年)	支)
	1	当初予算			2,244			0			3,110			
予	2	補正予算			0			3,110			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0		- ^=	
,	小計	+(① ~ ③)			2,244			3,110			3,110		「編成時 次公表	
予	1	一般財源			375			519			519	,,	·>(N /
	2	国支出金			0			0			0			
算財源	3	府支出金			1,869			2,591		2,591				
内	4	地方債			0			0			0			
別	⑤	その他特財			0			0			0			
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0
算	2	配当予算			2,244			3,110			0			0
惰報	3	執行額			1,945		二次公	公表時記載			0			0
ř		執行率			86.7%		二次公	公表時記載						
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費		560				800			800			0
		マルコスト			2,505			800			800			0

成學字績	指	標	単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
	森林整備面積	(市全体)	ha	0	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
実績/目標		0		0	0	/	0		/	0	/		0
	指	標単		H30	R1			R2			R3		最終目標
活動車績	森林整備面積		ha	0	13	/	40	20	/	150	/	150	150
活動実績 (アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		149.6							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

_ Ⅴ 一次評価(、事業担当所属内による自己評 評価の観点		毎年の現中
- 現 日	II. II	評価	評価の理由 ・森林の持つ多面的機能を発揮させるには、森林整備が必要である。
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か		- 林仲の行フグ曲的成形で元洋でせるには、林仲正開か必女(のる。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		京都府が定めた標準単価を採用しており、コストは妥当である。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		#B [
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		成果目標については、過去の実績から増加させているものであり、十分に理にかなったもの とは言い難い。 活動実績についても目標設定が高く、設定方法の検討が必要である。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	Δ	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	仕の拡撃	
			と布当9 る場合、非常に有効は無助事業であり活用を布当9 る緑林所有名は多い。 日難であるが、今後も京都府と調整して必要な箇所の整備を行い、市全体の森林整備面積を
事業の目的及び 指標等の達成状況に			
対する定性的評価			
	大事業における間代事業についてけ 森林	新有老の=	:一ズも高く、継続して進めていくべき事業である。
	个子来(CO) / O 同 以子来(C) O C O C O C O O O O	71660	・グロロス、神色のととなる。
これまでの課題及び 今後の方向性			
, KWMIT			
1/1 - 12 2mg har /	' 'etr 과부 ~ 산 12 M) ~ L ~ J) L 3-M 150 3-m /w	`	
VI —次評価(事業所属外による他部署評価)	
事後評価コメント		事業	評価実施後に記載(対象事業のみ)
الله د طو مهما والله	2.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4		
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		数
40 JV 500 不	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び			予算編成に記入
予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映统	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	口多	算拡充 □ 予算縮減
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:		↑ □ 仙事業へ統合 (統合朱事業名:

(単位:千円)

ī		人汲止是于木					
事業担当	所属 25020000 産	医業政策部 農林業排	長興課		所属長	余田 学	
会計情報	事業コード 210131 ま	款 06 農林業費	項 02 林業費	目 02 林業振興費	会計 01	一般会計 決算付属	資料 頁
施策体系	施策コード 060102	施策名 担い手の	育成、経営の効率化等	により生産力を高め	る		
計画期間	開始年度 平成14年度	度 終了予定年度 台	6和3年度 関連計画	名 -			
根拠法令等	意欲的林業者グループ	活動支援事業補助金	金交付要綱				
事業区分	□ 法定受託事務 🕠	☑ 国府補助事業	□ 市単独事業 □	内部庶務的事業 [コ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止	/休止 □ 他事業	たれ合 口 他事業	を統合			
関連事業							
事業基礎性	 青報						
	林業の健全な発展及びせるため、林業者等で				構造の確立を図り	、山村地域のコミュニ	-ティを維持、活性化さ
対象者	林業者グループ			対象者数	5	単位あたりコスト	160.0
実施方法	□ 直接実施 □ 第	業務委託 □ 指:	定管理 🗹 補助金	交付 □ その	他()
委託先·実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・林業の健全な発展を目	目指し、望ましい林業	構造の確立を図るため	林業者等で構成し、	意欲的に活動す	るグループに対する	補助
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容		
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記載			

|| 予算執行状況

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年月	₹)	F	3(本年度	()	R4	(要求年)	支)	
	1	当初予算			500			400			370				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
情報		前年度繰越			0			0			0	0			
		次年度繰越			0			0			0				
,	小計	h(①~③)			500			400			370	0 予算編成時記入 (3次公表時)			
予	1	一般財源			0			0			0	,,		• /	
算	2	国支出金			0			0			0				
財源	3	府支出金			500			400			0				
内	4	地方債			0			0			0				
訳	⑤	その他特財			0			0			370				
決	1	流充用額			△ 200		二次公	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			300			400			0			0	
惰報	3	執行額			291		二次公	公表時記載			0			0	
TIA	4	執行率			96.8%		二次公	〉表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09	/	0.00	0.10	/	0.00	0.10	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		720				800			800			0	
		マルコスト f額+概算人件費)			1,011			800			800			0	

成果実績	指	標	単位	H30	R1				R2		R3		最終目標
(アウトカム)	森林整備面積	(市全体)	ha	243 / 544	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標単位		単位 H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	森林経営計画認定		地区	2 / 2	2	/	2	3	/	20	/	10	30
(アウトプット)		単位あたり	コスト	107.0		145.4							
実績/計画				/	0	/	0		/	0	/		0
	単位あたりコン		コスト	0.0									

項		目 AT 1四(・	評価	評価の理由
		<u> </u>	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	NI IIM	意欲的な林業者グループを支援することで、森林整備の促進や技術の研鑽が期待できる。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		補助対象者の事業内容を十分に精査し、コストも考慮している。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		補助を活用し、林業・作業道の整備が行われたほか、研修会の開催による技術の研鑽や知識の習得が行われており、意欲的な林業者グループの活動の活性化に寄与しており、さらなる林業振興の推進に有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			意欲的な林業者グループに補助を行うこと る。	で、林業振り	興を行ううえでの地元のリーダー的存在の育成につなげ、さらなる林業振興の推進を図ってい
事業の 指標等の					
対する					
			林業振興を円滑に、より進めていくために』 	必要な事業で	であるため、引き続き補助を行う。
これまで	·の課	題及び			
今後	の方に	句性			
VI	二次	評価(事業所属外による他部署評価	5)	
事後評	平価コ	メント		事業	禁評価実施後に記載(対象事業のみ)
VII है	评価	をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
	当課(
	の見及び				予算編成に記入
予算:	要不	万對			(3次公表時)
VIII	予算	反映紀			
予算。	反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
			□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性		
事業名	24 林業関係事務事業	
事業担当	所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学	
会計情報	事業コード 210124 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 01 林業総務費 会計 01 一般会計 決算付属資料	頁
施策体系	施策コード 060102 施策名 担い手の育成、経営の効率化等により生産力を高める	
計画期間	開始年度 平成30年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名	
根拠法令等		
事業区分	□ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 □ その他 ()
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合	
関連事業		
	青報	
事業目的 (あるべき姿)	総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての事務経費を当事業で支出する。	
対象者	対象者数 - 単位あたりコスト	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 ()
委託先•実施主体等	-	
事業概要 (箇条書き)	 ・工事実施に必要な需用費などの執行 ・関係団体との調整に要する旅費や、事務事業を円滑に行うための需用費、役務費の執行 ・各関係団体への負担金や、旧慣使用権に伴う補償料 	

主な業務内容

|| 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

支出に係る主な費目 支出実績(R2)

	Z	分	R1 (評価前年	度)	R	2(評価年度	E)	F	3(本年度	E)	R4	(要求年)	隻)	
	1	当初予算			1,607			3,790			1,691				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
情報		前年度繰越			0			0			0)			
		次年度繰越			0			0			0) 予算編成時記入			
,	ト計	+(1 ~ 3)			1,607			3,790		1,691		·觸风時 次公表			
予	1	一般財源			477			2,660			553	,,,	~\	*/	
算	2	国支出金			0			0			0				
財源	3	府支出金			0			0			0				
内	4	地方債			0			0			0				
影	⑤	その他特財			1,130			1,130			1,138				
決	1	流充用額			0		二次公	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			1,607			3,790			0			0	
情 報	3	執行額			1,521		二次公	公表時記載			0			0	
ŦIX		執行率			94.6%		二次位	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/媒託職員)	0.07	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		560				1,280			1,280			0	
		アルコスト (領+概算人件費)			2,081 1,280 1,3									0	

二次公表時記載

成里室續	指	標	単位	H30		R1		R2		R3		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標		0		/	0	/	0	/	0	/		0
実績/目標		0		/	0	/	0	/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1		R2		R3		最終目標
活動室籍		0		0	0	/	0	/	0	/		0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画		単位あたり:	コスト	0.0								
実積/計画				/	0	/	0	/	0	/		0
		単位あたり:	コスト	0.0			•					

▼ 項		目 - al lm (● 兼 担 当 所 偶 内 による目 亡 評 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた		林業振興を円滑に進めるにあたり必要な事務経費である。
			事業か		
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		交通費等のコスト比較を行ったうえ、また物品購入の際は精査したうえで購入しており、支出を最小限にとどめている。
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		成果指標の設定は困難であるが、総会等の職員旅費及び林業を振興するにあたっての必要最小限の事務経費を当事業で支出しており、林業振興を図るうえで有効である。
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			総会等の職員旅費及び林業を振興するにあ	たっての事	F務経費として適正に支出した。【定性的評価】
事業の 指標等の 対する	達成	状況に			
			林業振興を円滑に進めるために必要な事務	経費である	るため、今後も継続する。
これまで 今後					
VI 3	二次	評価(事業所属外による他部署評価)	
•		, \	1 New 14-8 212 21 12 21 12	,	
+ 44 =	s /	.15.1		*	
事後許	竹四二	メント		争未	評価実施後に記載(対象事業のみ)
V∥ ∄	评価	きふま	えた次年度事業方針		
			方針区分	_	評価を踏まえた見直し内容
	当課(の見)				
	及び				予算編成に記入 (3次公表時)
予算	安水。	7 2 T			(OX A 42 lig)
VIII -	予算	反映紀			
予算			□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予:	算拡充 □ 予算縮減) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性 | 23 市営林管理事業

(単位:千円)

	11-11-11-11-11-11						
事業担当	所属 25020000 産	業政策部 農林業扱	長興課		所属長	余田 学	
会計情報	事業コード 210123 身	饮 02 総務費	項 01 総務管理費	目 05 財産管	理費 会計 (01 一般会計 決算付属資	資料 頁
施策体系	施策コード 040102	施策名 治山·治水	対策を強化する				
計画期間	開始年度 令和元年度	終了予定年度	和3年度 関連計画	i名			
根拠法令等	-						
事業区分	□ 法定受託事務 [] 国府補助事業	☑ 市単独事業 □	内部庶務的事	業 口 その他	()
R3現在の状況	□ 継続中 □ 廃止	/休止 □ 他事業	へ統合 □ 他事業	を統合			
関連事業							
事業基礎	 情報						
事業目的 (あるべき姿)	財産である市有林の有緑のオーナーに対しての				とする観点で、市有材	木の間伐を行う。	
対象者	緑のオーナー			対象者数	97	単位あたりコスト	9.9
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 第	養務委託 □ 指第	定管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合						
事業概要 (箇条書き)	・市営林の業務委託に 市民参加による森づくり 現在緑のオーナー97丿	を推進するため、大					
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内	容	
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載		

_____ Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R1 ((評価前年	度)	R	2(評価年度)		R	3(本年度)	R	(要求年)	支)	
	1	当初予算			5,041			6,698			10,936				
予	2	補正予算			△ 1,280			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
情報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0				
,	小計	h(①~③)			3,761			6,698			10,936	936 予算編成時記入 (3次公表時)			
予	1	一般財源			3,720			6,373			10,832	,	~~~	*/	
算	2	国支出金			0			0			0				
財源	3	府支出金			0			0			0				
内	4	地方債			0			0			0				
影	⑤	その他特財			41			325			104				
決	1	流充用額			△ 37		二次公表	時記載			0			0	
算	2	配当予算			3,724			6,698			0			0	
惰報	3	執行額			3,724		二次公表	時記載			0			0	
HX.		執行率			100.0%		二次公表	時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09	/	0.00	0.12	/		0.12	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		720				960			960			0	
		マルコスト 「額+概算人件費)			4,444			960			960			0	

成果実績	指標		単位	H30		R1		R2			R3		最終目標
(アウトカム)	オーナーへの	情報発信	人	0	96	/	97	96	/	97	/	97	97
実績/目標	森林整備面積	(市全体)	ha	/	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	情報誌送付回	数	回	0	1	/	3	1	/	3	/	3	3
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0		3724.5							
実績/計画	森林整備面積	林整備面積		/	10.32	/	10	19.28	/	16	/	33	50
		単位あたり	コスト	0.0		360.9							

为郊伍(東娄切业所层内に L7 台口郊伍)

予算反映結果

□ 他事業を統合 (統合事業名:

	事業担当所属内による自己部		
項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	市の財産である市有林を適正に管理するため必要である。 また、緑のオーナーに関することについては、平成6年度に大江町が締結している契約を履行するために必要である。
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・市営林であるため、市が行う・適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、本数調整伐を行った。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか		
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・成果指標は市全体の間伐面積として把握している。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	@ \$\	
	森林塚境議与祝を沽用し、市有林の本数詞 	周整伎を実別	をすることにより、防災面に寄与し市有林の適正な管理を行うことが出来た。
	緑のオーナーに対しては、現状を情報発信	することでき	契約満期に向けて必要な情報を発信することが出来た。
事業の目的及び 指標等の達成状況に 対する定性的評価			
NO A CONCITTION IN			
		0+U++	A-11 L
	木材価格が下落傾向の今、市有林の今後 調査結果を用い、令和3年度以降に市有材		
			されているため、今後も市有林の適正な管理を目指す必要があると考えられるが、木材とし
これまでの課題及び 今後の方向性	て成長を目指すか針広混交林化を目指す 	べきかの検え	計が必要である。
1/1 - 1/2 - 1/2	(古典·父日·刘)-1-7 (1-42 田)···········		
VI 二次評価([事業所属外による他部署評位 	b)	
事後評価コメント		車番	禁門価実施後に記載(対象事業のみ)
予後肝臓コグンド		7*7	に肝臓大心炎に心勢(が)系字末ツクアノ
VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し			
テスの元直と 及び 予算要求方針			予算編成に記入 (3次公表時)
VⅢ 予算反映系			
工管 巨味	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 今和3年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	2 農林漁業施設維持管理事業											
事業担当	所属 25020000 産	業政策部 農林業振	興課			所属長	西畑 信寿					
会計情報	事業コード 210122 款	06 農林業費	項 01 農業費	目 03 農業振	興費 :	会計 01	一般会計	決算付属資料	頁			
施策体系	施策コード 060101 1	施策名 生産基盤・i	施設の整備により生産	力を高める								
計画期間	開始年度 平成17年度	終了予定年度	和6年度 関連計画	名 公共施設、	マネジメント実	施計画						
根拠法令等	_											
事業区分	□ 法定受託事務 □	法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ()										
R3現在の状況	☑ 継続中 □ 廃止/	継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合										
関連事業	公共施設民間譲渡事業	農業施設(共同作業	業所))、公共施設除却	事業(農業施証	殳(共同作業所	听))						
	 青報											
事業目的 (あるべき姿)	農林業振興課所管の農	林業振興課所管の農林漁業施設の維持管理を行う。										
対象者	総農家数(2020農林業セ	 :ンサスデータ)		対象者数	3,081	1	単位あたり	Jコスト	0.4			
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業	務委託 □ 指足	官管理 □ 補助金	交付 🗆	その他	(•)			
委託先•実施主体等	(公社)福知山市シルバー	-人材センター										
事業概要 (箇条書き)		農林業振興課所管施設の損害保険料を支出した。 農林業振興課所管施設について除草業務を行った。										
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な	業務内容	3					
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載							

|| 予算執行状況

	Z	分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年度	隻)	F	3(本年度	!)	R	(要求年)	芰)	
	1	当初予算			928			870			869				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0				
,	小計	h(①~③)			928			870			869		「編成時 次公表		
₹	1	一般財源			928			870			869	,,	<u> </u>	47	
算	2	国支出金			0			0			0				
財源	3	府支出金			0			0			0				
内	4	地方債			0			0			0				
訳	⑤	その他特財			0			0			0				
決	1	流充用額			1,750		二次公	公表時記載			0			0	
算	2	配当予算			2,678			870			0			0	
情報	3	執行額			2,259		二次公	公表時記載			0			0	
+HX		執行率			84.4%		二次位	公表時記載							
人概	1	(正職員/嘱託職員)	0.25	/	0.12	0.14	/	0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		2,300				1,120			1,120			0	
		タルコスト (新典の) (対象) (対象) (対象)			4,559			1,120			1,120			0	

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	保険料		千円	44	47	/	0	46	/	46	/	46	-
実績/目標	公共施設除却	、譲渡(延数)	施設	15/56	16/56	/	0	16/56	/	19	/	19/56	56
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	公共施設除却	、譲渡数	施設	1/7	1/3	/	0	0	/	3	/	0/3	-
(アウトプット)		単位あたり	コスト	380.0		2259.0							
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
		単位あたり	コスト	0.0									

項			事業担当所属内による目亡 評価の観点	評価	評価の理由
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた	A I IIM	・農業施設の修繕に備える必要がある
			事業か		・管理用地等の地元貸与を促進する必要がある
必	要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		・施設修繕等により、施設の維持管理を適切に行える。 ・除草等業務の地元委託
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		・次年度以降に向けた管理用地の民間利用可能な条件整備を促進
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			農林業振興課所管の農林漁業施設の損	害保険料の支	と出を行い、施設の維持管理を行った。
事業の 指標等の 対する5	達成	状況に			
			資産の有効な活用を図るため、福知山市	公共施設マネ	マジメント計画に則り、施設利用者(地元)との合意形成を進める。
これまで	の輝!	陌 75.7℃			
今後(
VI -	- 次	評価(事業所属外による他部署評	価)	
		,,	A Translate As section (Fig.		
事後評	一価コン	メント		事業	詳評価実施後に記載(対象事業のみ)
·· 答 IIV	平価	をふま	 えた次年度事業方針		
			方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担	当課の				
事業	の見I 及び				予算編成に記入
予算		會			(3次公表時)
VIII -3	予算	反映約			
予算』			□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
r 51 -4	人以相	H-A-	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

| 事業属性 事業名 04 森林経営管理事業 事業担当 所属 25020000 産業政策部 農林業振興課 所属長 余田 学 事業コード 210104 款 06 農林業費 項 02 林業費 目 02 林業振興費 会計情報 会計 01 一般会計 決算付属資料 施策コード 060101 施策名 生産基盤・施設の整備により生産力を高める 施策体系 計画期間 開始年度 令和元年度 終了予定年度 令和3年度 関連計画名 福知山市森林経営管理意向調査実施計画 根拠法令等 森林経営管理法 事業区分 □ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 R3現在の状況 ☑ 継続中 □ 廃止/休止 □ 他事業へ統合 □ 他事業を統合

関連事業													
事業基礎性	青報												
	森林の適正な経営や管理	森林の適正な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や水源涵養等へ影響を及ぼすことが懸念されるため、「森林経営管理法」が施行され、 森林の適正な経営や管理を行わなければならないこととなっている。 このため、森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。											
対象者	森林所有者(観音寺地区	本所有者(観音寺地区、室·市寺地区) 対象者数 218 単位あたりコスト 26.4											
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他()						
委託先•実施主体等	アジア航測株式会社												
事業概要 (箇条書き)	・森林経営管理法による系・境界明確化を目的とした・森林経営管理意向調査:	森林航空レーザ測	量及び森林資源解析										
	支出に係る主な費目	支出実績(R2)			主な業務内容								
主な支出に係る 業務内容と経費			=	次公表時記	載								

Ⅲ 予算執行状況

	2	5 分	R1	(評価前年	度)	R	2(評価年月	隻)	F	3(本年度	:)	R4	(要求年月	隻)	
	1	当初予算			12,492			45,406			53,768				
予	② 補正予算				1,280			0			0				
算情報	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0	TT AN	· A = -12 - 14 - 1		
,	小計	†(①~ ③)			13,772			45,406			53,768		編成時 次公表		
予	1	一般財源			13,772			35,059			53,768	(0	<u> </u>	47	
	2	国支出金			0			0			0				
算財源	3	府支出金			0			0			0				
内	4	地方債			0			0			0				
訳	⑤	その他特財			0			10,347			0				
決	1	流充用額			8,385		二次公	公表時記載			0				
算	2	配当予算			22,157			45,406			0				
惰報	3	執行額			21,800		二次公	公表時記載			0			(
HX.	4	執行率			98.4%		二次公	公表時記載							
人概	1	従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.60	/	0.00	0.72	/	0.00	0.72	/	0.00	0.00	/	0.00	
工算	2	概算人件費		4,800				5,760			5,760				
		マルコスト 「額+概算人件費)			26,600			5,760			5,760				

Ⅳ 業績指標

成果実績	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
(アウトカム)	森林整備面積	(市全体)	ha	0	266	/	565	集計中	/	587	/	587	587
実績/目標		0		/	0	/	0		/	0	/		0
	指	標	単位	H30		R1			R2		R3		最終目標
活動実績	森林経営管理	権設定地区	箇所	0	0	/	1	1	/	1	/	2	31
(アウトプット)		単位あたり	コスト	0.0									
実績/計画				0	0	/	0		/	0	/		0
	単位あたりコス		コスト	0.0									

(単位:千円)

□ ▼ 一次評価(事業担当所属内による自己部 評価の観点	神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の神の	評価の理由
7, 1	#1. H-1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	AL IM	コロン学用 温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、森
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた 事業か		林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	0	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か		財源として、森林環境譲与税が国から譲与され充当し事業を実施している。 事業内容においては、見積徴取や国の単価参考資料と比較する等してコスト削減を実施している。
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	0	
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		**************************************
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか		森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業体が管理 することになることから、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	0	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			いて森林経営管理権集積計画の作成を行うことが出来た。 うことで今後の事業の進め方及び課題を見出すことが出来た。
事業の目的及び指標等の達成状況に	長期の実施計画を作成することにより、今後	後の事業展	開について明確になった。
対する定性的評価			
	 森林所有者の探索及び森林の境界明確化	の進め方か	「困難であるため、外部委託先も含め、進め方を検討していきたい。
これまでの課題及び			
今後の方向性			
l Ⅵ 二次評価(事業所属外による他部署評価	j)	
事後評価コメント		事業	幹評価実施後に記載(対象事業のみ)
_ VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分		評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し			予算編成に記入
及び 予算要求方針			(3次公表時)
VⅢ 予算反映線			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□予	算拡充 □ 予算縮減
· JI WANTHAN	□ 他事業を統合 (統合事業名:) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: